

東芝デジタル複合機

インストールガイド

e-STUDIO2010AC

e-STUDIO2515AC/3515AC/4515AC/5015AC

e-STUDIO2518A/3518A/4518A/5018A

e-STUDIO5516AC/6516AC/7516AC

e-STUDIO6518A/8518A

© 2018 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved

本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複写、複製を禁じます。

はじめに

このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書は、クライアントソフトウェアのインストール方法について説明しています。
本機をお使いになる前に本書をよくお読みください。

■ 本書の読みかた

本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

 **警告** 「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示しています。

 **注意** 「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性、または物的損害*3のみが発生する可能性があること」を示しています。

注意 操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。

補足 操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。

 関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

*1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。

*3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

本書の対象読者について

本書は一般使用者および機器管理者向けの取扱説明書です。

本書の対象機種について

本書の対象機種は、本文中で以下のように表記しています。

対象機種	本文中の表記
e-STUDIO2010AC	e-STUDIO5015AC Series
e-STUDIO2515AC/3515AC/4515AC/5015AC	
e-STUDIO2518A/3518A/4518A/5018A	e-STUDIO5018A Series
e-STUDIO5516AC/6516AC/7516AC	e-STUDIO7516AC Series
e-STUDIO6518A/8518A	e-STUDIO8518A Series

オプション機器について

使用可能なオプション機器は、本機の**かんたん操作ガイド**をご覧ください。

本文中の画面と操作手順の説明について

本書では、Windowsでの画面および操作手順は、Windows 10を例に説明しています。Mac OSでの画面および操作手順は、Mac OS X 10.10を例に説明しています。お使いの機種やオプション機器の装着状況、OSのバージョンやアプリケーションによっては、表示される画面が異なることがあります。

本文中の表記について

- 本書では、「Windows 7 Service Pack 1以降」を「Windows 7以降」と表記しています。
- 本書では、「Windows Server 2008 Service Pack 2以降」を「Windows Server 2008以降」と表記しています。

製品に付属するインストールディスクについて

本書では、ソフトウェアをインストールするためのディスクを総称して「インストールディスク」と表記します。

商標について

商標については安全にお使いいただくためにをご覧ください。

エンドユーザソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェアサプライヤーが別途提供する使用許諾契約書が適用される場合を除き、お客様は本ソフトウェアのインストールまたは使用の開始をもって、以下の契約条件に同意したとみなされます。本契約条項に同意できない場合、本ソフトウェアのインストールおよび使用はできませんので、速やかにお客様ご自身で本ソフトウェアを取得した場所にご返送ください。

使用許諾：

本契約は、エンドユーザ（以下「お客様」という）と東芝テック株式会社（以下「東芝テック」という）の間で締結する、法的効力を有する契約です。
本ソフトウェアならびにフォント（およびそのタイプフェイスを含む）、および関連するドキュメンテーション（以下「ソフトウェア」という）は、本ソフトウェアがインストールされた東芝テック製複合機と所定の機器（以下「システム」という）において、本契約条件に従って使用許諾されます。本ソフトウェアの著作権をはじめとするいかなる知的財産権、およびその他の権利ならびに所有権は東芝テックおよび／またはサプライヤーに帰属し、また所有されるものとします。東芝テックは本ソフトウェアのインストールおよび／または使用、ならびに本ソフトウェアを使用して得られる結果に対し責任を負いません。本ソフトウェアは単一のシステム上に単一の複製物をインストールして使用できるものとし、単一のシステム上で本ソフトウェアを使用する必要がある場合を除き、いかなる理由であっても本ソフトウェアを複製することはできません。いかなる本ソフトウェアの複製も本契約条件に従わなければなりません。お客様が本ソフトウェアの修正、適合、統合、翻訳、逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングを行うことはもちろん、第三者にこれらの行為を許諾することはできません。お客様が本契約条件に従わない場合、本ソフトウェアを使用することはできません。本ソフトウェアに関する知的財産権およびその他の権利はお客様には移転譲渡されないものとし、これら権利の所有権はすべて東芝テックおよび／またはサプライヤーが保持するものとします。本ソフトウェアのソースコードの使用はお客様に許諾されないものとし、お客様は本ソフトウェア（その複製を含む）の著作権表示に対し、修正、削除等を行うことができません。本ソフトウェアの著作権侵害、無許諾での移転譲渡、複製または使用に関するいかなる法的責任は、お客様に属するものとします。

期限：

本契約は、東芝テックにより任意に終了されるか、お客様による本契約条件の違反により終了されるまで、法的効力を有するものとします。本契約終了の場合、お客様には本ソフトウェアのすべての複製物を破棄していただきます。お客様は本ソフトウェアおよびそのすべての複製物を破棄することにより、随時、本契約を終了することができます。

免責事項：

本ソフトウェアは、商品市場性、特定目的との適合性、権利、権利の非侵害を含む（ただし必ずしもこれらに限定されない）いかなる明示または黙示の保証をせず、現状のまま提供するものとします。東芝テックは、本ソフトウェアの品質および性能に関する保証に対し、いかなる責任も負いません。本ソフトウェアに欠陥がある場合、その修理、修正およびサービスにかかる費用はすべてお客様の負担とし、東芝テックは責任を負いません。東芝テックは、本ソフトウェアの機能がお客様の要求を満たすこと、またはソフトウェアの動作に中断、エラーが起こらないことを保証しません。

アップデートおよび製造中止：

東芝テックはなんら制限を受けることなく、本ソフトウェアをアップデート、アップグレードし、またはその製造を中止することができます。

第三者ソフトウェア：

本ソフトウェア（将来のアップデート版、アップグレード版も含む）には第三者ソフトウェアが含まれる場合があります。このような第三者ソフトウェアは、そのサプライヤーが、使用許諾契約またはreadmeファイル（またはreadmeファイルに類するファイル）に別途定める、本契約とは異なる条件（「別途契約」等）により提供されます。お客様が第三者ソフトウェアを使用する際は、「別途契約」等に定められた条件に従うものとし、第三者ソフトウェアの条件以外は、本契約に定められた条件に従うものとします。

責任制限：

たとえ東芝テックおよびそのサプライヤーが次のような損害の可能性を示唆されていたとしても、東芝テックは本契約の記述あるいは不法行為の有無を問わず（東芝テックの過失による人身傷害または死亡を除き）、本ソフトウェアの使用または使用不能から発生する利益損失、データ損失、資産損失、あるいはその他の偶発的、特別的または間接的損害を含むいかなる損害に対しても、お客様および第三者に対し一切の責任を負わないものとします。

一般事項：

お客様は本ソフトウェアもしくはその使用权をサブライセンス、リース、貸与、付与譲渡または移転できないものとします。本契約に基づくいかなる権利、責務または義務に対するサブライセンス、リース、貸与、付与譲渡または移転の試みは、すべて無効とします。日本政府、米国政府および関連国政府が禁止する国または目的地への、お客様による本ソフトウェア（本ソフトウェアの複製、本ソフトウェアまたはそのメディアに含まれる技術情報、その他の関連する直接的製品を含む）の直接的または間接的出荷、送信、輸出または再輸出は、その試みを含め、許諾されないものとします。本契約は日本国の法律に準拠するものとし、また本契約に関して東芝テックのサプライヤーが関与する紛争が生じた場合は、その時々当該サプライヤーが指定する国の法律が適用されるものとします。本契約の一部の条項が違法、無効あるいは法的強制力なしとみなされた場合でも、その他の条項はすべて効力を維持し有効であるものとします。

お客様は本契約をお読みになり、上記の条件を理解し、同意するものとします。お客様は本契約条件に従うことに同意するものとします。さらに本契約は、お客様と東芝テックおよびそのサプライヤーとの間で締結する唯一完全な契約であり、かつ本契約の主題に関するいかなる提案、事前契約、口頭または書面その他の伝達事項より優先されることに同意したものとします。

契約者および製造元：〒141-8562 東京都品川区大崎1-11-1 東芝テック株式会社

目次

はじめに.....	3
本書の読みかた	3
エンドユーザソフトウェア使用許諾契約書.....	5

第1章 インストールについて

インストールディスクについて.....	12
Windows	12
Mac OS.....	14
UNIX/Linux.....	14
インストーラの内容.....	16
ファイアウォールソフトウェア使用時の注意事項.....	17
TopAccessからのダウンロード	18
Windows用インストーラのダウンロード	18
Mac OS用PPDファイルのダウンロード	20
UNIX/Linux用フィルタのダウンロード.....	21
NetWareプリントサーバーの設定.....	22
Novell iPrintの設定	22
LPR接続の設定.....	24

第2章 おすすめインストール

おすすめインストール手順.....	26
SNMP設定変更時の注意事項.....	30
お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV1およびV2の場合	30
お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV3の場合.....	31

第3章 プリンタドライバのインストール (Windows)

インストールする前に.....	34
プリンタドライバの種類	34
必要条件	34
インストール手順について.....	35
プリンタドライバのインストール	36
Software Installerを使ってインストールする	37
個別インストーラを使ってインストールする.....	47
TopAccessからインストールする	57
本機の共有フォルダからインストールする.....	59
その他のインストール	61
Raw TCP/LPR印刷 (プリンタの追加ウィザード).....	61
USB印刷	67
IPP印刷.....	72
Novell iPrint印刷.....	76
Web Serviceプリント	77
Windows用PPDファイルのコピー	84
プリンタドライバのアンインストール.....	85
Windows 7以降/Windows Server 2012以降.....	85
Windows Server 2008.....	87
プリンタドライバの修復	89

第4章 プリンタドライバのインストール (Mac OS)

インストールについて	92
Mac OSのクライアントソフトウェアについて	92
必要条件	92
プリンタのインストール	93
Mac OS PPDファイルのインストール	93
プリンタの設定	96
Mac OS PPDのアンインストール	105

第5章 プリンタドライバのインストール (UNIX/Linux)

UNIX/Linuxフィルタについて	108
必要条件	109
ユーザ認証機能使用時の注意事項	109
UNIX/Linuxフィルタによるプリンタの設定	110
UNIX/Linuxフィルタのインストール	110
プリントキューの作成	111
デフォルト設定の変更	116
プリントキューの削除	117
CUPSの設定	120
CUPSについて	120
CUPSによるプリンタの設定	121

第6章 スキャンドライバ&ユーティリティのインストール (Windows)

インストールする前に	142
スキャンドライバ&ユーティリティの種類	142
必要条件	142
スキャンドライバ&ユーティリティのインストール	143
インストール手順	143
WIAドライバをインストールする	144
アンインストールする	147

第7章 ネットワークファクスユーティリティのインストール (Windows)

インストールする前に	150
ネットワークファクスユーティリティの種類	150
必要条件	150
ネットワークファクスユーティリティのインストール	151
Web Serviceプリントによるインストール	152
ネットワークファクスユーティリティのアンインストール	153
N/W-Faxドライバのアンインストール	153
AddressBook Viewerのアンインストール	153

第8章 ファイリングボックスBackup/Restore Utilityのインストール (Windows)

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityをインストールする前に	156
必要条件	156
ファイリングボックスBackup/Restore Utilityのインストール	157

アンインストールする	159
第9章 インストールのメンテナンス	
クライアントソフトウェアの削除	162
クライアントソフトウェアの修復	164
第10章 インストールに関する注意事項と関連メッセージ (Windows)	
インストール前の注意事項	166
インストール中に表示される可能性のあるメッセージ	167
インストール後の注意事項	168
索引	169

インストールについて

インストールの概要について説明します。

インストールディスクについて	12
Windows	12
Mac OS.....	14
UNIX/Linux.....	14
インストーラの内容	16
ファイアウォールソフトウェア使用時の注意事項	17
TopAccessからのダウンロード	18
Windows用インストーラのダウンロード.....	18
Mac OS用PPDファイルのダウンロード	20
UNIX/Linux用フィルタのダウンロード.....	21
NetWareプリントサーバーの設定	22
Novell iPrintの設定	22

インストールディスクについて

■ Windows

下記コンテンツがインストールディスクに収録されています。

クライアントソフトウェア・インストーラ

[インストールディスク]：¥e-STUDIO¥Setup.exe

Universal Printer 2ドライバとその他のクライアントソフトウェアをお使いのコンピュータに一括してインストールするためのセットアッププログラムです。

Universal Printer 2ドライバ

以下のフォルダには、Universal Printer 2ドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。Windows 7以降/Windows Server 2008以降にインストールできます。

[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥UNI¥

Universal PS3プリンタドライバ (PostScript)

以下のフォルダには、Universal PS3プリンタドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。Windows 7以降/Windows Server 2008以降にインストールできます。

[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥PS¥

Universal XPSプリンタドライバ

以下のフォルダには、Universal XPS プリンタドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。Windows 7以降にインストールできます。

[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥XPS¥

Windows PPDファイル

以下のフォルダには、印刷する際にPPDファイルを必要とするWindowsアプリケーション用のPPDファイルが収録されています。

ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- [インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥WinPPD¥2-sided_default¥
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
- [インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥WinPPD¥normal¥
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

補足

カラー MFPの場合は「TSES6D_1.PPD」を、モノクロMFPの場合は「TSES8O_1.PPD」をお使いください。

N/W-Faxドライバ

以下のフォルダには、N/W-Faxドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。Windows 7以降/Windows Server 2008以降にインストールできます。

[インストールディスク]：¥ Client ¥ FAX ¥

AddressBook Viewer

以下のフォルダには、AddressBook Viewerをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。Windows 7以降/Windows Server 2008以降にインストールできます。

- 32ビット版のコンピュータをお使いの場合
[インストールディスク]：¥ Client ¥ ADRBK ¥ 32bit ¥
- 64ビット版のコンピュータをお使いの場合
[インストールディスク]：¥ Client ¥ ADRBK ¥ 64bit ¥

ファイルダウンローダ

以下のフォルダには、ファイルダウンローダをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

[インストールディスク]：¥ Client ¥ FD ¥

Remote Scanドライバ

以下のフォルダには、Remote Scanドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

- 32ビット版のコンピュータをお使いの場合
[インストールディスク]：¥ Client ¥ RS ¥ 32bit ¥
- 64ビット版のコンピュータをお使いの場合
[インストールディスク]：¥ Client ¥ RS ¥ 64bit ¥

TWAINドライバ

以下のフォルダには、TWAINドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

- 32ビット版のコンピュータをお使いの場合
[インストールディスク]：¥ Client ¥ TWAIN ¥ 32bit ¥
- 64ビット版のコンピュータをお使いの場合
[インストールディスク]：¥ Client ¥ TWAIN ¥ 64bit ¥

WIAドライバ

以下のフォルダには、WIAドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

Windows 7以降/Windows Server 2008以降にインストールできます。

[インストールディスク]：¥ Client ¥ WIA ¥

TOSHIBA Office Scan Add-In ツール

Microsoft Office 2013以降で、「Remote Scan driver」、「TWAIN driver」、「WIA driver」を利用するためのAdd-In ツールです。

[インストールディスク]：¥ Admin ¥ Add-In ¥

■ Mac OS

下記コンテンツがインストールディスクに収録されています。

Mac OS PPDファイル

以下のフォルダには、Mac OS X 10.6.8以降のバージョンで使用するPPDファイルおよびプラグインが収録されています。

- [インストールディスク] : MacPPD/OSX10_6-
Mac OS X 10.6.8以降のバージョンで使用するプラグインです。
- [インストールディスク] : MacPPD/OSX10_6-/2-sided_default
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
- [インストールディスク] : MacPPD/OSX10_6-/normal
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

■ UNIX/Linux

下記コンテンツがインストールディスクに収録されています。

Solarisフィルタ

以下のフォルダには、Solaris v11.2用tarファイルが収録されています。
ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
[インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/SolarisFilter/Usa/
- モノクロMFP
[インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/SolarisFilter/Usa/

HP-UXフィルタ

以下のフォルダには、HP-UX ver.11iv3用のtarファイルが収録されています。
ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
[インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/HP-UXFilter/Usa/
- モノクロMFP
[インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/HP-UXFilter/Usa/

IBM AIXフィルタ

以下のフォルダには、IBM AIX 7.x用tarファイルが収録されています。
ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
[インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/AIXFilter/Usa/
- モノクロMFP
[インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/AIXFilter/Usa/

Linuxフィルタ

以下のフォルダには、Fedora 21/22、Red Hat Enterprise Linux 5.x/6.x/7.x、SuSE Linux Enterprise Server 11/12、Open SUSE 13.2/13.3、Solaris 11.2、Ubuntu 14.04LTS/15.04、Debian 7/8用tarファイルが収録されています。

ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
[インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/LinuxFilter/Usa/
- モノクロMFP
[インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/LinuxFilter/Usa/

CUPS PPDファイル

以下のフォルダには、UNIX/LinuxのCUPS環境からの印刷に使用するPPDファイルが収録されています。ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
 - [インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/CUPS/Usa/2-sided_default/
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
 - [インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/CUPS/Usa/normal/
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。
- モノクロMFP
 - [インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/CUPS/Usa/2-sided_default/
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
 - [インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/CUPS/Usa/normal/
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

インストーラの内容

インストールディスクにて提供されているインストーラでは、以下のソフトウェアをインストールすることができます。

プリンタドライバ (プリント機能)

プリンタドライバは、お使いのアプリケーションから印刷を行うためのソフトウェアです。本機では、Universal Printer 2 (PCL6、PostScript)、Universal PS3 (PostScript)、Universal XPSの3種類のプリンタドライバを用意しています。これらのドライバは、アプリケーションでは設定できないような、文書レイアウトやページ組みなど、高度な印刷機能を提供します。

TWAINドライバ (スキャン機能)

ファイリングボックスに保管された文書をTWAIN対応アプリケーションに画像として取り込むことができます。

ファイルダウンローダ

ファイリングボックスに保管された文書をお使いのコンピュータの内蔵ストレージにファイルとして取り込むことができます。

Remote Scanドライバ (スキャン機能)

Remote Scanドライバを使用すると、お使いのWindowsコンピュータからリモート操作でスキャンを行い、スキャンした画像をTWAIN対応アプリケーションに取り込むことができます。

WIAドライバ (スキャン機能)

WIAドライバを使用すると、お使いのWindowsコンピュータからリモート操作でスキャンを行い、スキャンした画像をWIA対応アプリケーションに取り込むことができます。

N/W-Faxドライバ (プリント機能)

N/W-Faxドライバを使用すると、お使いのWindowsコンピュータから任意の宛先へ文書をファクス送信することができます。

AddressBook Viewer

AddressBook Viewerを使用すると、連絡先のファクス番号やEメールアドレスを効率よく管理することができます。また、AddressBook Viewerで管理しているファクス番号やEメールアドレスは、N/W-Faxドライバを用いてファクスを送信する際に宛先として利用することができます。

ファイアウォールソフトウェア使用時の注意事項

Windowsコンピュータでファイアウォールソフトウェアを使用している環境の場合、本機とコンピュータ間のネットワーク通信をファイアウォールソフトウェアがブロックしてしまい、インストールが実行できなくなることがあります。

インストールを開始する前に現在の環境を確認し、もしファイアウォールソフトウェアを使用している場合は、ネットワーク管理者へ問い合わせる指示に従ってください。

なお、ネットワーク通信が必要となるクライアントソフトウェアとその実行ファイルは以下のとおりです。ファイアウォールソフトウェアの例外設定を行う際の参考にしてください。

個別インストーラ： essetup.exe

Software Installer： Setup.exe

プリンタドライバ、N/W-Faxドライバ： essetup.exe

ファイルダウンローダ： essetup.exe

AddressBook Viewer： essetup.exe

ファイリングボックスBackup/Restore Utility： essetup.exe

注意

- TWAINドライバ、Remote Scanドライバ、WIAドライバに関しては、各ドライバに対応したアプリケーションソフトウェアの実行ファイルを例外設定する必要があります。
- 個別インストーラまたはSoftware Installerを例外設定した場合、インストールが完了した後で各実行ファイルに対する例外設定を解除してください。

TopAccessからのダウンロード

システム管理者がクライアントソフトウェアを本機にアップロードしてある場合、各ユーザはTopAccessからインストーラやインストールに必要なファイルをダウンロードすることができます。
TopAccessからは、以下のソフトウェアをダウンロードすることができます。

- Windows用インストーラ
📖 P.18 「Windows用インストーラのダウンロード」
- Mac OS用PPDファイル
📖 P.20 「Mac OS用PPDファイルのダウンロード」
- UNIX/Linux用フィルタ
📖 P.21 「UNIX/Linux用フィルタのダウンロード」

補足

TopAccessの起動方法や、ソフトウェアを本機へアップロードする方法については、**TopAccessガイド**を参照してください。

■ Windows用インストーラのダウンロード

- 1 TopAccessの画面下にある【ソフトウェアのインストール】リンクをクリックします。

The screenshot shows the TopAccess web interface. At the top, there are navigation tabs: 装置 (Device), ジョブ (Job), ログ (Log), 登録 (Registration), and カウンタ (Counter). The main content area is titled '装置' (Device) and features a device image on the left. To the right of the image is a table of device information. Below the image are sections for 'オプション' (Options) and 'トナー' (Toner). At the bottom left, there is a link labeled 'ソフトウェアのインストール' (Software Installation) which is highlighted by a mouse cursor. The bottom right of the page has links for 'トップ' (Top) and 'ヘルプ' (Help).

状態	待機中
名称	MFP11532933
設置場所	
MFPモデル	
シリアル番号	CFHE01020
MACアドレス	00:80:91:af:fa:85
メインメモリサイズ	4096 MB
ページメモリサイズ	452 MB
ローカル共有フォルダとファイリングボックスの容量	120843 MB
ファクスマモリ容量	974 MB
連絡先	
電話番号	
メッセージ	
警告	•

フィニッシャ	インナーフィニッシャ
パンチユニット	2ホール
ファクス	装着

イエロー (Y)	99%
マゼンタ (M)	100%
シアン (C)	99%
ブラック (K)	99%

カセット	紙サイズ	用紙種類	使用用途	容量	残量
1 段目カセット	A4	普通紙	なし	250	■■■■
2 段目カセット	A3	普通紙	なし	550	■■■■
3 段目カセット	A4R	普通紙	なし	550	■■■■

2 [Install Client1] リンクをクリックします。



補足

- このページには、TopAccessからプリンタドライバをインストールするためのリンクも表示されます。それらをインストールする方法については、以下のセクションを参照してください。
- P.57 「TopAccessからインストールする」

3 表示されるプロンプト画面に従い、Install Client1ファイルをデスクトップにダウンロードします。

4 ダウンロードしたファイルをダブルクリックして解凍します。

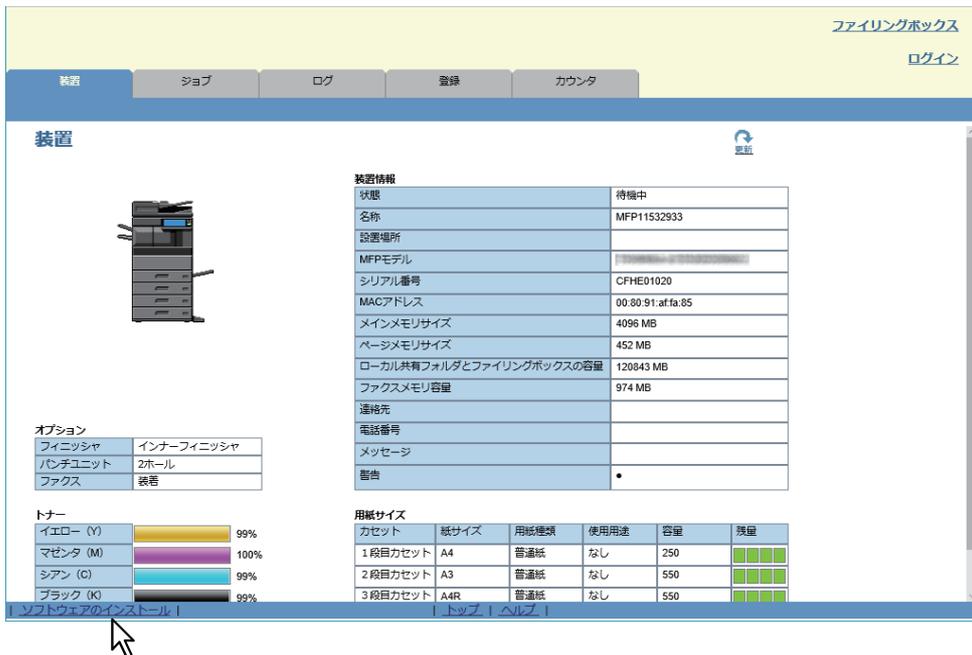
解凍すると、各「WebInstaller.exe」が収められたフォルダが展開されます。これらを使ってインストールするにはAdministrator権限で「WebInstaller.exe」を起動します。Windows 7 / Windows Server 2008の場合、Administrator権限を持たないユーザは「WebInstaller.exe」を右クリックして [管理者として実行] ([管理者で実行]) でAdministratorのパスワードを入力することでインストールできます。

WebInstaller.exeが収められているフォルダは以下の名称です。

- ABV32：AddressBook Viewerのインストーラが入っています。(32ビット版)
- ABV64：AddressBook Viewerのインストーラが入っています。(64ビット版)
- FD：ファイルダウンローダのインストーラが入っています。
- NWFAX：N/W-Faxドライバのインストーラが入っています。
- UNI：Universal Printer 2ドライバのインストーラが入っています。
- PS3：Universal PS3プリンタドライバのインストーラが入っています。
- RS32：Remote Scanドライバのインストーラが入っています。(32ビット版)
- RS64：Remote Scanドライバのインストーラが入っています。(64ビット版)
- TWAIN32：TWAINドライバのインストーラが入っています。(32ビット版)
- TWAIN64：TWAINドライバのインストーラが入っています。(64ビット版)
- WIA：WIAドライバのインストーラが入っています。
- XPS：Universal XPSプリンタドライバのインストーラが入っています。

■ Mac OS用PPDファイルのダウンロード

1 TopAccessの画面下にある [ソフトウェアのインストール] リンクをクリックします。



2 [Macintosh PPD Files] リンクをクリックします。



ソフトウェアコンポーネントの一覧が表示されます。

3 ダウンロードしたいファイルのリンクをクリックします。



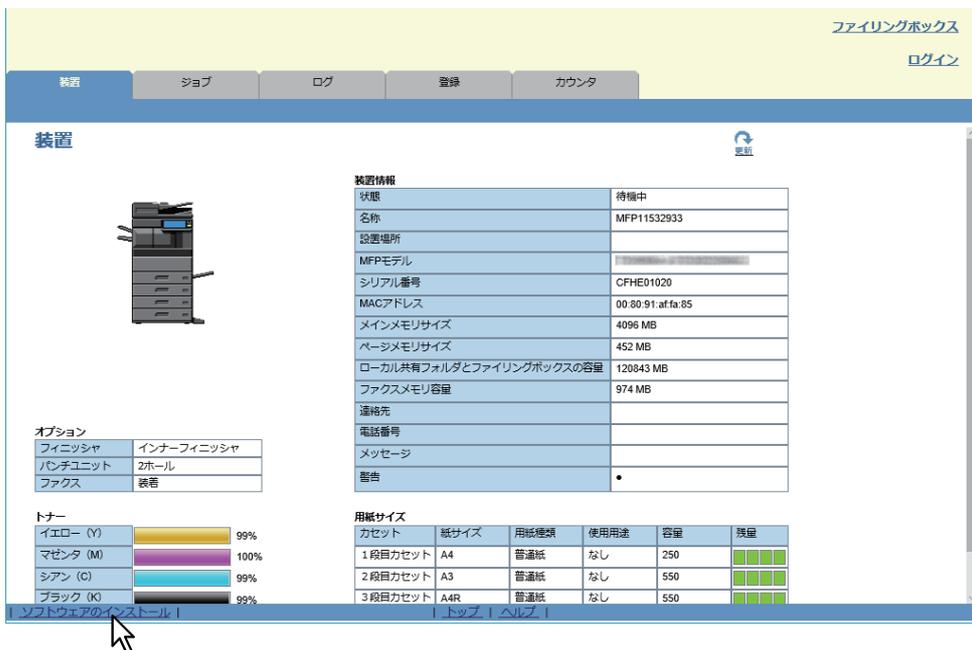
TOSHIBA_xxxxxMFP.dmg.gz : Mac OS X 10.6.8~のバージョンで使用するPPDファイルをダウンロードします。

* ファイル名の「xxxxx」部分が、「Color」はカラー MFP用、「Mono」はモノクロMFP用のファイルとなります。お使いになる機種に合わせて選択してください。

4 表示されるプロンプト画面に従い、ファイルをデスクトップにダウンロードします。

■ UNIX/Linux用フィルタのダウンロード

1 TopAccessの画面下にある [ソフトウェアのインストール] リンクをクリックします。



2 「UNIX Filters」 リンクをクリックします。



ソフトウェアコンポーネントの一覧が表示されます。

3 インストールしたいUNIX/Linuxフィルタのリンクをクリックします。



4 表示されるプロンプト画面に従い、UNIX/Linuxフィルタを含むUNIX/Linuxのtarファイルをデスクトップにダウンロードします。

NetWareプリントサーバーの設定

本機では、以下のNovell印刷サービスをサポートしています。

- NetWare 6.5 iPrintモード

ここでは、本機をNovellネットワークプリンタ、プリントサーバーもしくはNDPSプリンタエージェントとして使用するために、本機をどのように設定するかについて概要を説明します。詳細については、Novellの説明書を参照してください。

■ Novell iPrintの設定

本機はNovell iPrintをサポートしています。Novell iPrintを利用すると、クライアントコンピュータからURLでアクセスできるプリンタをセットアップすることができます。

Novell iPrintは、NDPSアーキテクチャをベースとしていますので、使用する前にNetWareプリントサーバーへNDPSをインストールしておく必要があります。

Novell iPrintを設定する前に、以下の事項を確認してください。

- NDPSプロカー、NDPSマネージャ、およびNDPSプリンタがすでに作成されていること。
- Novell iManagerがインストールされていること。
Novell iManagerの詳細については、Novell, Inc.から提供されているNovell iManagerのドキュメントを参照してください。

Novell iPrintシステムをセットアップするには、以下の手順で設定を行います。

1. Novell iPrintをインストールする
📖 P.22 「Novell iPrintのインストール」
2. プリントサービスマネージャでDNSを有効にする
📖 P.22 「DNSの有効化」
3. iPrintサービスを有効にする
📖 P.23 「Novell iPrintの有効化」

□ Novell iPrintのインストール

- 1 「http://[NetWare serverのIPアドレス]/ipp」からiPrint Clientをインストールします。

□ DNSの有効化

プリントサービスマネージャでDNSを有効にする前に、DNSサーバーにプリントサービスマネージャのDNS名を登録してください。

DNSサーバーへの登録が完了したら、以下の手順に従いプリントサービスマネージャでDNSを有効にします。

- 1 サーバーコンソール画面で、以下のコマンドを入力します。

```
NDPSM <NDPS マネージャ名> /dnsname=<NDPS マネージャ DNS名>
```

□ Novell iPrintの有効化

プリントサービスマネージャでDNSを有効にしたら、Novell iManagerを使用してNovell iPrintを有効にします。

注意

- Novell iPrintを有効にするには、あらかじめNovell iManagerがインストールされている必要があります。Novell iManagerのインストール方法については、Novell, Inc.から提供されているNovell iManagerのドキュメントを参照してください。
- Novell iManagerにアクセスするには、以下のブラウザを使用する必要があります。サポートするブラウザは、インストールされているNovell iManagerのバージョンによって異なります。詳細については、Novell, Inc.から提供されているNovell iManagerのドキュメントを参照してください。

- 1 ブラウザのアドレス欄に「<https://<IPアドレス>/nps/iManager.html>」を入力し、iManagerを開きます。
- 2 ユーザ名、パスワードおよびTreeを入力し、Novell iManagerにログインします。
- 3 Roles and Tasks の [iPrint] をクリックし、[Manage Printer] をクリックします。
- 4 本機用に作成したプリンタを選択します。
- 5 [OK] をクリックします。
- 6 [Client Support] をクリックし、[iPrint Support] をクリックします。
- 7 [Enable iPrint support] チェックボックスをオンにします。
- 8 セキュア印刷を行う場合は、[Enable secure printing] チェックボックスをオンにします。
このオプションを有効にすると、印刷時にeDirectoryを使用したユーザ名およびパスワードの入力が必要になります。
- 9 [Apply] または [OK] をクリックして設定を保存します。

■ LPR接続の設定

- 1** **【Create Printer】** を選択します。
Printer作成画面が表示されます。
- 2** **【Printer name】** および **【Print Manager name】** オプションを設定し、**【Gateway Type】** 一覧から **【Novell Gateway】** を選択したら、**【Next】** をクリックします。
Novell Gatewayの設定画面が表示されます。
- 3** **【Host IP address】** に本機のIPアドレス、**【LPR Printer name】** のPORT_PASSTHROUGHを設定したら、**【Next】** をクリックします。
Driverの選択画面が表示されます。
- 4** 各OSタブの **【プリンタドライバ】** 一覧からインストールするプリンタドライバを選択し、**【Next】** をクリックします。
プリンタが正常に作成されたことを示す画面が表示されます。
- 5** **【OK】** をクリックします。

おすすめインストール

おすすめインストール手順について説明します。

おすすめインストール手順	26
SNMP設定変更時の注意事項	30

おすすめインストール手順

WindowsコンピュータにUniversal Printer 2ドライバとその他のクライアントソフトウェアをインストールする場合は、おすすめインストールの手順でソフトウェアをインストールしてください。

注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

Software Installerが自動的に起動しないときには、インストールディスクをエクスプローラで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、Software Installerを起動してください。

2 [使用許諾契約の全条項に同意します。] を選択し、[次へ] をクリックします。



3 [おすすめ] をクリックします。

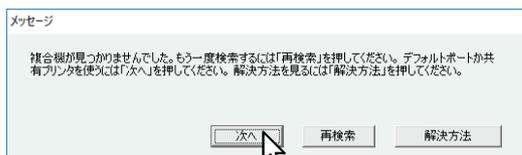


4 インストールするソフトウェアを確認し、[インストール] をクリックします。



注意

- 以下のメッセージが表示された場合は、[次へ] をクリックします。



以下のセクションの手順7以降を参照してインストールを続行してください。

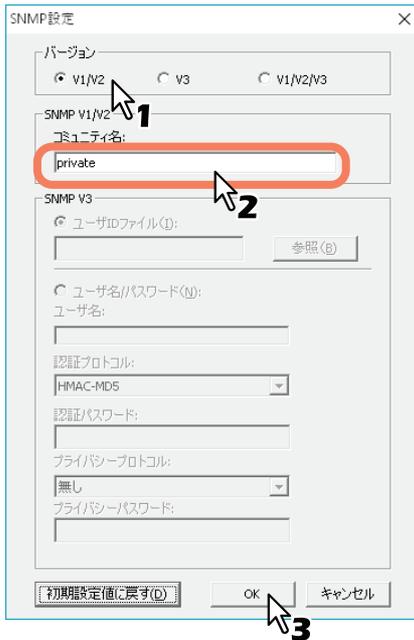
📖 P.41 「本機が自動的に検出されなかった場合には」

[SNMP設定] について

目的の東芝複合機と [SNMP設定] ダイアログボックスのSNMP設定が一致していないと、複合機を検出することができません。[SNMP設定] ダイアログボックスでSNMP設定が正しいことを確認し、必要であれば設定の変更を行ってください。
お使いの東芝複合機のSNMP設定については、管理者にお問い合わせください。

SNMPバージョンがV1およびV2の場合

1. お使いの東芝複合機に「private」（初期値）以外のSNMPコミュニティ名が設定されている場合は、[V1/V2] をクリックします。
2. SNMPコミュニティ名を変更します。
3. [OK] をクリックします。



注意

SNMPコミュニティ名を変更する場合は、以下のセクションを参照してください。

📖 P.30 「SNMP設定変更時の注意事項」

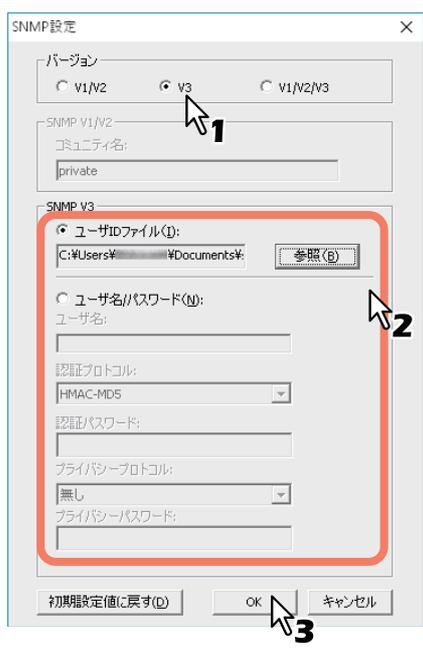
SNMPバージョンがV3の場合

1. [V3] をクリックします。
2. ユーザIDファイルを使用して認証を行う場合は、[参照] をクリックし、ユーザIDファイルを指定します。
ユーザ認証情報を使用して認証を行う場合は、[ユーザ名/パスワード] をクリックし、必要な認証情報を入力します。

注意

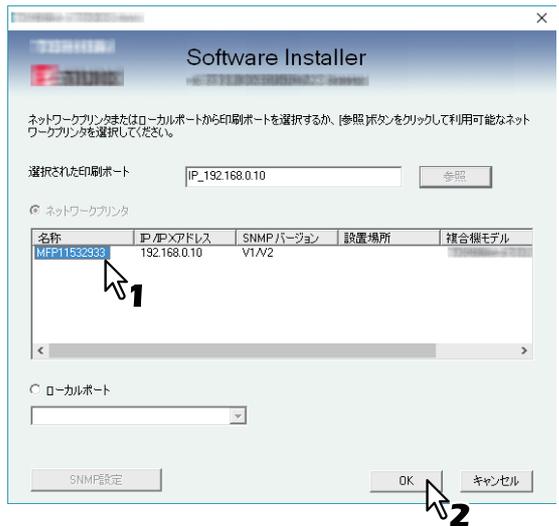
- 事前に管理者から認証方法についての確認を行ってください。
- SNMP設定を変更する場合は、以下のセクションを参照してください。
📖 P.30 「SNMP設定変更時の注意事項」

3. [OK] をクリックします。



* お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV1、V2、V3の場合は、上記設定の両方を行ってください。

5 検出されたプリンタが表示されるので、本機を選択し [OK] をクリックします。



TCP/IPポートが作成されます。

6 インストールが開始されます。

7 インストールが完了したら、[終了] をクリックします。

メインメニューが表示されます。

補足

コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。

8 [Exit] をクリックします。

インストーラの終了を確認するメッセージが表示されるので、[はい] をクリックしてください。

SNMP設定変更時の注意事項

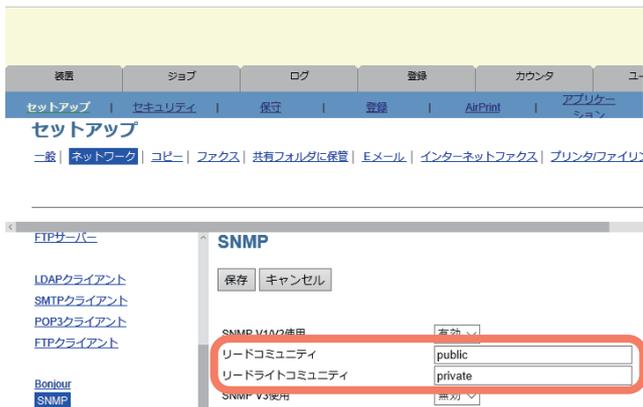
お使いの東芝複合機でコミュニティ名やユーザ情報などを使って認証を行っている場合、印刷ジョブやファクスジョブを正常に印刷または送信するには、以下のように複合機とお使いのコンピュータのSNMP設定が一致している必要があります。

SNMPバージョンなどの詳細は、管理者にお問い合わせください。

■ お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV1およびV2の場合

TCP/IP印刷ポートをご使用の場合は、下記項目1～3のSNMPコミュニティ名を確認してください。

1. お使いの複合機（例：リードコミュニティ「public」/リードライトコミュニティ「private」が設定されている場合）



2. [SNMP設定] ダイアログボックス



複合機のリードライトコミュニティ名と同じコミュニティ名が入力されていることを確認してください。間違ったリードライトコミュニティ名を入力すると、部門管理などいくつかの機能が使用できなくなりますので、ご注意ください。

3. プリンタドライバ/NW-Faxドライバ [ポートの設定] タブのTCP/IPポート



複合機のリードコミュニティ名と同じコミュニティ名が入力されていることを確認してください。
[ポートの設定] タブの [SNMP デバイス インデックス] の値が“1”になっていることを確認してください。

注意

- [SNMP デバイス インデックス] の値が“0”の場合、機器と通信ができなくなります。
- SMB印刷ポートをご使用の場合は、お使いの複合機のリードライトコミュニティ名と [SNMP設定] ダイアログボックスのコミュニティ名が同じである必要があります。
- インストールディスクに収録されているアプリケーション（TWAINドライバ、ファイルダウンローダ、AddressBook Viewer）のSNMP設定もお使いの複合機の設定と合わせてください。SNMP設定が異なる場合、それらのアプリケーションは使用できなくなります。

■ お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV3の場合

下記項目1と2のSNMP設定を確認してください。

1. お使いの複合機のSNMP V3ユーザ情報



2. [SNMP設定] ダイアログボックス

The image shows a dialog box titled "SNMP設定" (SNMP Settings). It has three main sections: "バージョン" (Version) with radio buttons for V1/V2, V3 (selected), and V1/V2/V3; "SNMP V1/V2" with a "コミュニティ名:" (Community Name) field containing "private"; and "SNMP V3" which is highlighted with a red box. The "SNMP V3" section includes: "ユーザIDファイル(D):" (User ID File) with a field containing "C:\Users\%#Documents%" and a "参照(B)" (Browse) button; "ユーザ名/パスワード(U):" (Username/Password) with a "ユーザ名:" (Username) field; "認証プロトコル:" (Authentication Protocol) with a dropdown menu set to "HMAC-MD5"; "認証パスワード:" (Authentication Password) field; "プライバシープロトコル:" (Privacy Protocol) with a dropdown menu set to "無し" (None); and "プライバシーパスワード:" (Privacy Password) field. At the bottom are buttons for "初期設定値に戻す(D)" (Restore Default Values), "OK", and "キャンセル" (Cancel).

複合機のユーザ情報と同じ情報が入力されていることを確認してください。

注意

インストールディスクに収録されているアプリケーション（TWAINドライバ、ファイルダウンローダ、AddressBook Viewer）のSNMP設定もお使いの複合機の設定と合わせてください。SNMP設定が異なる場合、それらのアプリケーションは使用できなくなります。

プリンタドライバのインストール (Windows)

Windows環境でのクライアントソフトウェアのインストール方法について説明します。

インストールする前に	34
プリンタドライバの種類	34
必要条件	34
インストール手順について	35
プリンタドライバのインストール	36
Software Installerを使ってインストールする	37
個別インストーラを使ってインストールする	47
TopAccessからインストールする	57
本機の共有フォルダからインストールする	59
その他のインストール	61
Raw TCP/LPR印刷 (プリンタの追加ウィザード)	61
USB印刷	67
IPP印刷	72
Novell iPrint印刷	76
Web Serviceプリント	77
Windows用PPDファイルのコピー	84
プリンタドライバのアンインストール	85
Windows 7以降/Windows Server 2012以降	85
Windows Server 2008	87
プリンタドライバの修復	89

インストールする前に

クライアントソフトウェアをインストールする前に、以下を参照して適切なインストールを行ってください。

本機のプリンタドライバがすでにインストールされている場合

本機のプリンタドライバをアップデートする前に、現在お使いのプリンタドライバをすべて削除してください。

📖 P.85 「プリンタドライバのアンインストール」

同じ種類のプリンタドライバを連続してインストールする場合は、ドライバをアンインストール後、コンピュータを再起動してからインストールを行ってください。

■ プリンタドライバの種類

- **Universal Printer 2ドライバ**：PCL6とPS3を統合したプリンタドライバです。お使いのアプリケーションの用途に合わせ幅広くお使いいただけます。
- **Universal PS3プリンタドライバ**：DTPに用いるようなPostScriptに準拠したアプリケーションからの印刷に適しています。
- **Universal XPS プリンタドライバ**：WPF（Windows Presentation Foundation）アプリケーションから印刷を行う場合に使用します。

補 足

- Universal Printer 2ドライバは、印刷に使用するPDL（Page Description Language：ページ記述言語）を切り替えて使用することができます（「PCL6」⇔「PS3」）。また、e-STUDIO Seriesの他機種を利用し印刷することもできます。詳しくは、**印刷ガイド**を参照してください。
- インストールディスクには、印刷する際にPPDファイルを必要とするWindowsアプリケーション用のPPDファイルが収録されています。このファイルはお使いのコンピュータの適切な場所にコピーして使用します。
詳細は、以下のセクションを参照してください。
📖 P.84 「Windows用PPDファイルのコピー」

■ 必要条件

Windowsコンピュータにプリンタドライバや他のクライアントソフトウェアをインストールするには、下記環境が必要です。

- **ディスプレイ解像度**
1024×768ドット以上
- **ディスプレイ色**
High Color（16ビット）以上を推奨
- **CPU**
OSが要求する推奨環境以上
- **メモリ**
OSと同等の必要メモリ容量
- **OS**
Windows 7 Service Pack 1以降
Windows Server 2008 Service Pack 2以降
- **必要なソフトウェア**
Internet Explorer 9.0以上

■ インストール手順について

接続環境に適した印刷方法に合わせてインストールしてください。

Raw TCP/LPR 印刷

本機は、TCP/IPによるRaw TCPおよびLPR印刷をサポートしています。TCP/IPネットワークで本機と接続されている場合は、Raw TCP/LPR印刷をお勧めします。

📖 P.36 「プリンタドライバのインストール」

補足

- Raw TCP接続で印刷を行うには、本機のRaw TCP印刷サービスが有効である必要があります。Raw TCP印刷サービスが有効であるかはネットワーク管理者にご確認ください。
- LPR接続で印刷を行うには、本機のLPD印刷サービスが有効である必要があります。LPD印刷サービスが有効であるかはネットワーク管理者にご確認ください。

SMB 印刷

本機では、「Microsoft用ファイルとプリンタ共有サービス」によるSMBプロトコルを利用して本機と接続することができます。ただし、大量文書の印刷には適していません。

📖 P.36 「プリンタドライバのインストール」

注意

SMB印刷は小規模ネットワークで利用することを想定しています。Windows 7以降/Windows Server 2008以降いずれかをプリントサーバーとして利用可能なネットワーク環境がある場合は、Windowsプリントサーバー経由で印刷することをお勧めします。

インターネット印刷

IPP印刷では、インターネットを経由して本機で印刷することができます。遠隔地から印刷したいときに利用することができます。

📖 P.72 「IPP印刷」

補足

IPP印刷を行うには、本機のIPP印刷サービスは管理者がTopAccessから行います。IPP印刷サービスが有効であるかはネットワーク管理者にご確認ください。

Novell iPrint印刷

本機がTCP/IP環境で接続されておりNetWare 6.5のiPrintサービスがセットアップされている場合は、NetWareプリントサーバーを経由して印刷することができます。この場合は、iPrint Clientを使用してNetWareプリントサーバーからプリンタドライバをインストールします。

📖 P.76 「Novell iPrint印刷」

Web Serviceプリント

本機がTCP/IP環境で接続されている場合、Web Serviceプリント機能を利用して印刷することができます。この機能は、Windows 7以降/Windows Server 2008以降が提供する機能です。

📖 P.77 「Web Serviceプリント」

プリンタドライバのインストール

Windowsコンピュータへプリンタドライバをインストールします。

プリンタドライバのインストールは、インストールディスク、TopAccessまたは本機の共有フォルダから行います。

- インストールディスクを使ってインストールする
インストール方法には、次の2つがあります。
 - Software Installerを使用する
インストールディスクをディスクドライブに挿入すると、Software Installerが自動的に起動します。このプログラムからプリンタドライバや他のクライアントソフトウェアをインストールすることができます。プリンタドライバだけでなく他のソフトウェアも同時にインストールする場合には、この方法をお勧めします。
📖 P.37 「Software Installerを使ってインストールする」
 - 個別インストーラを使用する
インストールディスクには、Universal Printer 2やUniversal PS3、Universal XPSの各プリンタドライバを個別にインストールするためのセットアッププログラム（essetup.exe）が収録されています。お好みのプリンタドライバだけをインストールしたい場合には、この方法をお勧めします。
📖 P.47 「個別インストーラを使ってインストールする」
- TopAccessからインストールする
Universal Printer 2やUniversal PS3、Universal XPSの各プリンタドライバが本機にアップロードされている場合、各ユーザはTopAccessから必要なプリンタドライバをインストールすることができます。
📖 P.57 「TopAccessからインストールする」
- 本機の共有フォルダからインストールする
本機の共有フォルダにはUniversal Printer 2やUniversal PS3、Universal XPSの各プリンタドライバのセットアッププログラム（essetup.exe）が格納されています。各ユーザはそのフォルダから必要なプリンタドライバをインストールすることができます。
📖 P.59 「本機の共有フォルダからインストールする」

■ Software Installerを使ってインストールする

お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

Software Installerが自動的に起動しないときには、インストールディスクの「e-STUDIO」フォルダをエクスプローラで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、Software Installerを起動してください。

2 【使用許諾契約の全条項に同意します。】を選択し、【次へ】をクリックします。



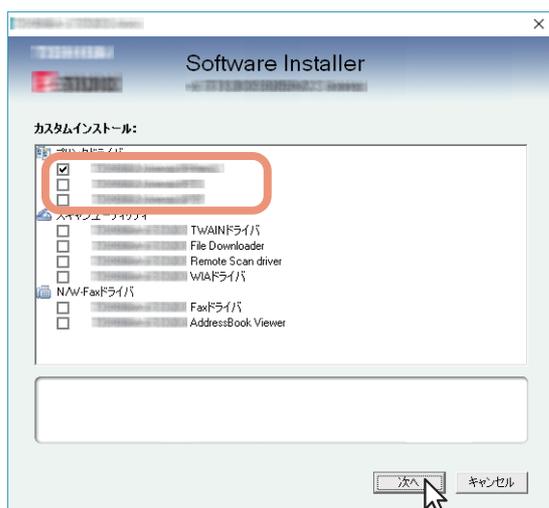
3 【プリンタドライバ】または【カスタムインストール】をクリックします。



プリンタドライバ：Universal Printer 2ドライバをインストールします。このメニューを選択した場合は、手順5にお進みください。

カスタムインストール：インストールしたいプリンタドライバ、およびユーティリティを選択できます。このメニューを選択した場合は、手順4にお進みください。

4 インストールするソフトウェアを選択し、[次へ] をクリックします。



5 インストールするソフトウェアを確認し、[インストール] をクリックします。

補足

目的の東芝複合機を検出するためにSNMP設定を確認／変更する場合は、以下のセクションの手順4を参照してください。

📖 P.26 「おすすめインストール手順」

6 プリンタドライバの印刷ポートを設定します。

印刷ポートの設定手順は、接続環境によって異なります。接続環境に応じて以下の項目を参照してください。

📖 P.39 「Raw TCP/LPR印刷」

📖 P.46 「SMB印刷」

□ Raw TCP/LPR印刷

Raw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

注意

設定を行う前に、以下を確認してください。

- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- TCP/IPが本機およびお使いのコンピュータで正しく設定されていること。

本機を自動的に検出する

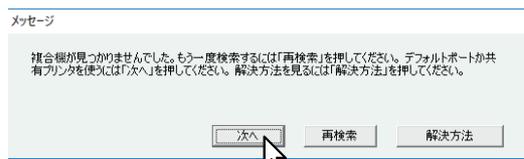
ネットワーク上の本機を自動的に検出してプリンタドライバをインストールすることにより、Raw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

注意

インストール開始後、ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、それを示すダイアログボックスが表示されます。以下の操作を行って、設定を続行してください。

- 本機を再検索する場合は、[再検索] をクリックします。
- [SNMP設定] ダイアログボックスで指定したSNMP設定が正しいかを確認してください。
- 暫定的にローカルポートを選択し、その後にRaw TCP/LPR印刷のポートを設定する場合は、[次へ] をクリックします。以降の設定手順は、下記の項目を参照してください。

📖 P.41 「本機が自動的に検出されなかった場合には」



- 本機のIPアドレスがあらかじめ分かっている場合は、キーボードからの直接入力により印刷ポートを指定することができます。手順7で [プリンターポート] ボックスに下記のようにネットワークパスを入力してください。
¥ ¥ <IPアドレス> または ¥ ¥ IP_ <IPアドレス>

7 検出されたプリンタが表示されるので、本機を選択し [OK] をクリックします。



TCP/IPポートが作成されます。

補足

Windowsやネットワークの環境により、検索が完了するまでに時間がかかることがあります。

8 インストールの完了を確認し、[終了] をクリックします。

補足

コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。

9 [Exit] をクリックします。

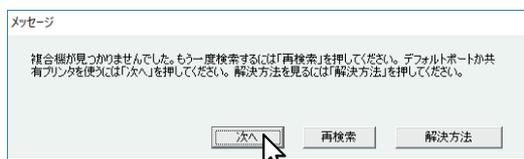
インストーラの終了を確認するダイアログボックスが表示されるので、[はい] をクリックしてください。

本機が自動的に検出されなかった場合には

ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、暫定的にローカルポートを選択してプリンタドライバをインストールし、その後Raw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

注意

インストール開始後、ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。[次へ] をクリックし、設定を続行してください。



7 [ローカルポート] および「LPT1:」を選択し、[OK] をクリックします。



8 インストールの完了を確認し、[終了] をクリックします。

補足

コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。

9 [Exit] をクリックします。

インストーラの終了を確認するダイアログボックスが表示されるので、[はい] をクリックしてください。

10 プリンタフォルダを開きます。

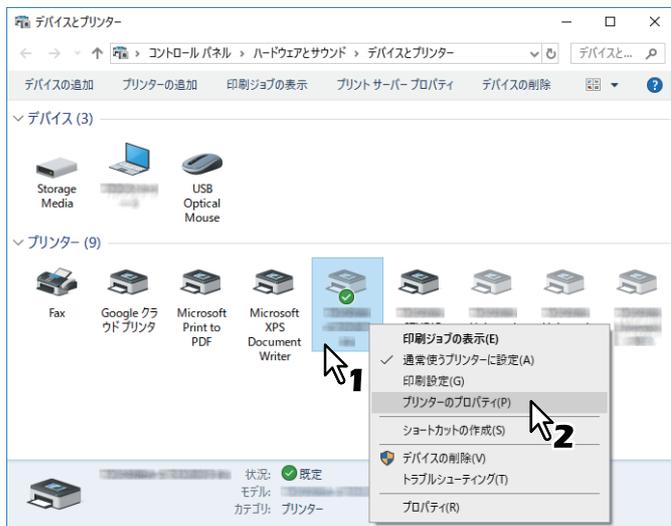
[スタート] をクリックし、[設定] > [デバイス] > [デバイスとプリンター] を選択します。

補足

- Windows 8.1 / Windows Server 2012をお使いの場合は、画面左下で右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows 7をお使いの場合は、[スタート] > [デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows Server 2008をお使いの場合は、[スタート] > [コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。

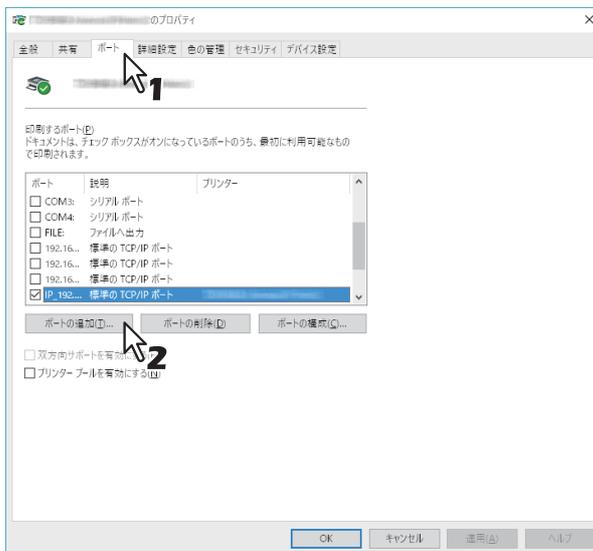
11 インストールしたプリンタドライバのプロパティを表示します。

- Windows 7 / Windows 8.1 / Windows 10 / Windows Server 2012をお使いの場合
インストールしたプリンタドライバを選択し、右クリックメニューから [プリンターのプロパティ] をクリックします。

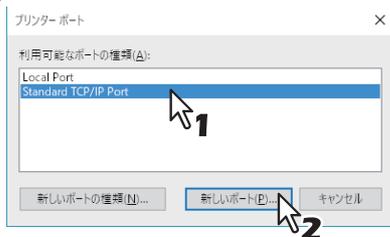


- Windows Server 2008をお使いの場合
インストールしたプリンタドライバを選択し、[整理] メニュー→ [プロパティ] を選択します。

12 [ポート] タブを選択し、[ポートの追加] をクリックします。

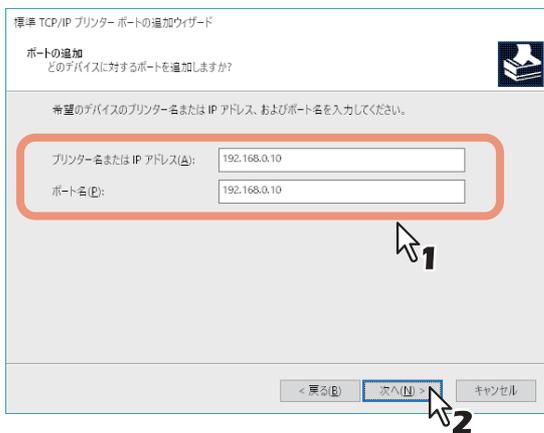


13 [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] をクリックします。



14 [次へ] をクリックします。

15 [プリンター名またはIPアドレス] ボックスに本機のIPアドレスを入力し、[次へ] をクリックします。



- ネットワークがDNSまたはWINSサーバーを使用している場合、[プリンター名またはIPアドレス] ボックスには、DNSまたはWINSサーバーが提供する本機の装置名を入力します。
- [プリンター名またはIPアドレス] ボックスにIPアドレスまたはDNS名を入力すると、[ポート名] ボックスには自動的にポート名が入力されます。
- IPv6環境の場合は、IPv6のアドレスを入力してください。

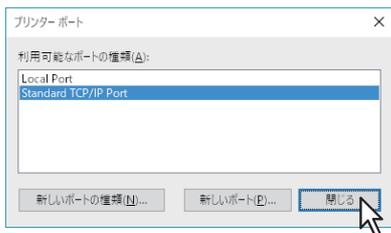
注意

以下の画面が表示された場合は、[標準] を選択し、[次へ] をクリックしてください。

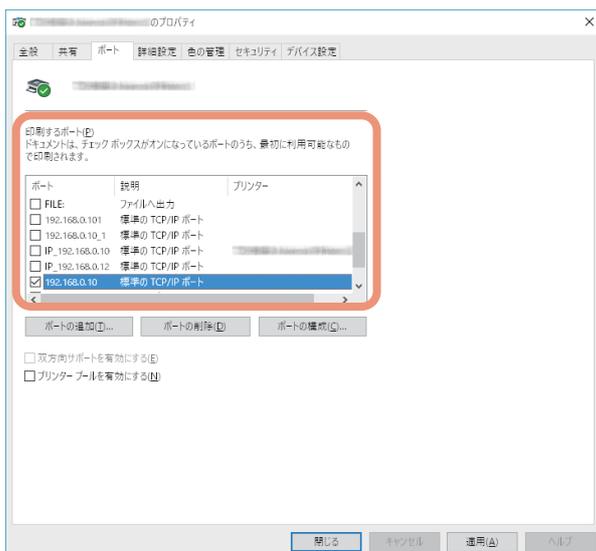


16 [完了] をクリックします。

17 [閉じる] をクリックし、[プリンターポート] ダイアログボックスを閉じます。



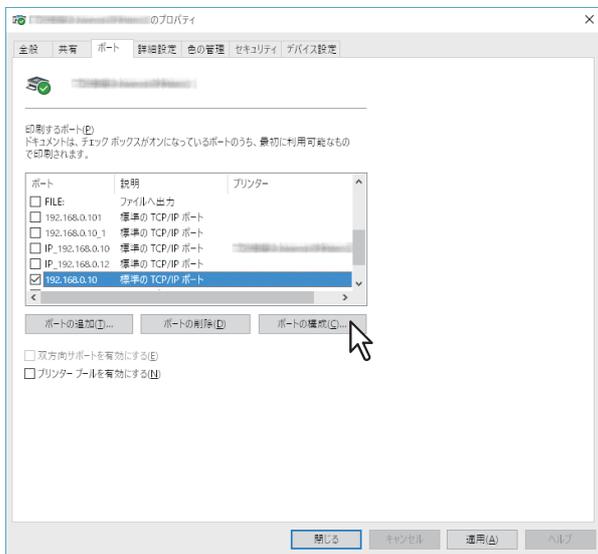
18 [印刷するポート] リストにて、作成したRaw TCPポートがチェックされていることを確認します。



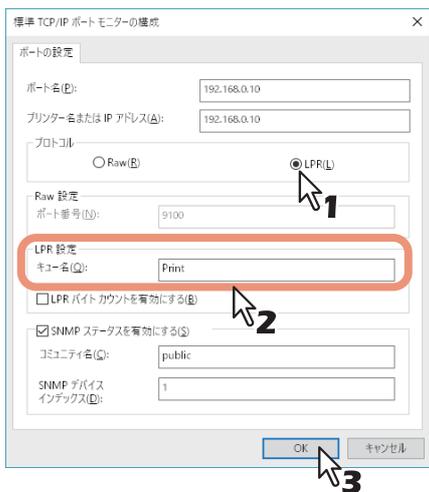
補足

LPD印刷サービスが有効になっている場合は、LPR印刷を利用することもできます。LPR印刷を設定する場合は、以下の手順で設定してください。

1. [ポートの構成] をクリックします。



2. [プロトコル] で [LPR] を選択して、[LPR設定] の [キュー名] ボックスへ「Print」と入力し、[OK] をクリックします。



19 [OK] をクリックし、設定を保存します。

注意

必要に応じて [適用] をクリックし、[OK] をクリックします。

20 [閉じる] をクリックします。

□ SMB印刷

SMB印刷ポートを手動で指定してプリンタドライバをインストールします。

注意

- 設定を行う前に、本機がネットワークに接続され、電源が入っていること確認してください。
- インストール開始後、ネットワーク上のプリンタが検出されなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。[次へ] をクリックし、設定を続行してください。



7 [選択された印刷ポート] ボックスへ下記のようにネットワークパスを入力します。

¥ ¥ <IPアドレス> ¥ print



8 [OK] をクリックします。

9 インストールの完了を確認し、[終了] をクリックします。

補足

コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。

10 [Exit] をクリックします。

インストーラの終了を確認するダイアログボックスが表示されるので、[はい] をクリックしてください。

■ 個別インストーラを使ってインストールする

お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

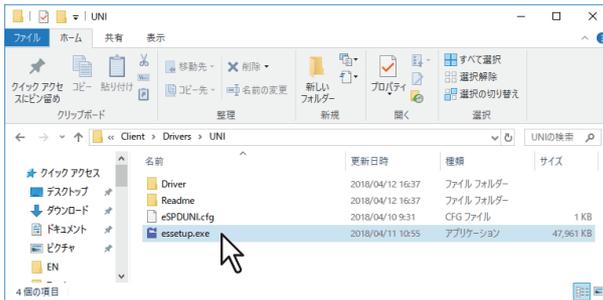
注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログインしてください。

1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

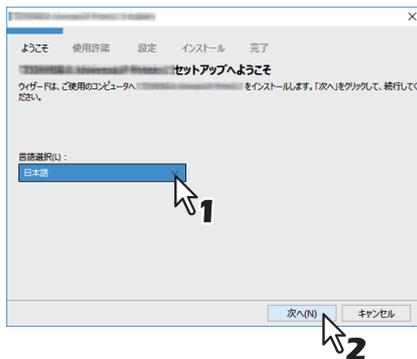
2 セットアッププログラムがあるフォルダを開き、「essetup.exe」ファイルをダブルクリックします。



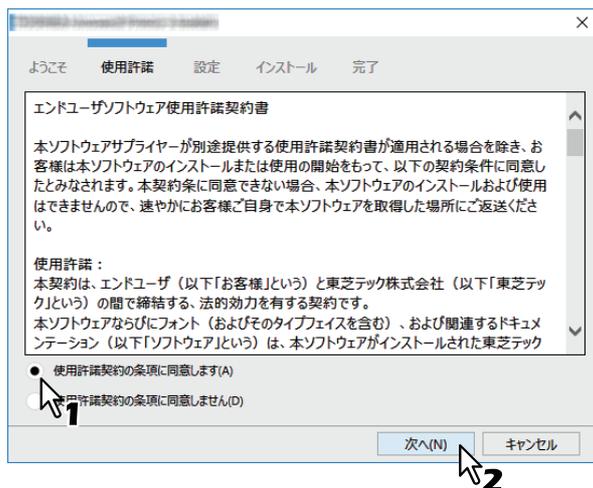
プリンタドライバのセットアッププログラムは、次のフォルダに収録されています。

- Universal Printer 2ドライバ：
[インストールディスク]：¥ Client ¥ Drivers ¥ UNI
- Universal PS3プリンタドライバ：
[インストールディスク]：¥ Client ¥ Drivers ¥ PS
- Universal XPSプリンタドライバ：
[インストールディスク]：¥ Client ¥ Drivers ¥ XPS

3 使用する言語を選択し、[次へ] をクリックします。



4 [使用許諾契約の条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。



[設定] ウィンドウが表示されます。

5 プリンタドライバの印刷ポートを設定します。

印刷ポートの設定手順は、接続環境によって異なります。以降の手順は、それぞれの接続環境の説明に進んでください。

📖 P.49 「Raw TCP/LPR印刷」

📖 P.53 「SMB印刷」

□ Raw TCP/LPR印刷

Raw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

注意

設定を行う前に、以下のことを確認してください。

- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- TCP/IPが本機およびお使いのコンピュータで正しく設定されていること。

本機を自動的に検出する

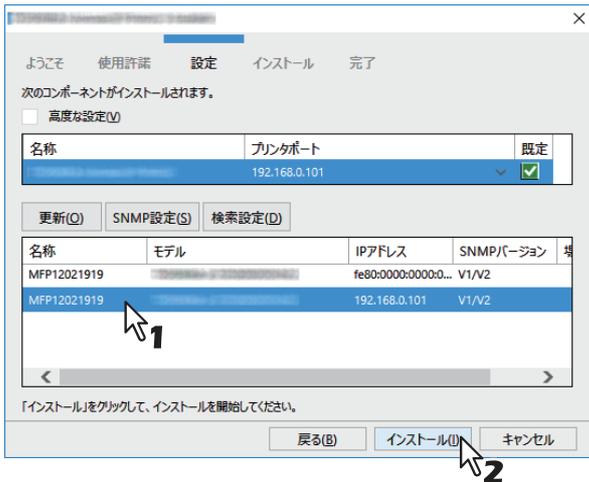
ネットワーク上の本機を自動的に検出してプリンタドライバをインストールすることにより、Raw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

注意

インストール開始後、ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。この場合は、以下の操作を行って設定を続行してください。

- 本機を再検索する場合は、[更新] をクリックします。
- [SNMP設定] をクリックして、[SNMP設定] ダイアログボックスで指定したSNMP設定が正しいかを確認してください。
目的の東芝複合機を検出するためにSNMP設定を確認／変更する場合は、以下のセクションを参照してください。
☞ P.54 「SNMP設定を確認／変更する」
- [検索設定] ダイアログボックスで、ネットワーク上の複合機を検索する条件を設定する場合は、以下のセクションを参照してください。
☞ P.55 「検索条件を絞り込む」
- ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、下記項目を参照してください。
☞ P.51 「本機が自動的に検出されなかった場合には」
- 本機のIPアドレスがあらかじめ分かっている場合は、キーボードからの直接入力により印刷ポートを指定することができます。手順6で [プリンタポート] ボックスに下記のようにネットワークパスを入力してください。
¥ ¥ <IPアドレス> または ¥ ¥ IP_ <IPアドレス>

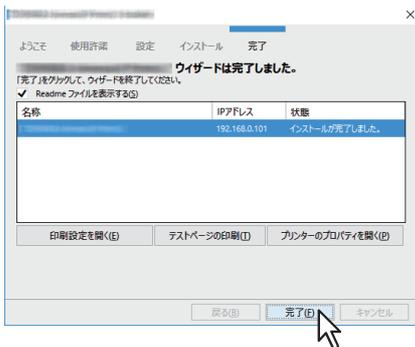
6 検出されたプリンタが表示されるので、本機を選択し [インストール] をクリックします。



補足

Windowsやネットワークの環境により、検索が完了するまでに時間がかかることがあります。

7 [完了] をクリックします。



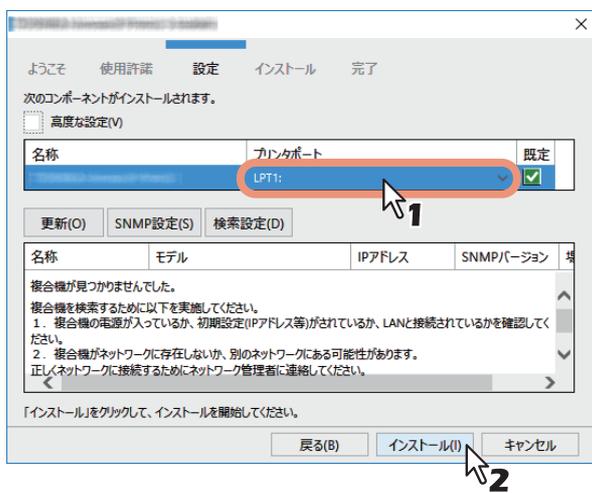
補足

- コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。
- テストページの印刷、本機で印刷を行うために必要なプリンタドライバの設定および印刷設定を行うことができます。必要に応じて、次に表示されるボタンをクリックして設定してください。
[完了] をクリックした後でも設定することができます。
 - Readmeファイルを表示する：チェックマークを付けていると [完了] をクリックした後に Readmeファイルが開きます。
 - [印刷設定を開く]：インストールしたプリンタドライバの [印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。
設定方法は、**印刷ガイド**を参照してください。
 - [テストページの印刷]：本機からテストページが印刷されます。
 - [プリンターのプロパティを開く]：[プリンターのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
設定方法は、**印刷ガイド**を参照してください。

本機が自動的に検出されなかった場合には

ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、暫定的にローカルポートを選択してプリンタドライバをインストールし、その後Raw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

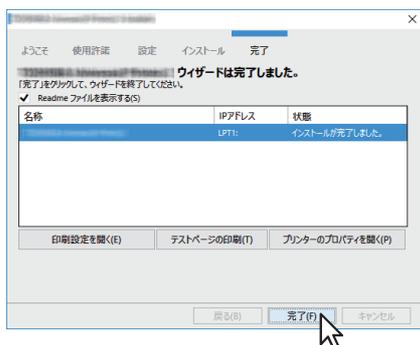
6 [プリンタポート] に「LPT1:」を入力し、[インストール] をクリックします。



7 [プリンターのプロパティを開く] をクリックします。

8 以降の操作は P.42～P.45の手順12～手順20を参照してください。

9 [完了] をクリックします。

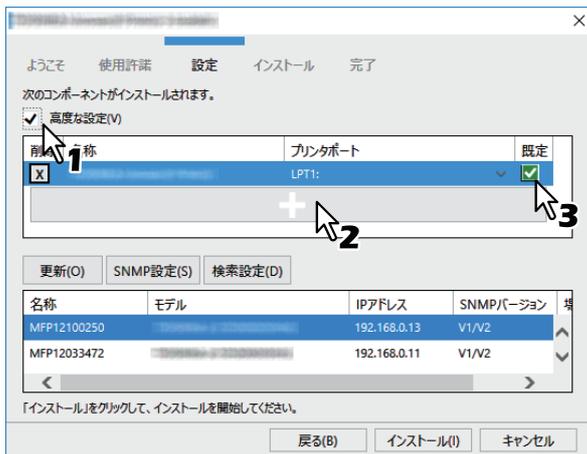


補足

- コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。
- テストページの印刷、本機で印刷を行うために必要なプリンタドライバの設定および印刷設定を行うことができます。必要に応じて、次に表示されるボタンをクリックして設定してください。
[完了] をクリックした後も設定することができます。
 - Readmeファイルを表示する：チェックマークを付けていると [完了] をクリックした後に Readmeファイルが開きます。
 - [印刷設定を開く]：インストールしたプリンタドライバの [印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。
設定方法は、**印刷ガイド**を参照してください。
 - [テストページの印刷]：本機からテストページが印刷されます。
 - [プリンターのプロパティを開く]：[プリンターのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
設定方法は、**印刷ガイド**を参照してください。

□ 検索結果から他の複合機を追加する場合

- 1 [高度な設定] をクリックしてチェックマークを付けます。
- 2 検索結果から追加したい複合機をクリックし、[+] ボタンをクリックしてください。
- 3 通常使うプリンターに設定する複合機は、[既定] をクリックしてチェックマークを付けてください。



補足

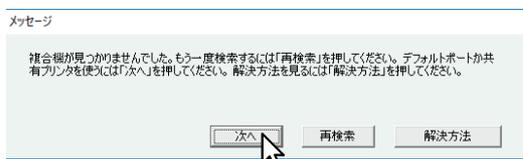
プリンタドライバをインストールしない複合機は、[×] マークをクリックして削除してください。

□ SMB印刷

SMB印刷ポートを手動で指定してプリンタドライバをインストールします。

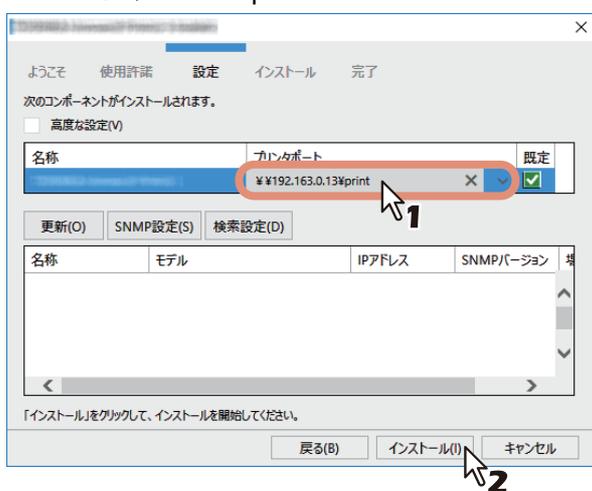
注意

- 設定を行う前に、本機がネットワークに接続され、電源が入っていることを確認してください。
- ネットワーク上のプリンタが検出されなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



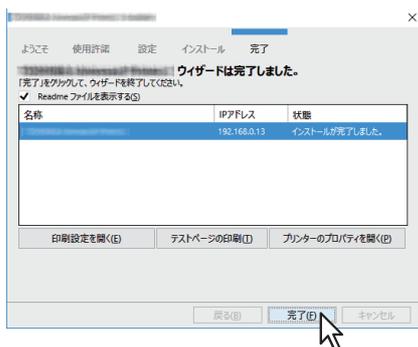
6 [プリンタポート] ボックスへ下記のようにネットワークパスを入力します。

¥ ¥ <IPアドレス> ¥ print



7 [インストール] をクリックします。

8 [完了] をクリックします。



補足

- コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。
- テストページの印刷、本機で印刷を行うために必要なプリンタドライバの設定および印刷設定を行うことができます。必要に応じて、次に表示されるボタンをクリックして設定してください。
[完了] をクリックした後でも設定することができます。
 - Readmeファイルを表示する：チェックマークを付けていると [完了] をクリックした後に Readmeファイルが開きます。
 - [印刷設定を開く]：インストールしたプリンタドライバの [印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。
設定方法は、**印刷ガイド**を参照してください。
 - [テストページの印刷]：本機からテストページが印刷されます。
 - [プリンターのプロパティを開く]：[プリンターのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
設定方法は、**印刷ガイド**を参照してください。

□ SNMP設定を確認／変更する

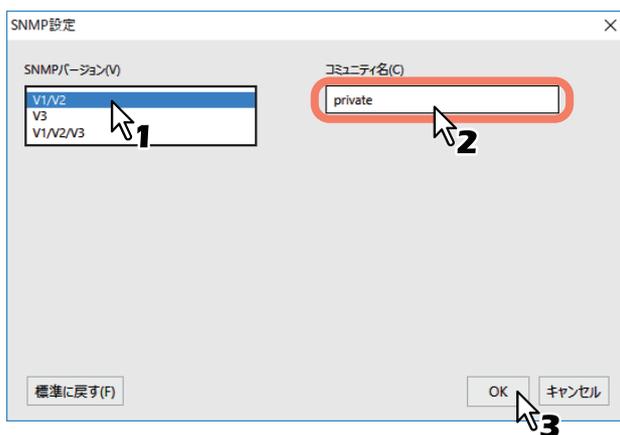
[SNMP設定] について

目的の東芝複合機と [SNMP設定] ダイアログボックスのSNMP設定が一致していないと、複合機を検出することができません。[SNMP設定] ダイアログボックスでSNMP設定が正しいことを確認し、必要であれば設定の変更を行ってください。

お使いの東芝複合機のSNMP設定については、管理者にお問い合わせください。

SNMPバージョンがV1およびV2の場合

1. お使いの東芝複合機に「private」（初期値）以外のSNMPコミュニティ名が設定されている場合は、[V1/V2] を選択します。
2. SNMPコミュニティ名を変更します。
3. [OK] をクリックします。



注意

SNMPコミュニティ名を変更する場合は、以下のセクションを参照してください。

📖 P.30 「SNMP設定変更時の注意事項」

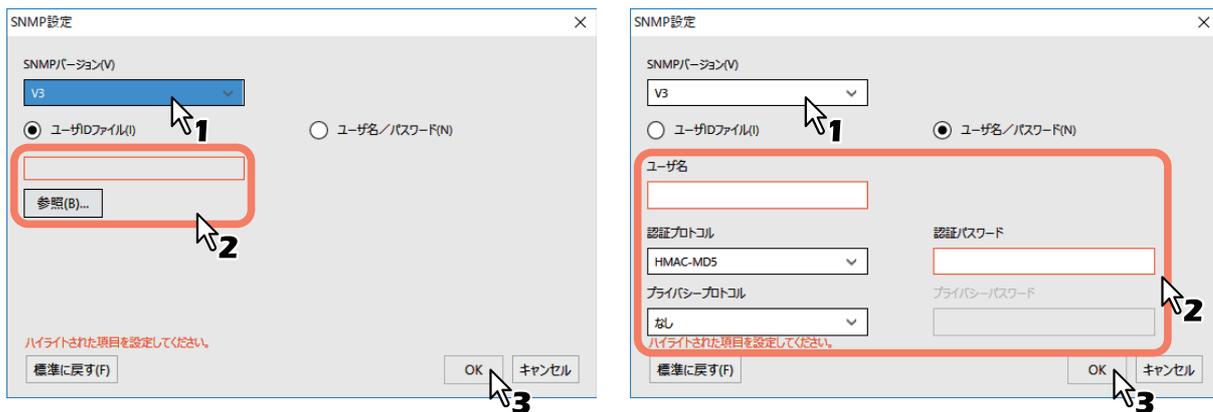
SNMPバージョンがV3の場合

1. [V3] を選択します。
2. ユーザIDファイルを使用して認証を行う場合は、[参照] をクリックし、ユーザIDファイルを指定します。ユーザ認証情報を使用して認証を行う場合は、[ユーザ名/パスワード] をクリックし、必要な認証情報を入力します。

注意

- 事前に管理者から認証方法についての確認を行ってください。
- SNMP設定を変更する場合は、以下のセクションを参照してください。
📖 P.30 「SNMP設定変更時の注意事項」

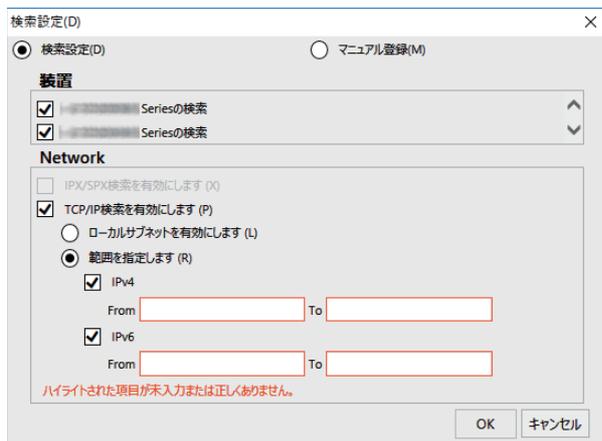
3. [OK] をクリックします。



* お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV1、V2、V3の場合は、[V1/V2/V3] を選択して上記設定の両方を行ってください。

□ 検索条件を絞り込む

検索条件を絞り込むには、[検索設定] をクリックし、表示される [検索設定] ダイアログボックスで以下の設定を行ってください。



1. 装置

検索する複合機名のチェックボックスにチェックを入れます。

2. Network

「IPX/SPX検索を有効にします」

この機能は、ご使用できません。

「TCP/IP検索を有効にします」

TCP/IPネットワークに接続されている複合機を検索します。このオプションは、お使いのコンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされているときに有効です。このオプションを選択したときは、TCP/IPネットワーク上の複合機をどのように検索するか指定します。

- ローカルサブネットを有効にします：ローカルサブネットの複合機を検索します。このオプションを選択したときは、[IPv4] または [IPv6] のどちらかのチェックボックスをオンにし、検索するプロトコルを指定します。
- 範囲を指定します：IPアドレスの範囲を指定して複合機を検索する場合に選択します。このオプションを選択したときは、[IPv4] または [IPv6] のどちらかのチェックボックスをオンにし、[From] および [To] ボックスにIPアドレスをそれぞれ入力して検索範囲を指定します。

マニュアル登録

お使いの複合機が他のセグメントにある場合には検出されないことがあります。この場合は、[マニュアル登録] ボタンから手動で装置に接続してください。

検索設定(D)

検索設定(D) マニュアル登録(M)

IPv4

IPアドレス(I)

IPv6

IPアドレス(I)

IPXアドレス(X)

名称(N) 設置場所(L)

ハイライトされた項目が未入力または正しくありません。

OK キャンセル

IPv4 IPアドレス：IPv4で指定する場合に選択します。選択した場合は、IPv4形式でお使いの複合機のIPアドレスを入力します。

IPv6 IPアドレス：IPv6で指定する場合に選択します。選択した場合は、IPv6形式でお使いの複合機のIPアドレスを入力します。

IPXアドレス：IPXで指定する場合に選択します。選択した場合は、IPX形式でお使いの複合機のIPXアドレスを入力します。

名称：お使いの複合機の名称を入力します。

設置場所：お使いの複合機の設置場所を入力します。

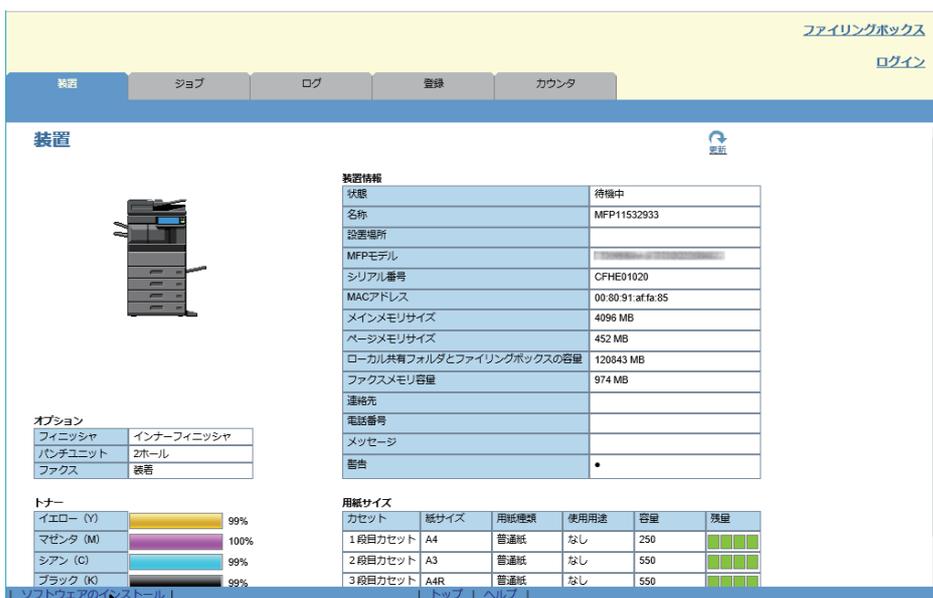
■ TopAccessからインストールする

お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

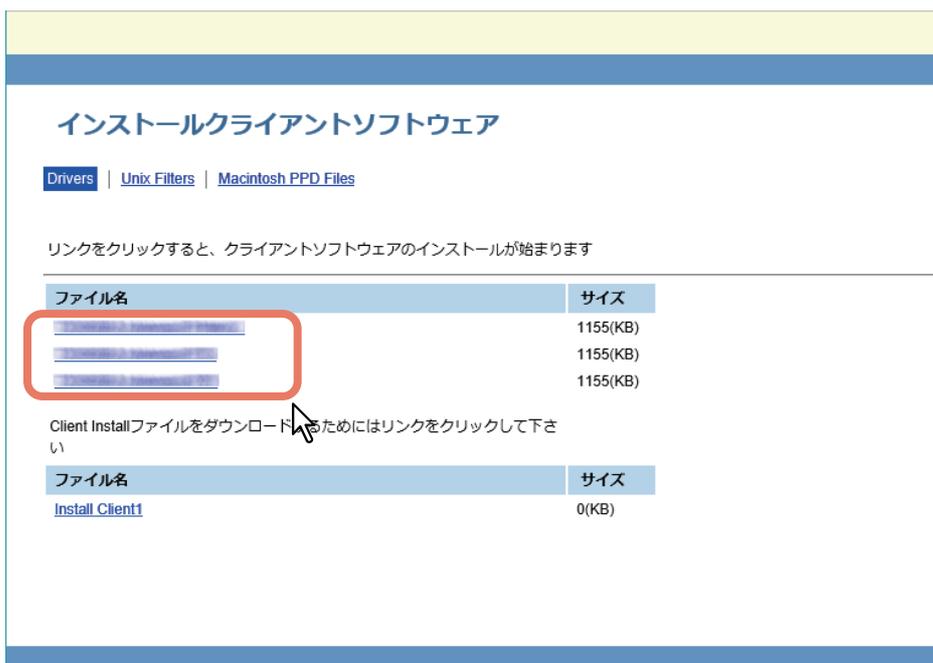
注意

- 本機能を使用するには以下の条件が必要です。
 - 本機に内蔵ストレージが装着されていること
 - 本機のSMB設定で、SMBプロトコルが有効であり、かつファイル共有が制限されていないこと
詳細は、本機の管理者にお問い合わせください。
- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

1 TopAccessの画面下にある [ソフトウェアのインストール] リンクをクリックします。



2 インストールしたいプリンタドライバのファイル名リンクをクリックします。



インストールが開始され、TCP/IPポート (IPv4) が自動的に作成されます。

3 インストールが完了します。

インストール結果がタスクバーに表示されます。

- プリンタドライバが正常にインストールされた場合（お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV1およびV2の場合）



- プリンタドライバが正常にインストールされた場合（お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV3の場合）



SNMP設定の確認方法は、以下のセクションの「[SNMP設定] について」を参照してください。

[P.26 「おすすめインストール手順」](#)

- 本機をIPv4環境でお使いの場合は、インストールはここで完了です。
本機をIPv6環境でお使いの場合は、以下のセクションの手順10以降を参照し、手動で印刷ポートを設定してください。
[P.41 「本機が自動的に検出されなかった場合には」](#)

■ 本機の共有フォルダからインストールする

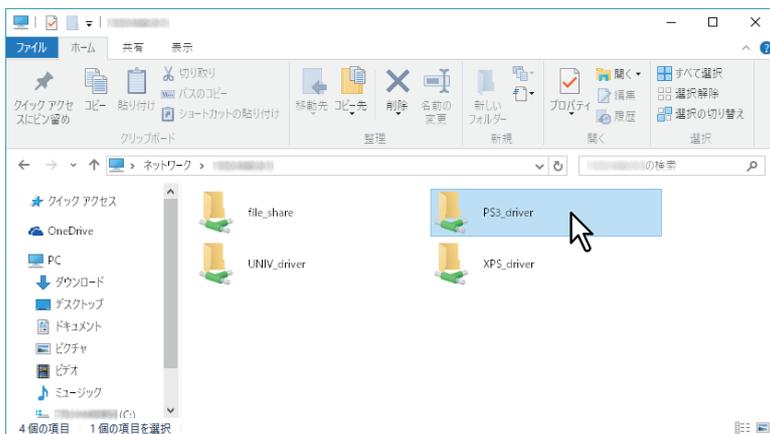
お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

注意

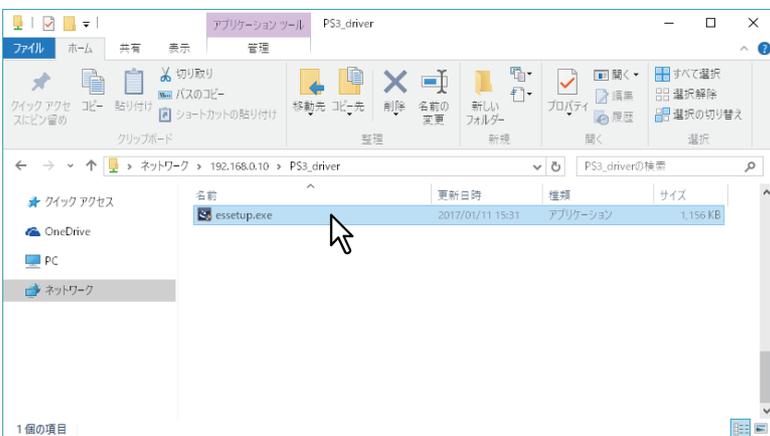
- 本機能を使用するには以下の条件が必要です。
 - 本機に内蔵ストレージが装着されていること
 - 本機のSMB設定で、SMBプロトコルが有効であり、かつプリント共有が制限されていないこと
詳細は、本機の管理者にお問い合わせください。
- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログインしてください。

1 エクスプローラで本機の共有フォルダ（MFPローカル）を開きます。

2 インストールしたいプリンタドライバのフォルダを開きます。



3 セットアッププログラム（esetup.exe）をダブルクリックします。



インストールが開始され、TCP/IPポート（IPv4）が自動的に作成されます。

4 インストールが完了します。

インストール結果がタスクバーに表示されます。

- プリンタドライバが正常にインストールされた場合（お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV1およびV2の場合）



- プリンタドライバが正常にインストールされた場合（お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV3の場合）



SNMP設定の確認方法は、以下のセクションの「[SNMP設定] について」を参照してください。

[P.26 「おすすめインストール手順」](#)

- 本機をIPv4環境でお使いの場合は、インストールはここで完了です。
本機をIPv6環境でお使いの場合は、以下のセクションの手順10以降を参照し、手動で印刷ポートを設定してください。
[P.41 「本機が自動的に検出されなかった場合には」](#)

その他のインストール

以下の印刷環境は、インストールディスクのSoftware Installerまたは個別インストーラからのインストールではセットアップできません (Windows 7 / Windows 8.1 / Windows Server 2012でのUSB印刷は除く)。これらの印刷をセットアップする場合は、各インストール手順を参照してください。

📖 P.61 「Raw TCP/LPR印刷 (プリンタの追加ウィザード)」

📖 P.67 「USB印刷」

📖 P.72 「IPP印刷」

📖 P.76 「Novell iPrint印刷」

📖 P.77 「Web Serviceプリント」

■ Raw TCP/LPR印刷 (プリンタの追加ウィザード)

ここでは、「プリンタの追加ウィザード」を使ってRaw TCP/LPR印刷を行うためのプリンタドライバのセットアップ方法について説明します。

注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

補足

プリンタドライバをインストールする前に、以下のことを確認してください。

- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- 本機およびお使いのコンピュータにTCP/IPが正しく設定されていること。

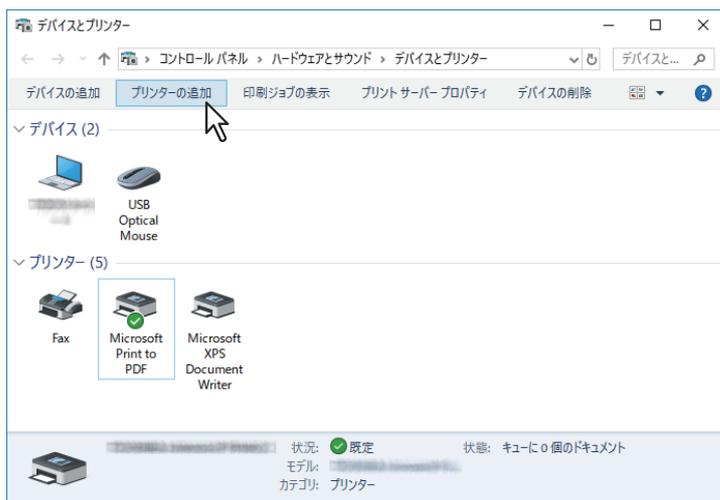
1 プリンタフォルダを開きます。

[スタート] をクリックし、[設定] > [デバイス] > [デバイスとプリンター] を選択します。

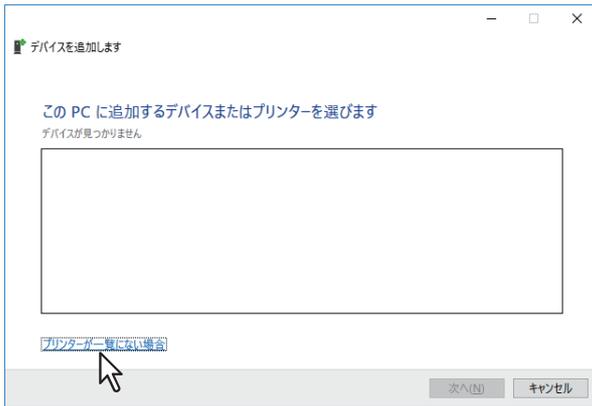
補足

- Windows 8.1 / Windows Server 2012をお使いの場合は、画面左下で右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows 7をお使いの場合は、[スタート] > [デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows Server 2008をお使いの場合は、[スタート] > [コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。

2 [プリンターの追加] をクリックします。

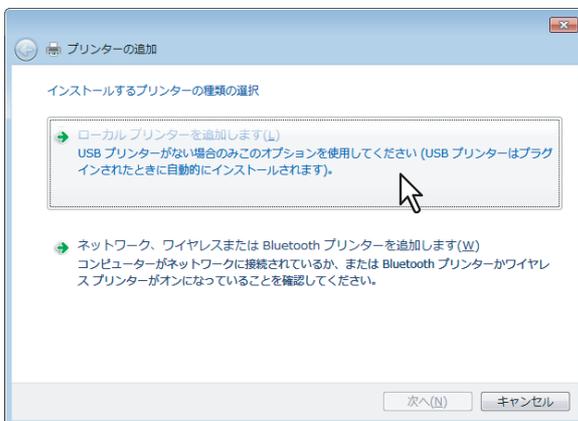


3 [プリンターが一覧にない場合] をクリックします。

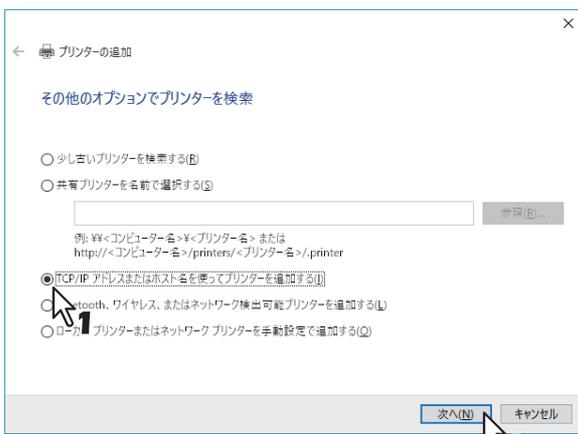


補 足

Windows 7 / Windows 8.1 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012をお使いの場合は、以下の画面が表示されます。[ローカルプリンターを追加します] をクリックします。

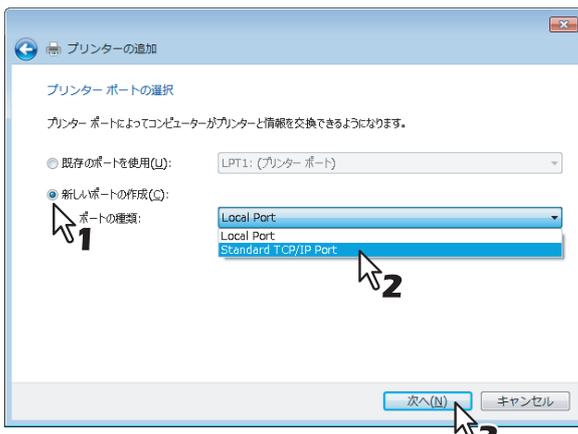


4 [TCP/IPアドレスまたはホスト名を使ってプリンターを追加する] を選択し、[次へ] をクリックします。

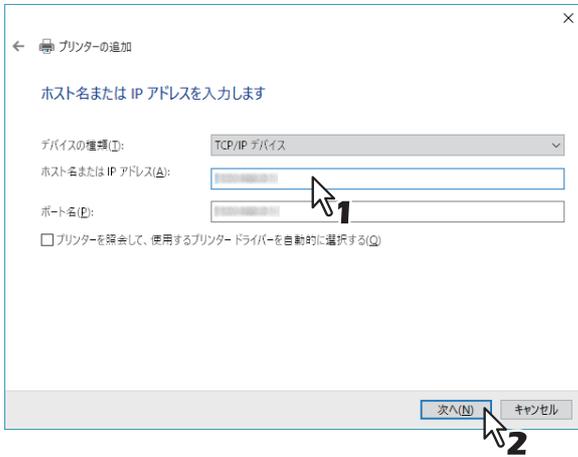


補足

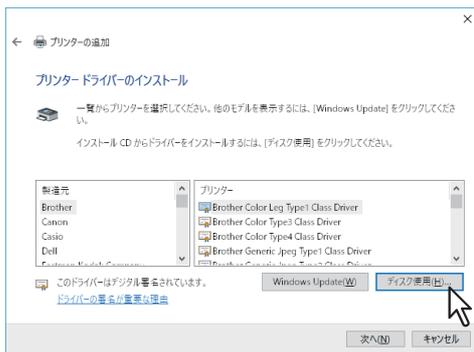
Windows 7 / Windows 8.1 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012をお使いの場合は、以下の画面が表示されます。[新しいポートの作成] を選択し、[ポートの種類] ボックスで [Standard TCP/IP Port] を選択したら、[次へ] をクリックします。



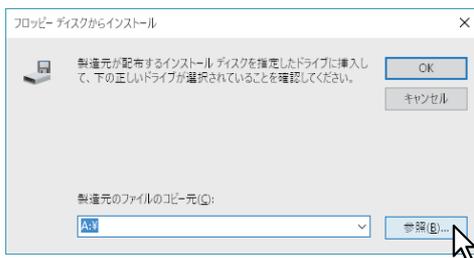
5 [ホスト名またはIPアドレス] ボックスに本機のホスト名またはIPアドレスを入力し、[次へ] をクリックします。



6 [ディスク使用] をクリックします。



7 [参照] をクリックします。

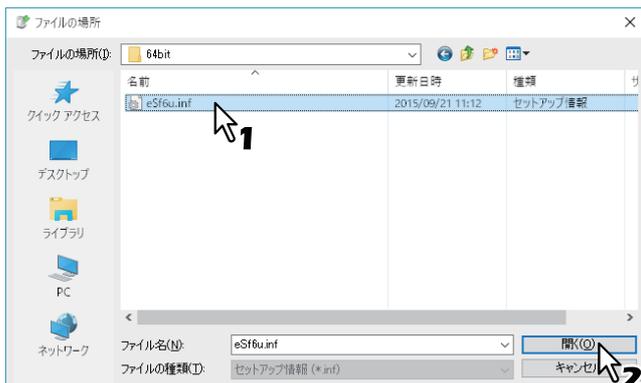


[ファイルの場所] ダイアログボックスが表示されます。

8 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

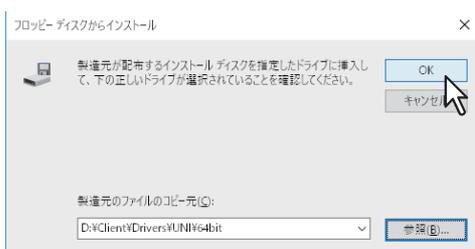
インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

9 プリンタドライバのあるフォルダを開き、INFファイルを選択し、[開く] をクリックします。

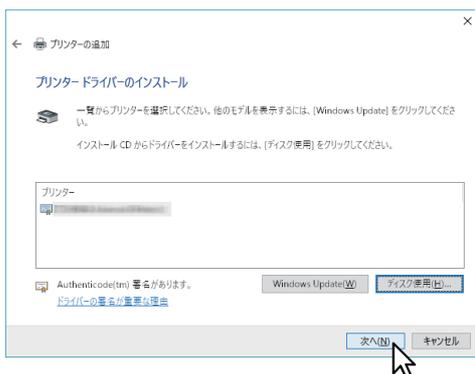


- 32ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
 - Universal Printer 2ドライバ：
 - [インストールディスク]： ¥ Client ¥ Drivers ¥ UNI ¥ Driver ¥ 32bit
 - Universal PS3プリンタドライバ：
 - [インストールディスク]： ¥ Client ¥ Drivers ¥ PS ¥ Driver ¥ 32bit
 - Universal XPSプリンタドライバ
 - [インストールディスク]： ¥ Client ¥ Drivers ¥ XPS ¥ Driver ¥ 32bit
- 64ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
 - Universal Printer 2ドライバ：
 - [インストールディスク]： ¥ Client ¥ Drivers ¥ UNI ¥ Driver ¥ 64bit
 - Universal PS3プリンタドライバ：
 - [インストールディスク]： ¥ Client ¥ Drivers ¥ PS ¥ Driver ¥ 64bit
 - Universal XPSプリンタドライバ
 - [インストールディスク]： ¥ Client ¥ Drivers ¥ XPS ¥ Driver ¥ 64bit

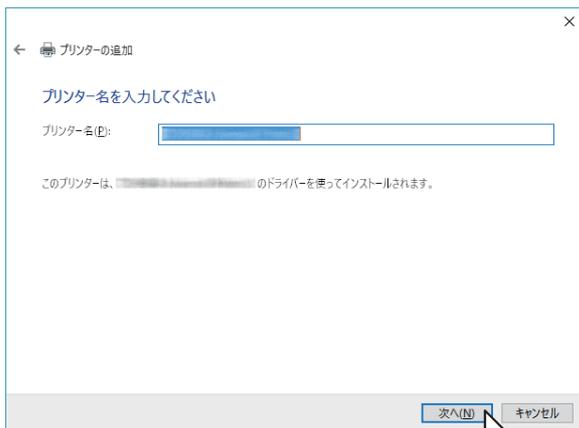
10 ファイルパスを確認し、[OK] をクリックします。



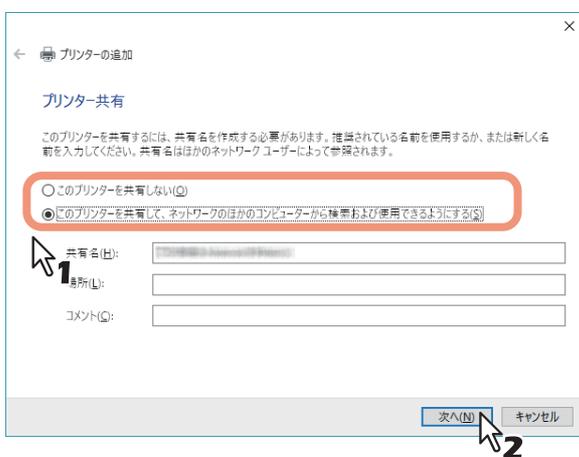
11 正しいドライバが選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。



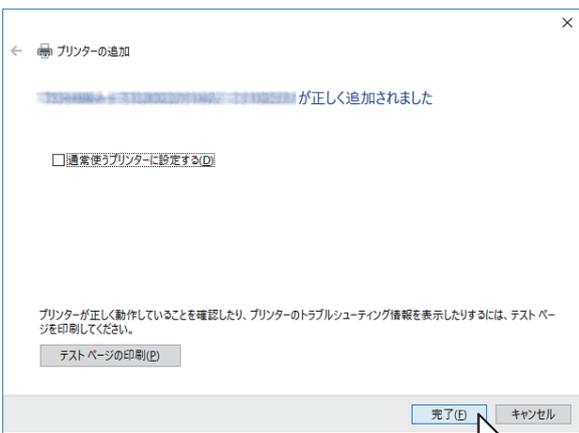
12 必要に応じてプリンタ名を変更し、[次へ] をクリックします。



13 本機をネットワーク上の他のユーザと共有するかを選択し、[次へ] をクリックします。



14 [完了] をクリックします。



プリンタドライバがインストールされます。

■ USB印刷

ここでは、Windows 7以降/Windows Server 2008以降の環境で本機がUSBケーブルで接続されている場合のプリンタドライバのセットアップ方法について説明します。
USB印刷のインストール手順は、Windowsのバージョンによって異なります。

📖 P.67 「Windows 7以降/Windows Server 2012以降」

📖 P.70 「Windows Server 2008」

注意

- USB2.0 Hi-Speed規格認証ケーブルを使用してください。
- 本機とコンピュータはUSBケーブルで直接接続してください。HUBなどを経由して接続すると、正しく動作しない場合があります。
- PCLXLエラーが発生する場合は、「デバイスとプリンター」でTOSHIBA Universal Printer2の「プリンターのプロパティ」を開き、「詳細設定」タブの「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンターに送る」を選んでください。

□ Windows 7以降/Windows Server 2012以降

USB印刷用のプリンタドライバをインストールディスクのSoftware Installerを使ってインストールします。

注意

- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログインしてください。
- PCLXLエラーが発生する場合は、「デバイスとプリンター」でTOSHIBA Universal Printer2の「プリンターのプロパティ」を開き、「詳細設定」タブの「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンターに送る」を選んでください。

1 本機とお使いのコンピュータの電源を入れます。

2 本機とコンピュータをUSBケーブルで接続します。

3 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

Software Installerが自動的に起動しないときには、インストールディスクの「e-STUDIO」フォルダをエクスプローラで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、Software Installerを起動してください。

4 「使用許諾契約の全条項に同意します。」を選択し、「次へ」をクリックします。



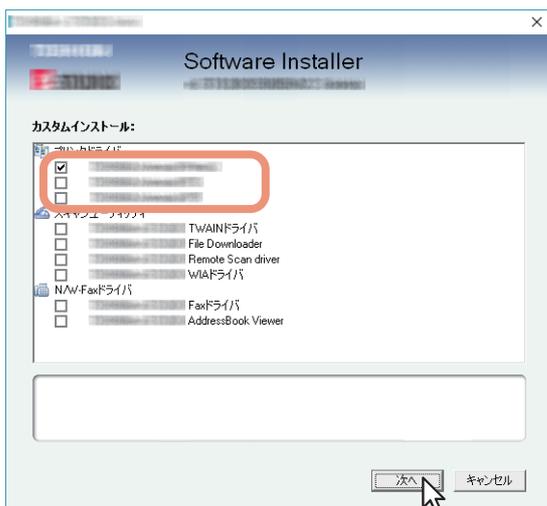
5 [プリンタドライバ] または [カスタムインストール] をクリックします。



プリンタドライバ：Universal Printer 2ドライバをインストールします。このメニューを選択した場合は、手順7にお進みください。

カスタムインストール：インストールしたいプリンタドライバを選択できます。このメニューを選択した場合は、手順6にお進みください。

6 インストールするプリンタドライバを選択し、[次へ] をクリックします。



7 インストールするソフトウェアを確認し、[インストール] をクリックします。

8 検索結果のメッセージが表示されますので、[次へ] をクリックします。

9 「ローカルポート」 および 「USBxxx」 (xxxは数字) を選択し、[OK] をクリックします。



10 インストールの完了を確認し、[終了] をクリックします。

補足

コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了] をクリックします。

11 [Exit] をクリックします。

インストーラの終了を確認するダイアログボックスが表示されるので、[はい] をクリックしてください。

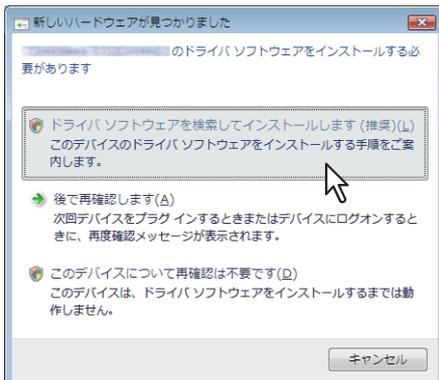
□ Windows Server 2008

USB印刷用のプリンタドライバをWindows Server 2008へプラグアンドプレイによりインストールします。

注意

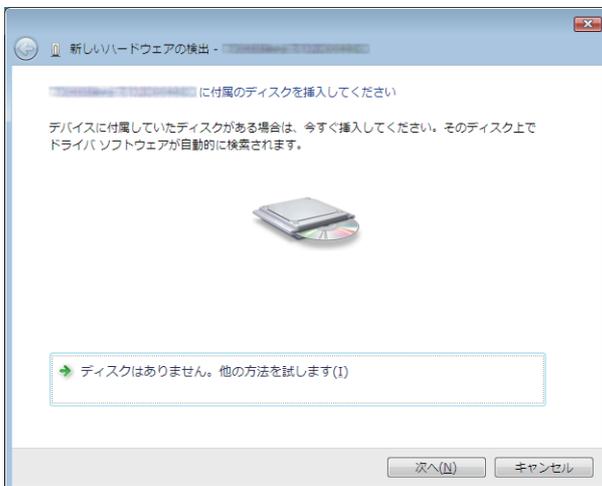
インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

- 1 本機とお使いのコンピュータの電源を入れます。
- 2 本機とコンピュータをUSBケーブルで接続します。
インストール方法の確認ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] をクリックします。



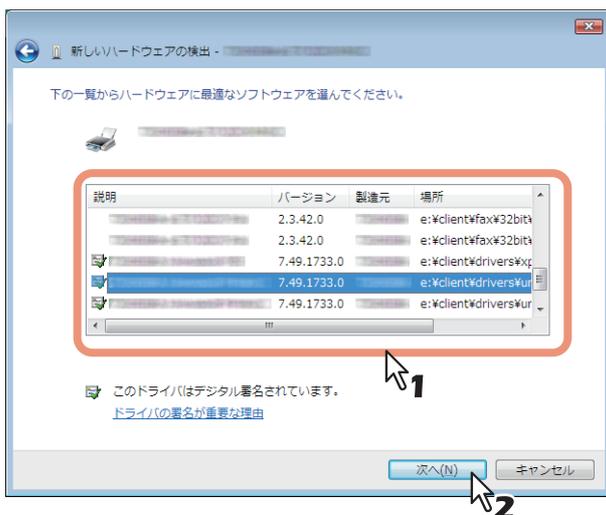
オンライン検索確認のダイアログボックスが表示された場合は、[オンラインで検索しません] をクリックします。

- 4 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。



インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

5 インストールするドライバを選択し、[次へ] をクリックします。



注意

- プリンタドライバー一覧には、インストールすることのできるドライバがすべて表示されます。間違ったドライバをインストールすると正常に印刷されないことがあります。

32ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合

- Universal Printer 2 ドライバ :
[インストールディスク] : ¥ Client ¥ Drivers ¥ UNI ¥ Driver ¥ 32bit
- Universal PS3 プリンタ ドライバ :
[インストールディスク] : ¥ Client ¥ Drivers ¥ PS ¥ Driver ¥ 32bit
- Universal XPS プリンタ ドライバ :
[インストールディスク] : ¥ Client ¥ Drivers ¥ XPS ¥ Driver ¥ 32bit

64ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合

- Universal Printer 2 ドライバ :
[インストールディスク] : ¥ Client ¥ Drivers ¥ UNI ¥ Driver ¥ 64bit
- Universal PS3 プリンタ ドライバ :
[インストールディスク] : ¥ Client ¥ Drivers ¥ PS ¥ Driver ¥ 64bit
- Universal XPS プリンタ ドライバ :
[インストールディスク] : ¥ Client ¥ Drivers ¥ XPS ¥ Driver ¥ 64bit

6 [閉じる] をクリックします。

IPP印刷

ここでは、IPP印刷を行うためのプリンタドライバのセットアップ方法について説明します。
IPP印刷用にプリンタドライバをセットアップするには、「プリンタの追加ウィザード」を使ってプリンタドライバをインストールし、その後必要な他のソフトウェアをインストールします。

注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

補足

プリンタドライバをインストールする前に、以下のことを確認してください。

- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- 本機およびお使いのコンピュータにTCP/IPが正しく設定されていること。

IPP印刷用のプリンタドライバを「プリンタの追加ウィザード」を使ってインストールします。
お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

1 プリンタフォルダを開きます。

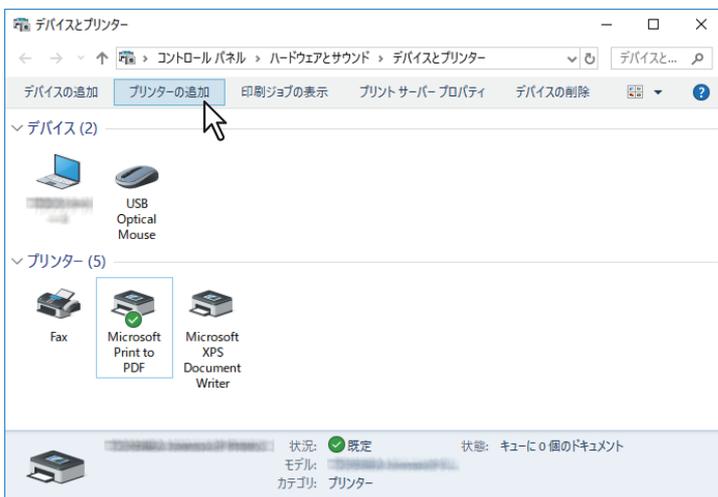
[スタート] をクリックし、[設定] > [デバイス] > [デバイスとプリンター] を選択します。

補足

- Windows 8.1 / Windows Server 2012をお使いの場合は、画面左下で右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows 7をお使いの場合は、[スタート] > [デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows Server 2008をお使いの場合は、[スタート] > [コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。

2 [プリンターの追加] ダイアログボックスを表示します。

- Windows 7以降/Windows Server 2012以降をお使いの場合
[プリンターの追加] をクリックします。



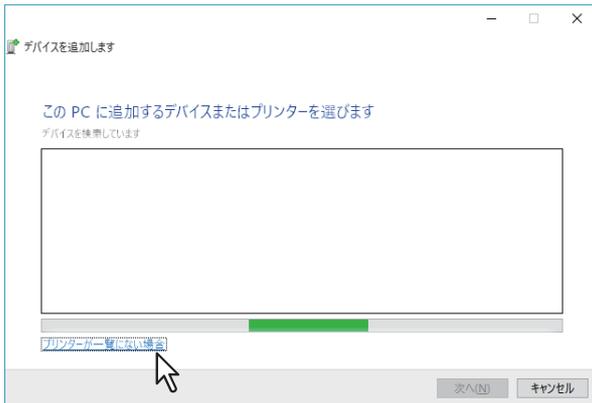
- Windows Server 2008をお使いの場合
[プリンタのインストール] をクリックします。

3 [ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetoothプリンターを追加します] をクリックします。

補足

お使いのOSによっては、この画面は表示されません。

4 「プリンターが一覧にない場合」をクリックします。



5 「共有プリンターを名前を選択する」を選択して「http:// [IPアドレス] :631/Print」と入力します。



- [IPアドレス] の箇所には、本機のIPアドレスを入力します。
例：IPアドレスが「192.168.1.2」の場合
http://192.168.1.2:631/Print
- ネットワークでDNSまたはWINSサーバーを使用している場合は、IPアドレスの代わりに本機のサーバー名を入力します。
例：サーバー名が「Mfp-05212774」の場合
http://Mfp-05212774:631/Print
- インターネットから接続している場合は、IPアドレスの代わりに本機のFQDNを入力します。
例：URLが「Mfp-05212774.toshibatec.com」の場合
http://Mfp-05212774.toshibatec.com:631/Print

注意

IPP URLの「Print」の「P」は必ず大文字で入力する必要があります。小文字で「print」と入力しても、IPPポートが作成されますが、正常に印刷することはできません。誤って小文字の「print」でIPPポートを作成してしまった場合は、IPPポートをいったん削除してから、正しいIPP URLを指定してIPPポートを作成し直してください。

補足

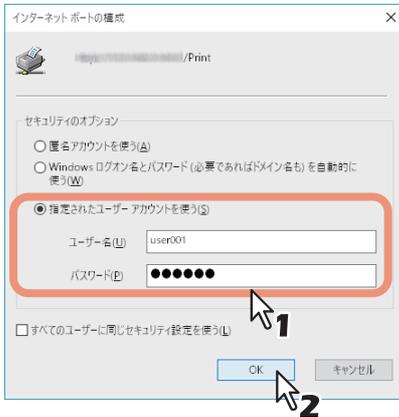
- 本機の管理者が本機上でIPPポート80機能を有効に設定している場合は、ポート番号をURLから除外することができます。(例：http://192.168.1.2/Print)
- 本機の管理者が本機上でIPP印刷のSSL/TLSを有効に設定している場合は、「https:// [IPアドレス] : [SSL/TLSポート番号] /Print」と入力します。
(例：https://192.168.1.2:443/Print)

6 [次へ] をクリックします。

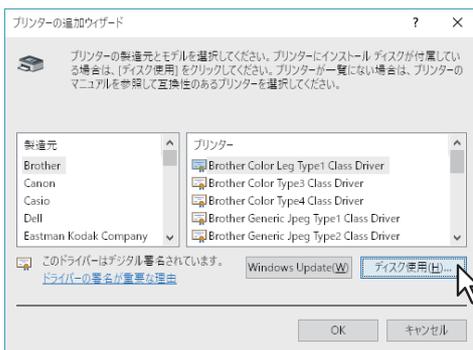
選択した本機との接続確認用のダイアログボックスが表示されますので、完了するまでお待ちください。

注意

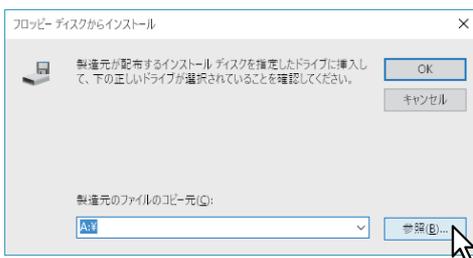
IPP印刷の認証設定が有効になっている場合は、ユーザ名およびパスワードの入力画面が表示されます。画面が表示された場合は、必要な値を入力し [OK] をクリックします。詳細は、管理者にお問い合わせください。



7 [ディスク使用] をクリックします。



8 [参照] をクリックします。

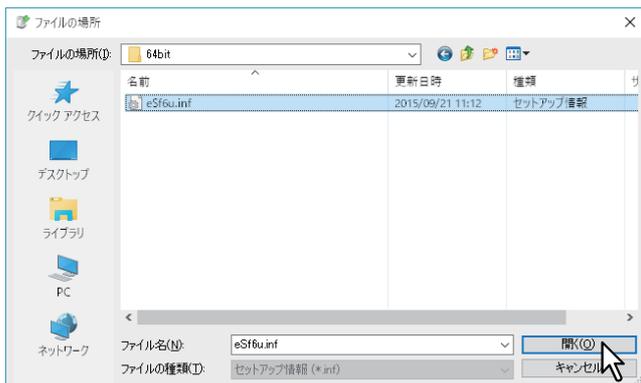


[ファイルの場所] ダイアログボックスが表示されます。

9 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

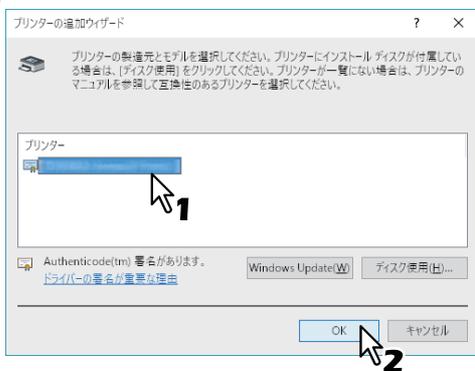
10 プリンタドライバのあるフォルダを開き、INFファイルを選択し、[開く] をクリックします。



- 32ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
 - Universal Printer 2ドライバ：
 - [インストールディスク]： ¥ Client ¥ Drivers ¥ UNI ¥ Driver ¥ 32bit
 - Universal PS3プリンタドライバ：
 - [インストールディスク]： ¥ Client ¥ Drivers ¥ PS ¥ Driver ¥ 32bit
- 64ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
 - Universal Printer 2ドライバ：
 - [インストールディスク]： ¥ Client ¥ Drivers ¥ UNI ¥ Driver ¥ 64bit
 - Universal PS3プリンタドライバ：
 - [インストールディスク]： ¥ Client ¥ Drivers ¥ PS ¥ Driver ¥ 64bit

11 [OK] をクリックします。

12 プリンタドライバを選択し、[OK] をクリックします。



[Windowsセキュリティ] ダイアログボックスが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックして操作を続行してください。

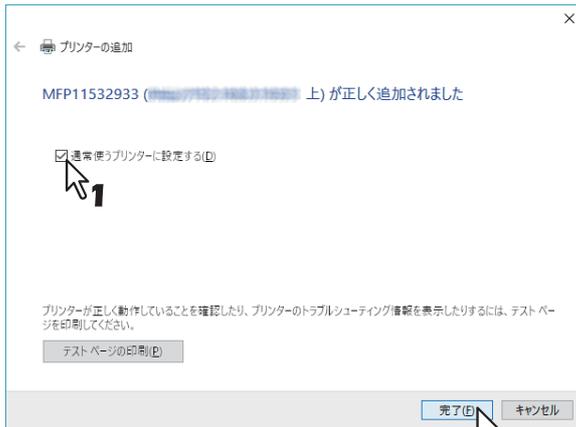
13 [次へ] をクリックします。

補足

[プリンタ共有] ダイアログボックスが表示された場合は、本機をネットワーク上の他のユーザと共有するかどうかを選択し、[次へ] をクリックしてください。

- 必要に応じて共有名の変更または場所およびコメントの入力を行ってください。

14 このプリンタを通常使うプリンターにするかどうかを選択し、[完了] をクリックします。



プリンタドライバがインストールされます。

■ Novell iPrint印刷

ここでは、Novell iPrint印刷用にプリンタドライバをインストールする方法について説明します。クライアントコンピュータにNovell iPrint用のプリンタドライバをインストールするには、iPrint Clientをインストールし、NetWareプリントサーバーからプリンタドライバをダウンロードします。

注意

- クライアントコンピュータにiPrintをセットアップするには、NetWareプリントサーバーがNovell iPrint用にセットアップされている必要があります。
- Novell iPrint用にプリンタドライバをインストールする前に、お使いのコンピュータでNovell iPrintの動作環境が満たされていることを確認してください。詳細については、Novell, Inc.から提供されているNovell iPrintのドキュメントを参照してください。

1 ブラウザを起動し、アドレスバーに以下のURLを入力します。

`http://<IPアドレスまたはNDPSマネージャのNDS名>/ipp`

注意

- NDPSマネージャのIPアドレスまたはDNS名が分からない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
- IPアドレスまたはDNS名がSSL/TLSで保護されている場合は、以下のURLを入力してください。
`https://<IPアドレスまたはNDPSマネージャのNDS名>/ipps`

2 iPrint Clientがインストールされていない場合は、インストールするようメッセージが表示され、iPrint Clientがインストールされます。

3 接続可能なプリンタの一覧からインストールするプリンタをクリックします。 選択したプリンタがコンピュータにインストールされます。

■ Web Serviceプリント

本機は、Windows 7以降/Windows Server 2008以降が提供するWSD（Web Services on Devices）プロトコルをサポートしています。ここでは、WSDプロトコルを使ってプリンタドライバをインストールする方法を説明します。

- 📖 P.77 「Windows 7以降/Windows Server 2012以降」
- 📖 P.80 「Windows Server 2008」

□ Windows 7以降/Windows Server 2012以降

Windows 7以降/Windows Server 2012以降にプリンタドライバをインストールします。

注意

- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
- インストールを開始するには、お使いのコンピュータにプリンタドライバがインストールされている必要があります。
プリンタドライバのインストール方法については、以下のセクションを参照してください。
📖 P.36 「プリンタドライバのインストール」

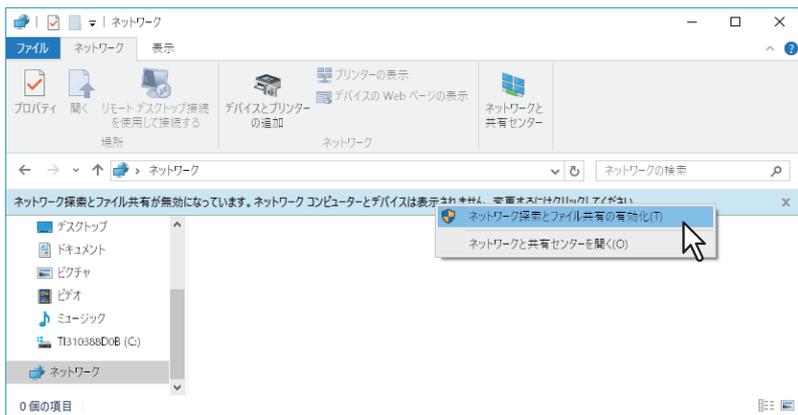
1 [ネットワーク] 画面を表示します。

- [スタート] > [エクスプローラー] > [ネットワーク] を選択します。
- ネットワーク探索が有効になっている場合は手順4へ進みます。
 - ネットワーク探索が無効になっている場合は次の手順へ進みます。

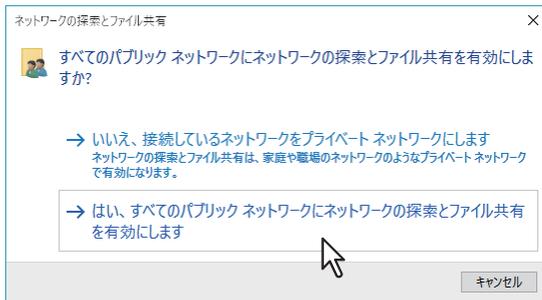
補足

- Windows 8.1 / Windows Server 2012をお使いの場合は、スタートチャーム > [すべてのアプリ]（右クリックすると画面右下に表示されます） > [コンピュータ] > [ネットワーク] を選択します。
- Windows 7をお使いの場合は、[スタート] > [コンピュータ] > [ネットワーク] を選択します。

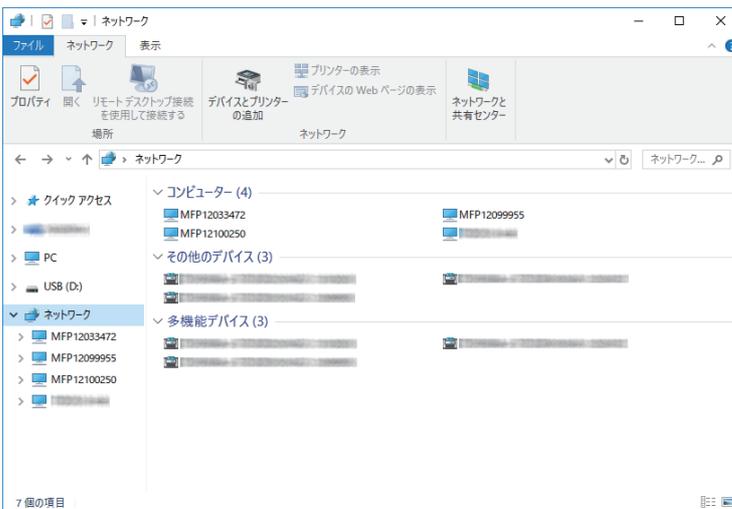
2 [ネットワーク探索とファイル共有が無効になっています。ネットワークコンピューターとデバイスは表示されません。変更するにはクリックしてください] をクリックし [ネットワーク探索とファイル共有の有効化] を選択します。



3 [はい、すべてのパブリックネットワークにネットワークの探索とファイル共有を有効にします] をクリックします。



[ネットワーク] 画面に、接続されているコンピュータと多機能デバイスのアイコンが表示されます。



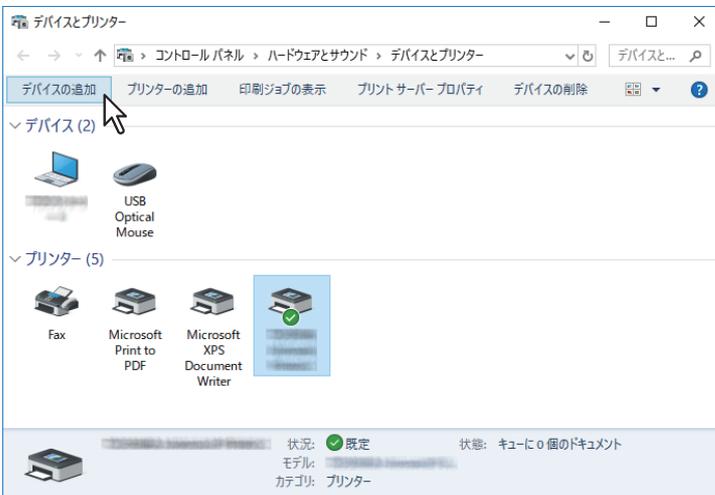
4 [デバイスとプリンター] フォルダを開きます。

[スタート] をクリックし、[設定] > [デバイス] > [デバイスとプリンター] を選択します。

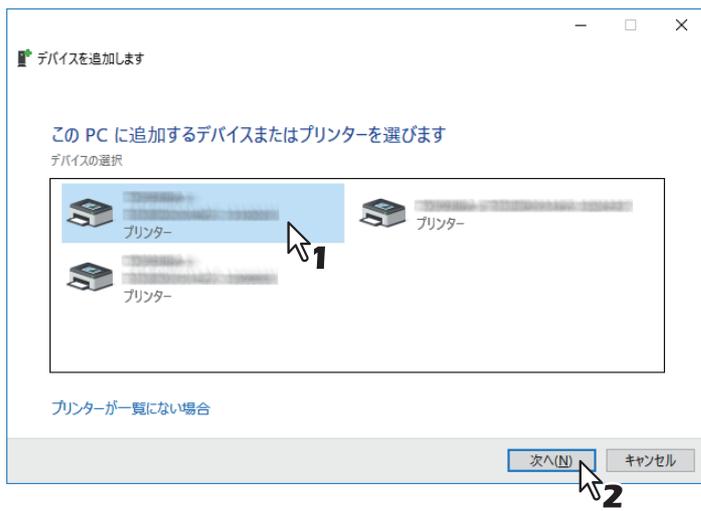
補足

- Windows 8.1 / Windows Server 2012をお使いの場合は、画面左下で右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows 7をお使いの場合は、[スタート] > [デバイスとプリンター] を選択します。

5 [デバイスの追加] をクリックします。



6 本機が多機能デバイスのアイコンを選択し、[次へ] をクリックします。



インストールが開始されます。

7 インストールが完了します。

□ Windows Server 2008

Windows Server 2008にプリンタドライバをインストールします。

注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

補足

- 一度インストールディスクよりプリンタドライバをインストールした場合は、プリンタドライバ情報が残るため、Web Serviceプリントを再度インストールする際には、インストールディスクは必要ありません。
- プリンタドライバの削除方法については、以下を参照してください。

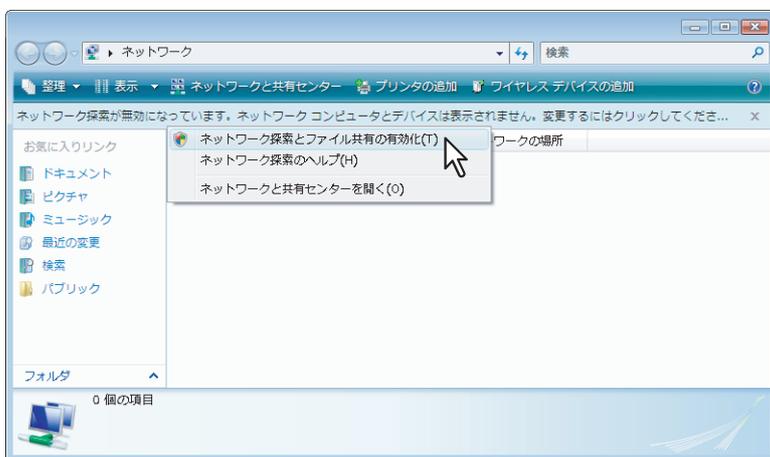
📖 P.85 「プリンタドライバのアンインストール」

1 [スタート] → [ネットワーク] をクリックして、[ネットワーク] 画面を表示します。

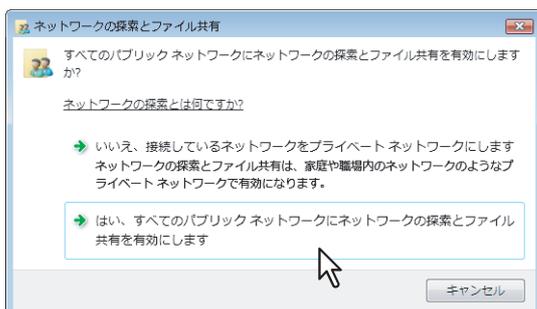


- ネットワーク探索が有効になっている場合は手順4へ進みます。
- ネットワーク探索が無効になっている場合は次の手順へ進みます。

2 [ネットワーク探索が無効になっています。ネットワークコンピュータとデバイスは表示されません。変更するにはクリックしてください] をクリックし [ネットワーク探索とファイル共有の有効化] を選択します。



3 [はい、すべてのパブリックネットワークにネットワークの探索とファイル共有を有効にします] をクリックします。

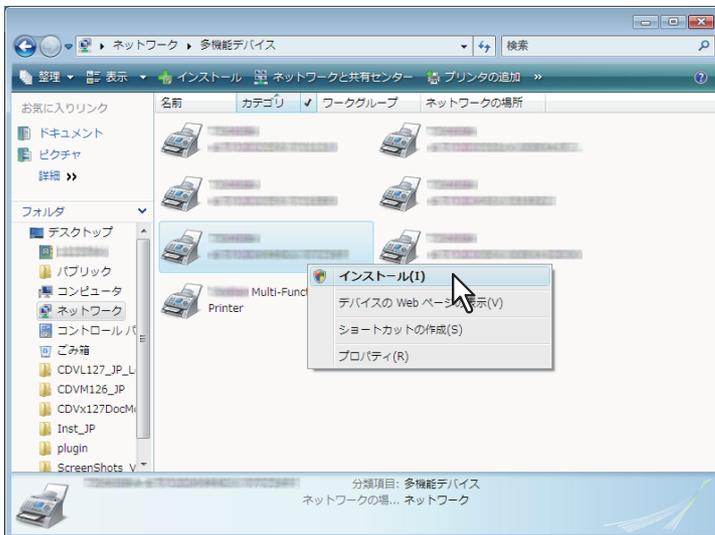


[ネットワーク] 画面に、接続されているコンピュータと多機能デバイスのアイコンが表示されます。

4 本機が多機能デバイスのアイコンを選択し、右クリックメニューより [インストール] をクリックします。

補足

[カテゴリ] リストボックスより [多機能デバイス] をオンにすると、多機能デバイスのみ表示することができます。



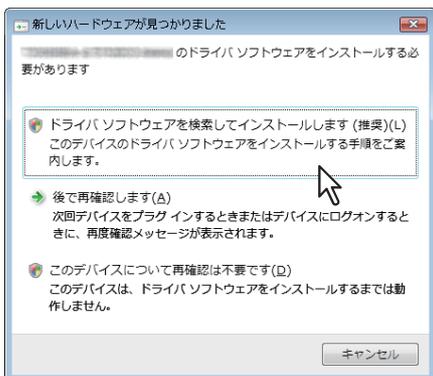
タスクバーに [PnPX Device Association] が表示されます。

5 [PnPX Device Association] をクリックします。



[新しいハードウェアが見つかりました] ダイアログボックスが表示されます。

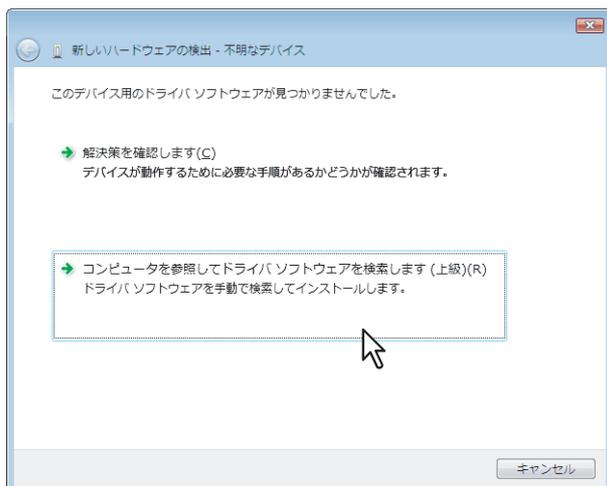
6 [ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] をクリックします。



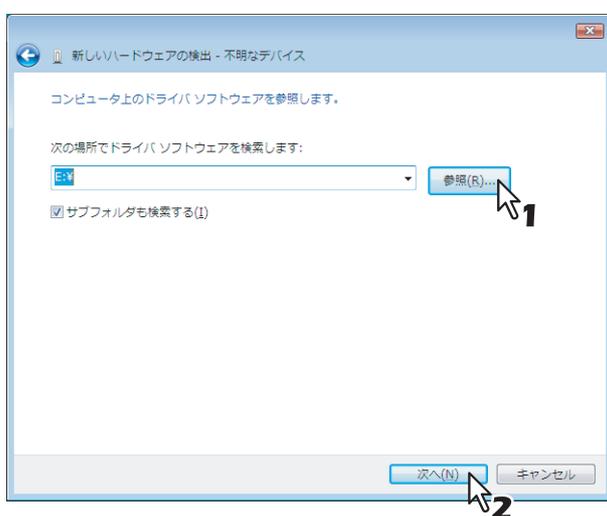
補足

オンライン検索確認のダイアログボックスが表示された場合は、[オンラインで検索しません] をクリックします。

7 [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します (上級)] をクリックします。

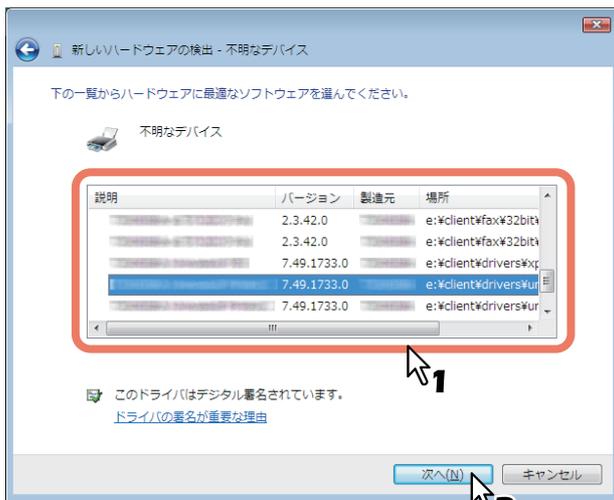


8 インストールディスクをディスクドライブにセットし、[参照] をクリックしてディスクドライブの場所を指定して [次へ] をクリックします。



インストールディスクをディスクドライブにセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

9 インストールするプリンタドライバを選択し、[次へ] をクリックします。



注意

[Windowsセキュリティ] ダイアログボックスが表示されましたら [このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてインストールを続けてください。

10 [閉じる] をクリックしてインストールを終了します。

Windows用PPDファイルのコピー

インストールディスクには、印刷時にPPDファイルを必要とするWindowsアプリケーション用のPPDファイルが収録されています。自動的にPPDファイルをインストールできないアプリケーションで、プリンタ固有の印刷設定を「印刷」ダイアログボックスや「用紙設定」ダイアログボックスで利用するには、PPDファイルを適切な場所にコピーしてください。

1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

2 Windows用PPDファイルが収録されている以下のフォルダを開きます。

- [インストールディスク]：¥ Client ¥ Drivers ¥ WinPPD ¥ 2-sided_default
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
- [インストールディスク]：¥ Client ¥ Drivers ¥ WinPPD ¥ normal
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

補 足

カラー MFPの場合は「TSES6D_1.PPD」を、モノクロMFPの場合は「TSES8O_1.PPD」をご使用ください。

3 コンピュータの適切な場所にPPDファイル (*.ppd) をコピーします。

補 足

ファイルのコピー先については、アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

プリンタドライバのアンインストール

プリンタドライバをアンインストールする場合は、以下の手順で行います。

- 📖 P.85 「Windows 7以降/Windows Server 2012以降」
- 📖 P.87 「Windows Server 2008」

■ Windows 7以降/Windows Server 2012以降

Windows 7以降/Windows Server 2012以降からプリンタドライバをアンインストールします。

注意

アンインストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

1 [デバイスとプリンター] フォルダを開きます。

[スタート] をクリックし、[設定] > [デバイス] > [デバイスとプリンター] を選択します。

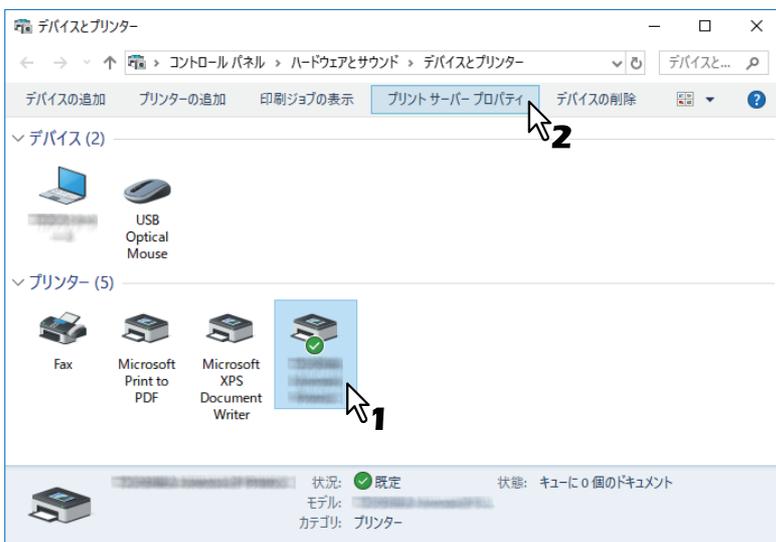
補足

- Windows 8.1 / Windows Server 2012をお使いの場合は、画面左下で右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows 7をお使いの場合は、[スタート] > [デバイスとプリンター] を選択します。

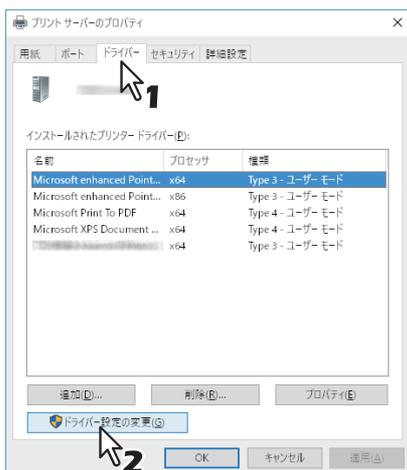
2 削除したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから [デバイスの削除] を選択します。

削除確認のダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。

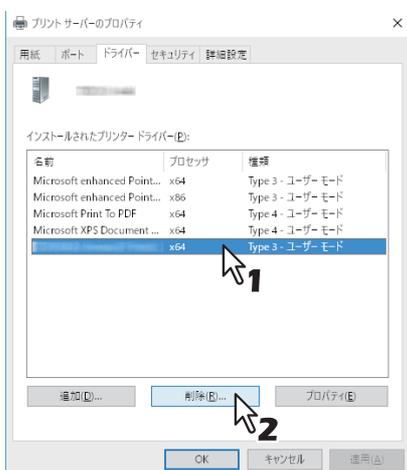
3 [デバイスとプリンター] フォルダに残っているいずれかのプリンタのアイコンを選択し、[プリントサーバープロパティ] をクリックします。



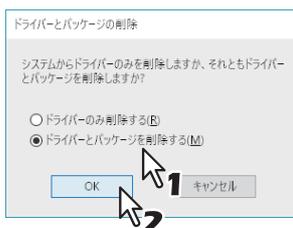
4 [ドライバー] タブをクリックし、[ドライバー設定の変更] をクリックします。



5 削除するプリンタドライバを選択し、[削除] をクリックします。



6 [ドライバーとパッケージを削除する] を選択し、[OK] をクリックします。



7 [はい] をクリックします。

8 [削除] をクリックします。

9 [OK] をクリックします。

10 [プリントサーバーのプロパティ] ダイアログボックスを閉じます。

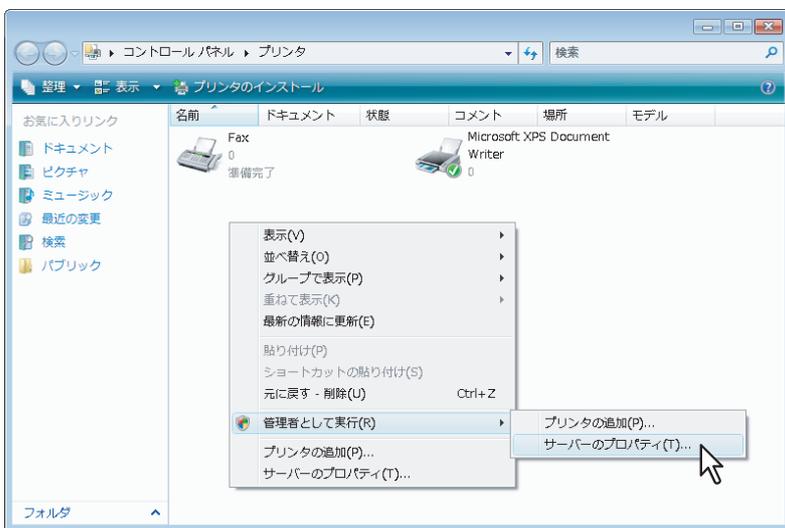
■ Windows Server 2008

Windows Server 2008からプリンタドライバをアンインストールします。

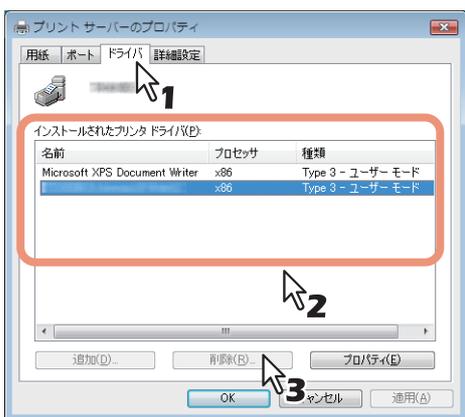
注意

アンインストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

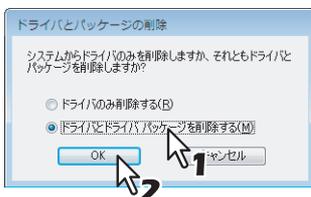
- 1 [スタート] → [コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] メニューの [プリンタ] の順にクリックして、[プリンタ] フォルダを開きます。
- 2 削除したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから [削除] を選択します。
削除確認のダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。
- 3 「プリンタ」フォルダの何も無い部分を右クリックし、表示されるメニューから [管理者として実行] → [サーバのプロパティ] の順にクリックします。



- 4 [ドライバ] タブをクリックし、削除するプリンタドライバを選択後、[削除] をクリックします。



- 5 [ドライバとドライバパッケージを削除する] を選択し、[OK] をクリックします。



-
- 6 [はい] をクリックします。
 - 7 [削除] をクリックします。
 - 8 [OK] をクリックします。
 - 9 [プリントサーバーのプロパティ] ダイアログボックスを閉じます。

プリンタドライバの修復

プリンタドライバが正常に使用できない場合は、プリンタドライバの修復を行ってください。

注意

プリンタドライバを修復するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

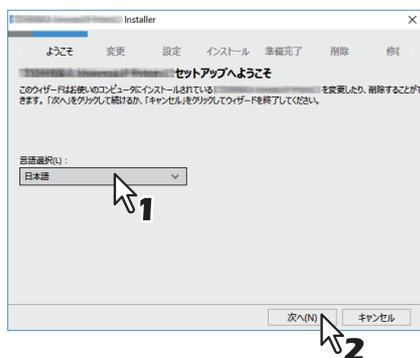
1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの「Exit」をクリックしてSoftware Installerを終了します。

2 修復したいプリンタドライバのフォルダを開き、「essetup.exe」をダブルクリックします。

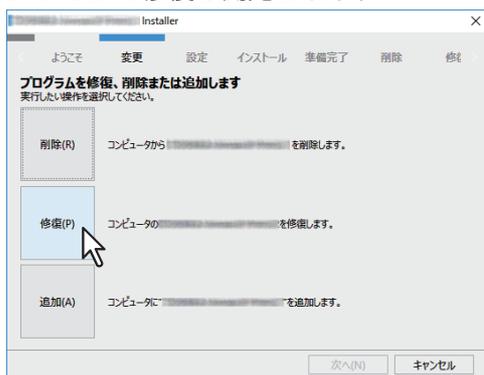
- Universal Printer 2ドライバ
[インストールディスク]：¥ Client ¥ Drivers ¥ UNI ¥
- Universal PS3プリンタドライバ
[インストールディスク]：¥ Client ¥ Drivers ¥ PS ¥
- Universal XPSプリンタドライバ
[インストールディスク]：¥ Client ¥ Drivers ¥ XPS ¥

3 使用する言語を選択し、「次へ」をクリックします。



4 「修復」をクリックします。

ファイルの修復を開始します。



5 「完了」をクリックしてウィザードを終了します。

プリンタドライバのインストール (Mac OS)

Mac OS環境でのクライアントソフトウェアのインストール方法について説明します。

インストールについて	92
Mac OSのクライアントソフトウェアについて.....	92
必要条件	92
プリンタのインストール	93
Mac OS PPDファイルのインストール.....	93
プリンタの設定.....	96
Mac OS PPDのアンインストール	105

インストールについて

下記セクションを参照し、Macコンピュータに印刷システムをセットアップします。

📖 P.92 「Mac OSのクライアントソフトウェアについて」

📖 P.92 「必要条件」

📖 P.93 「プリンタのインストール」

■ Mac OSのクライアントソフトウェアについて

PostScriptプリンタ記述ファイル (PPD)

Mac OS用PPD (PostScript Printer Description) ファイルには、本機が提供する固有機能の情報が記述されています。本機はMac OS X 10.6.8以降のバージョンで使用するPPDファイルとプラグインを提供します。

■ 必要条件

Macコンピュータにプリンタドライバをインストールするには、下記環境が必要です。

ディスプレイ解像度： 1024×768ドット以上

OS： Mac OS X 10.6.8以降

プロトコル： TCP/IP、Bonjour

プリンタのインストール

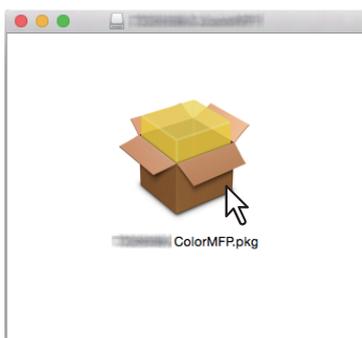
プリンタをセットアップする場合は、以下の手順で行います。

📖 P.93 「Mac OS PPDファイルのインストール」

📖 P.96 「プリンタの設定」

■ Mac OS PPDファイルのインストール

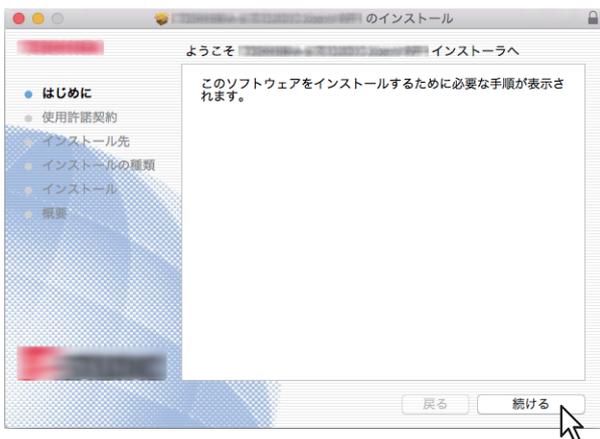
- 1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットし、「MacPPD/OSX10_6-」フォルダを開きます。
- 2 「2-sided_default」または「normal」フォルダを開きます。
 - * 「2-sided_default」フォルダに収録されているPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
 - * 「normal」フォルダに収録されているPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。
- 3 GZIPファイル「TOSHIBA_xxxxxMFP.dmg.gz」をデスクトップにコピーします。
 - * ファイル名の「xxxxx」部分が、「Color」はカラー MFP用、「Mono」はモノクロMFP用のファイルとなります。お使いになる機種に合わせて選択してください。
- 4 デスクトップにコピーしたGZIPファイルをダブルクリックします。
ディスクイメージファイルがデスクトップに解凍されます。
- 5 ディスクイメージファイルをダブルクリックします。
- 6 インストーラウィンドウのアイコンをダブルクリックします



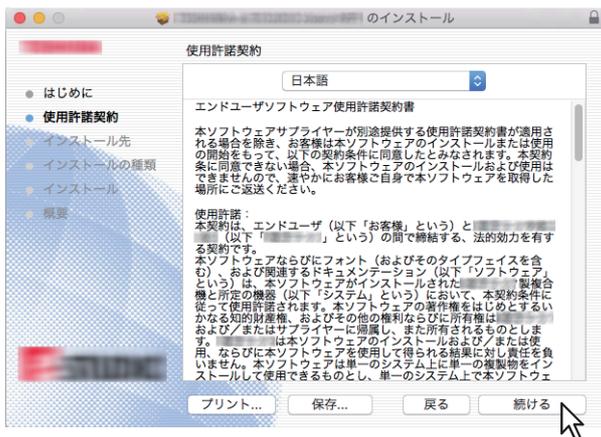
注意

インストーラを起動する際には、Mac OSのプリンタセットアップユーティリティが動作していないことを確認してください。プリンタセットアップユーティリティの動作中にPPDファイルをインストールすると、プリンタが正常に認識されないことがあります。

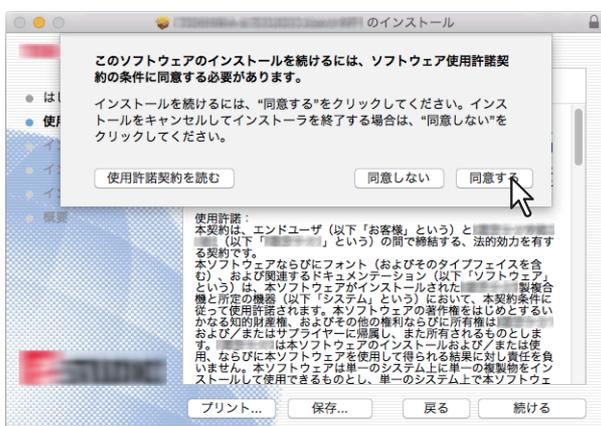
- 7 「続ける」をクリックします。



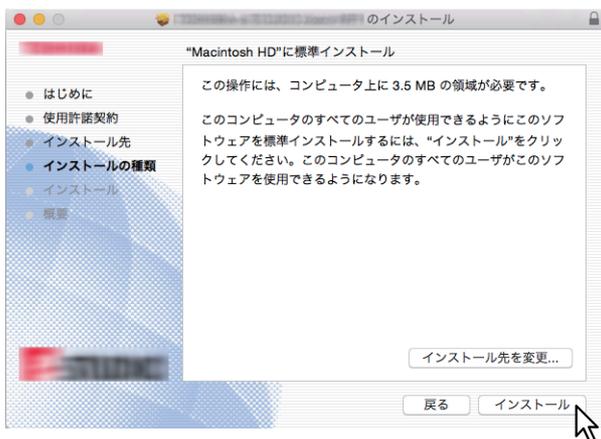
8 [続ける] をクリックします。



9 [同意する] をクリックします。



10 [インストール] (または [アップグレード]) をクリックします。



補足

[インストール先を変更] をクリックすると、[インストール先の選択] ダイアログボックスが表示されますので、Mac OS Xの起動ディスクを選択し、[続ける] をクリックしてください。



11 名前（管理者名）とパスワードを入力し、[ソフトウェアをインストール] をクリックします。



PPDファイルのコピーを開始します。

12 [閉じる] をクリックします。



13 引き続きプリンタ設定を行います。

■ プリンタの設定

PPDファイルのインストールを完了したらプリンタを設定します。
以下の印刷方法を利用することができます。

- LPR印刷
📖 P.96 「LPR印刷」
- IPP印刷
📖 P.99 「IPP印刷」
- Bonjour印刷
📖 P.101 「Bonjour印刷」

補足

本機とお使いのコンピュータがTCP/IPネットワークで接続されている場合に有効です。

□ LPR印刷

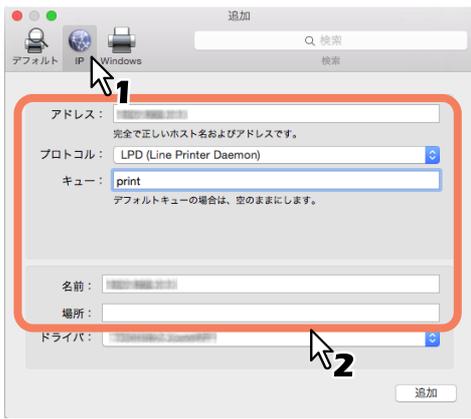
1 [システム環境設定] を起動して、[プリンタとスキャナ] をクリックします。



2 [+] をクリックします。



3 [IP] をクリックし、各項目を設定します。

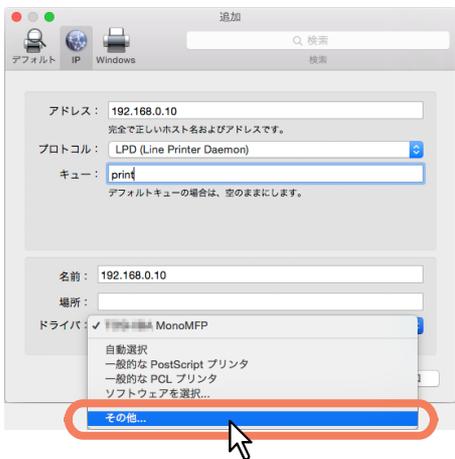


プロトコル：LPD (Line Printer Daemon)
 アドレス：<IPアドレスまたはDNS名>
 キュー：print
 名前：<任意名>
 場所：<任意>

補足

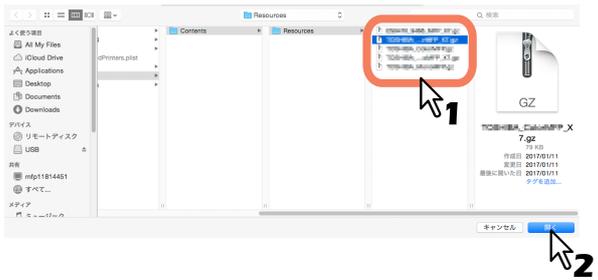
- [名前] ボックスには、[アドレス] ボックスに入力した値が自動的に表示されます。
- [アドレス] ボックスにIPアドレスまたはDNS名を入力しても、[ドライバ] に正しいPPDファイルが選択されません。

4 [その他] を選択します。



5 [ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources] フォルダからPPDファイル (TOSHIBA_xxxxxMFP_X7.gz) を選択し、[開く] をクリックします。

* 「xxxxx」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

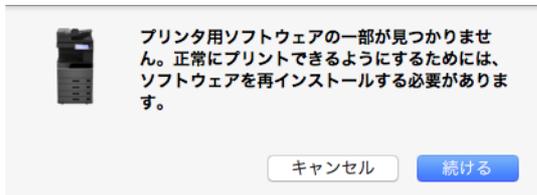


6 [追加] をクリックします。

[インストール可能なオプション] 画面が表示されます。

補足

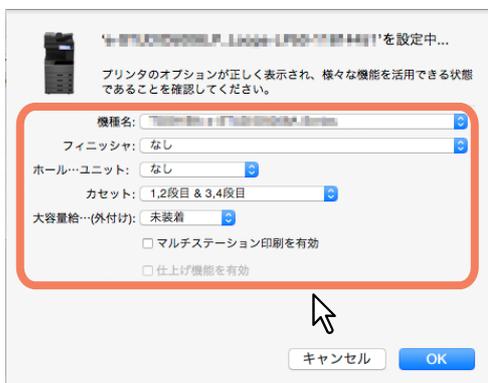
プラグインがインストールされていない場合には、以下の画面が表示されます。[続ける] をクリックしてプリンタの設定を続行してください。



7 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。

設定できる項目については、以下のセクションを参照してください。

📖 P.104 「オプション設定」



8 [OK] をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

□ IPP印刷

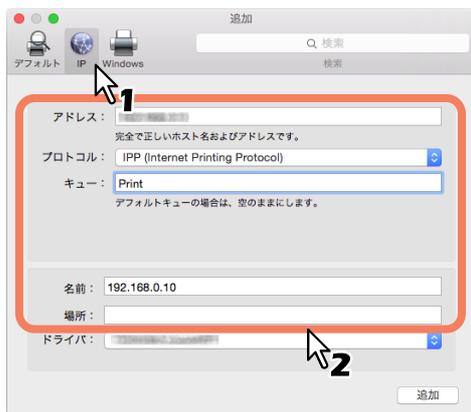
1 [システム環境設定] を起動して、[プリンタとスキャナ] をクリックします。



2 [+] をクリックします。



3 [IP] をクリックし、各項目を設定します。

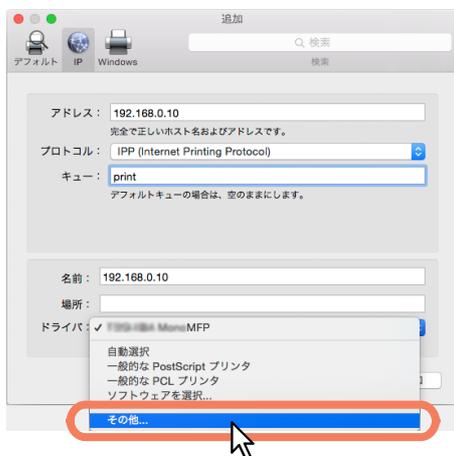


プロトコル：IPP (Internet Printing Protocol)
アドレス：<IPアドレスまたはDNS名>
キュー：Print
名前：<任意名>
場所：<任意>

補足

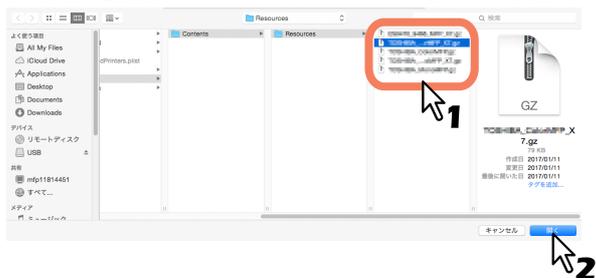
- [名前] ボックスには、[アドレス] ボックスに入力した値が自動的に表示されます。
- [アドレス] ボックスにIPアドレスまたはDNS名を入力しても、[ドライバ] に正しいPPDファイルが選択されません。

4 [その他] を選択します。



5 [ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources] フォルダからPPDファイル (TOSHIBA_xxxxxMFP_X7.gz) を選択し、[開く] をクリックします。

* 「xxxxx」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。



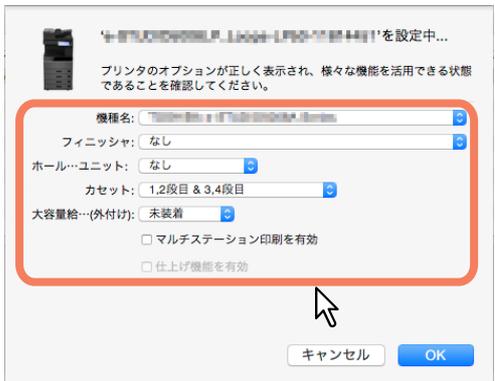
6 **「追加」 をクリックします。**
 [インストール可能なオプション] 画面が表示されます。

補 足

以下の画面が表示された場合は、**「続ける」** をクリックしてプリンタの設定を続行してください。



7 **お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。**
 設定できる項目については、以下のセクションを参照してください。
 □ P.104 「オプション設定」



8 **「OK」 をクリックします。**
 本機がプリンタリストに追加されます。

□ **Bonjour印刷**

1 **「システム環境設定」 を起動して、「プリンタとスキャナ」 をクリックします。**



2 [+] をクリックします。



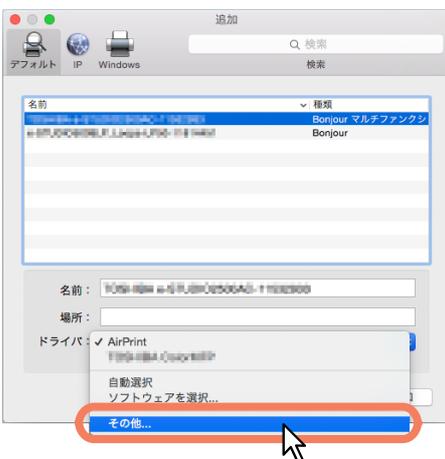
3 [デフォルト] をクリックし、リストに表示されたBonjour接続タイプの本機を選択します。



補 足

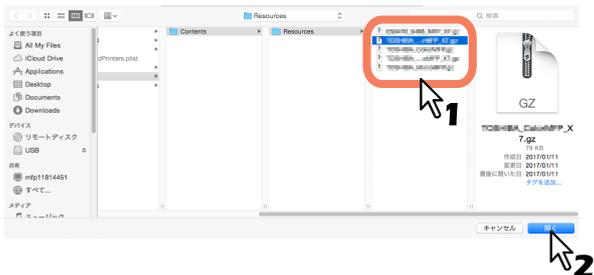
- [名前] ボックスには、リストで選択したデバイス名のBonjourデバイス名が自動的に表示されます。
- リストで本機を選択しても、[ドライバ] に正しいPPDファイルが選択されません。

4 [その他] を選択します。



5 「[ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources] フォルダからPPDファイル (TOSHIBA_xxxxxMFP_X7.gz) を選択して、[開く] をクリックします。

* 「xxxxx」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

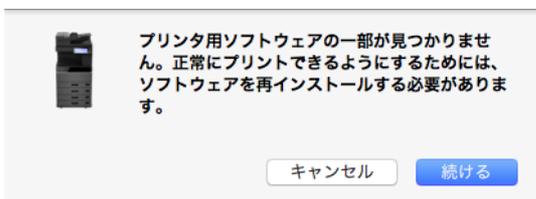


6 [追加] をクリックします。

[インストール可能なオプション] 画面が表示されます。

補足

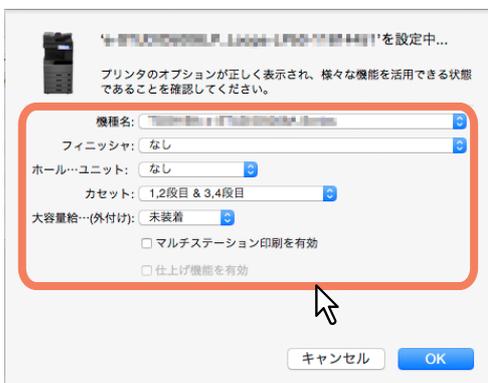
プラグインがインストールされていない場合には、以下の画面が表示されます。[続ける] をクリックしてプリンタの設定を続行してください。



7 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。

設定できる項目については、以下のセクションを参照してください。

☞ P.104 「オプション設定」



8 [OK] をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

□ オプション設定

- **機種名**

TOSHIBA e-STUDIO5015ACSeries : e-STUDIO5015AC Seriesを使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO2510ACSeries : e-STUDIO2010ACを使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO5018ASeries : e-STUDIO5018A Seriesを使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO7516ACSeries : e-STUDIO7516AC Seriesを使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO8518ASeries : e-STUDIO8518A Seriesを使用する場合に選択します。

- **フィニッシャ**

フィニッシャの装着を設定します。

- **ホールパンチユニット**

ホールパンチユニットの装着を設定します。

- **カセット**

給紙ユニット（2段目カセット）、多段給紙装置（3段目カセット）または追加給紙カセット（4段目カセット）が装着されているかを設定します。

- **大容量給紙装置（外付け）**

e-STUDIO7516AC Seriesまたはe-STUDIO8518A Seriesに大容量給紙装置の装着を設定します。

- **マルチステーション印刷を有効**

マルチステーション印刷を有効にする場合に選択します。

Mac OS PPDのアンインストール

Mac OS PPDをアンインストールするには、以下のフォルダにあるPPDファイルを削除してください。

- ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/TOSHIBA_XXXXMFP_X7.gz
 - ライブラリ/Printers/toshiba/filter
 - ライブラリ/Printers/toshiba/Icons
 - ライブラリ/Printers/toshiba/PDEs
- * 「XXXX」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

プリンタドライバのインストール (UNIX/Linux)

UNIX/Linux環境でのクライアントソフトウェアのインストール方法について説明します。

UNIX/Linuxフィルタについて	108
必要条件	109
ユーザ認証機能使用時の注意事項	109
UNIX/Linuxフィルタによるプリンタの設定	110
UNIX/Linuxフィルタのインストール	110
プリントキューの作成	111
デフォルト設定の変更	116
プリントキューの削除	117
CUPSの設定	120
CUPSについて	120
CUPSによるプリンタの設定	121

UNIX/Linuxフィルタについて

インストールディスクには、UNIX/Linuxワークステーションにインストールする下記フィルタが収められています。

net_estcolor (カラー MFP用)

net_estbw (モノクロMFP用)

このファイルは「/usr/lib/lp/model」にインストールされるShellスクリプトです。このファイルを使って本機特有のコマンドを含む出力コードを生成します。カスタムオプションを利用したい場合やデフォルト以外の場所にファイルをインストールした場合は、このShellスクリプトを必要に応じて変更することができます。

lpdsend

このファイルはnet_estcolor/net_estbwによって呼び出される実行プログラムです。この実行プログラムは、LPDプロトコルを使って印刷ファイルを本機へ送信するときに使用します。このプログラムは、「/opt/toshiba/tap/bin」にインストールされます。

lpLinux.sh (Linuxフィルタのみ)

このファイルは、lpコマンドと同様の機能を持つShellスクリプトです。このコマンドラインオプションを実行すると、System V Printフィルタと同じように機能します。このファイルは、「/opt/toshiba/tap/bin」にインストールされ、シンボリックリンクが「/usr/local/bin」にlptapとしてインストールされます。

estcolorBackend (カラー MFP用、AIXフィルタのみ)

estbwBackend (モノクロMFP用、AIXフィルタのみ)

このファイルは、AIX qdaemonによって呼び出される実行ファイルです。このファイルでは、qdaemonから情報を取得し、その情報を処理してnet_estcolor/net_estbwのキューのコピーを呼び出して印刷を実行します。このプログラムは、「/opt/toshiba/tap/bin」にインストールされます。

estcoloradd (カラー MFP用)

estbwadd (モノクロMFP用)

このファイルは、プリンタ記述を追加するためのShellスクリプトです。「/opt/toshiba/tap/bin」にインストールされ、シンボリックリンクが「/bin」にインストールされます。

estcolorrm (カラー MFP用)

estbwrm (モノクロMFP用)

このファイルは、プリンタ記述を削除するためのShellスクリプトです。「/opt/toshiba/tap/bin」にインストールされ、シンボリックリンクが「/bin」にインストールされます。

net_estcolor.1 (カラー MFP用)

net_estbw.1 (モノクロMFP用)

本機の特異機能を説明したオンラインドキュメントを呼び出すための入力ファイルです。オンラインドキュメントはmanコマンドで呼び出すことができます。このファイルは、「/opt/toshiba/tap/man/man1」にインストールされ、シンボリックリンクが「/usr/man/man1」にインストールされます。

■ 必要条件

UNIX/Linuxワークステーションにフィルタをインストールするには、下記環境が必要です。

- OS : Sun Solaris 11.2
 HP-UX Version 11iv3
 IBM AIX 7.x
 Fedora 21/22
 Red Hat Enterprise Linux 5.x/6.x/7.x
 SuSE Linux Enterprise Server 11/12
 Open SUSE 13.2/13.3
 Ubuntu 14.04LTS/15.04
 Debian 7/8
- プロトコル : TCP/IP
- モジュール : Pythonがインストールされていること

注意

- Linuxではlpdサービスが動作していること。
- UNIX/Linuxフィルタを使用して印刷するには、「Python」モジュールがお使いのUNIX/Linuxワークステーションにインストールされている必要があります。「Python」モジュールは通常「/user/bin」にインストールされています。「Python」モジュールがインストールされているかどうか「/user/bin」を確認してください。

■ ユーザ認証機能使用時の注意事項

UNIX/Linux システムではログイン名の大文字小文字を区別しますが、本機は区別しません。したがって、UNIX/Linux システム上では異なるログイン名として扱われる ABC, Abc, abc 等は、本機ではすべて同一ログイン名として扱われます。

UNIX/Linuxフィルタによるプリンタの設定

UNIX/Linuxフィルタを使用してUNIX/Linuxワークステーションに印刷システムをセットアップする場合は、UNIX/Linuxフィルタをインストールし、LPRプリントキューを作成します。

■ UNIX/Linuxフィルタのインストール

UNIX/Linuxフィルタは、OS別にtarファイルがそれぞれ用意されています。TAR ファイルをルートフォルダにコピーし解凍すると、フィルタがインストールされます。

- 1 ルートアカウントにログインします。
- 2 インストールディスクをディスクドライブに挿入します。
- 3 以下のコマンドを入力し結果を確認します：

uname

各OSにより、以下の文字が表示されたことを確認します。

- Solaris : 「SunOS」、HP-UX : 「HP-UX」、IBM AIX : 「AIX」、Linux : 「Linux」

注意

結果が上記と異なる場合は、管理者にお問い合わせください。

- 4 tarファイルをルートフォルダにコピーします。

各OSのtarファイルは、下記フォルダに収められています。

- カラー MFP
 - Solaris : [インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/SolarisFilter/Usa/
 - HP-UX : [インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/HP-UXFilter/Usa/
 - AIX : [インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/AIXFilter/Usa/
 - Linux : [インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/LinuxFilter/Usa/
- モノクロMFP
 - Solaris : [インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/SolarisFilter/Usa/
 - HP-UX : [インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/HP-UXFilter/Usa/
 - AIX : [インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/AIXFilter/Usa/
 - Linux : [インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/LinuxFilter/Usa/

- 5 ルートディレクトリに移動します。

- 6 下記コマンドを入力します。

- Solaris :

```
tar xvf solaris.tar
```
- HP-UX :

```
tar xvf hpux.tar
```
- IBM AIX :

```
tar xvf aix.tar
```
- Linux :

```
tar xvf linux.tar
```

- 7 コマンドを実行すると、必要なファイルを解凍し自動的に正しい場所へインストールします。引き続き、プリントキューの設定を行います。

📖 P.111 「プリントキューの作成」

■ プリントキューの作成

UNIX/Linuxフィルタをコピーしたら、プリントキューを作成することができます。

プリントキューの作成はestcoloradd/estbwaddファイルを使って作成するか、手動で作成するかの2通りの方法があります。

📖 P.111 「estcoloradd/estbwaddを使ってプリントキューを作成する」

📖 P.111 「手動でプリントキューを作成する」

□ estcoloradd/estbwaddを使ってプリントキューを作成する

1 ルートアカウントにログインします。

2 下記コマンドを入力します：

カラー MFP：

```
estcoloradd <キュー名> <ホスト名またはIPアドレス>
```

モノクロMFP：

```
estbwadd <キュー名> <ホスト名またはIPアドレス>
```

補 足

- このコマンドでは、システムのlpadminコマンドを使ってプリントキューを作成します。また、指定したIPアドレスまたはホスト名の構成ファイルを作成します。この構成ファイルは、プリントキューの詳細を設定するのに使用します。
- lpadminコマンドでは、プリンターインターフェイスファイルをプリントキューと同名のファイルとして保存します。構成ファイルは「<キュー名>.conf」ファイルとして保存されます。それぞれのファイルの保存先はプラットフォームごとに異なります。
 - Solaris：「/etc/lp/interfaces」
 - HP-UX：「/etc/lp/interface」
 - IBM AIX：「/opt/toshiba/tap/filter」
 - Linux：「/opt/toshiba/tap/interfaces」
- Linuxでは、estcoloradd/estbwaddコマンドを実行後、printtoolユーティリティを使ってlp印刷システムにプリンタを追加します。printtoolユーティリティの使用方法についてはご使用のOSの取扱説明書を参照してください。

□ 手動でプリントキューを作成する

手動でリモートプリンタを追加し、プリントキューを作成することもできます。

手動によるプリントキューの作成手順はOSによって異なります。

📖 P.111 「手動でプリントキューを作成する」

📖 P.113 「ルートアカウントにログインします。」

📖 P.114 「下記コマンドを入力します。」

📖 P.115 「下記コマンドを入力します。」

注 意

手動によりプリントキューを作成する場合、シェルはBourne Shell(sh)を使用してください。

手動でプリントキューを作成する (Solaris)

- 1 ルートアカウントにログインします。
- 2 UNIX/Linuxエディタを起動します。
- 3 以下のファイルを作成します。
`/etc/lp/interfaces/<キュー名>.conf`
- 4 <キュー名>.confファイルに、以下の行を追加します。
`dest=<IPアドレス>`
- 5 ファイルを保存します。
- 6 以下のコマンドを入力し、ワーキングディレクトリを変更します。
`cd /etc/lp/interfaces/`
- 7 下記コマンドを入力します。
`chmod +x <キュー名>.conf`
- 8 下記コマンドを入力します。
`chown lp:lp <キュー名>.conf`
- 9 下記コマンドを入力します。
カラー MFP :
`lpadmin -p <キュー名> -v /dev/null -I any ¥
-i /usr/lib/lp/model/net_estcolor`
モノクロMFP :
`lpadmin -p <キュー名> -v /dev/null -I any ¥
-i /usr/lib/lp/model/net_estbw`
- 10 下記コマンドを入力します。
`accept <キュー名>`
- 11 下記コマンドを入力します。
`enable <キュー名>`

手動でプリントキューを作成する (HP-UX)

- 1 ルートアカウントにログインします。
- 2 UNIX/Linuxエディタを起動します。
- 3 以下のファイルを作成します。
`/etc/lp/interface/<キュー名>.conf`
- 4 <キュー名>.confファイルに以下の行を追加します。
`dest=<IPアドレス>`
- 5 ファイルを保存します。
- 6 以下のコマンドを入力し、ワーキングディレクトリを変更します。
`cd /etc/lp/interfaces/`
- 7 下記コマンドを入力します。
`chmod +x <キュー名>.conf`
- 8 下記コマンドを入力します。
`chown lp:lp <キュー名>.conf`
- 9 下記コマンドを入力します。
`ps -ef | grep lpsched | grep -iv grep > /dev/null 2>&1`
- 10 下記コマンドを入力します。
`echo $?`
- 11 「0」が画面に表示された場合は、スケジューラをいったん終了します。下記コマンドを入力します。
`/usr/sbin/lpshut > /dev/null 2>&1`
- 12 下記コマンドを入力します。
カラー MFP :
`/usr/sbin/lpadmin -p <キュー名> -v/dev/null ¥
-mnet_estcolor -orm <キュー名> -orpprint -ob3`
モノクロMFP :
`/usr/sbin/lpadmin -p <キュー名> -v/dev/null ¥
-mnet_estbw -orm <キュー名> -orpprint -ob3`
- 13 下記コマンドを入力します。
`/usr/sbin/accept <キュー名>`
- 14 下記コマンドを入力します。
`enable <キュー名>`
- 15 手順10でスケジューラを終了した場合は、スケジューラを起動します。下記コマンドを入力します。
`/usr/sbin/lpsched > /dev/null 2>&1`

手動でプリントキューを作成する (IBM AIX)

- 1 下記コマンドを入力します。

```
ls /opt/toshiba/tap/filter
```

- 2 上記ディレクトリが存在しない場合は、下記コマンドを入力します。

```
mkdir /opt/toshiba/tap/filter
```

- 3 ルートアカウントにログインします。

- 4 UNIX/Linuxエディタを起動します。

- 5 以下のファイルを作成します。

```
/opt/toshiba/tap/filter/<キュー名>.conf
```

- 6 <キュー名>.confファイルに以下の行を追加します。

```
dest=<IPアドレス>
```

- 7 ファイルを保存します。

- 8 下記コマンドを入力します。

```
mkque -q<キュー名> ¥
```

```
-a 's_statfilter = /usr/lib/lpd/bsdshort' ¥
```

```
-a 'up = TRUE' -a 'host = <IPアドレス>' -a 'rq = print'
```

- 9 下記コマンドを入力します。

カラー MFP :

```
mkquedev -q <キュー名> -ddev_<キュー名> ¥
```

```
-a 'backend = /opt/toshiba/tap/bin/estcolorBackend'
```

モノクロMFP :

```
mkquedev -q <キュー名> -ddev_<キュー名> ¥
```

```
-a 'backend = /opt/toshiba/tap/bin/estcolorBackend'
```

- 10 下記コマンドを入力します。

カラー MFP :

```
cp /usr/lib/lpd/pio/predef/net_estcolor ¥
```

```
/opt/toshiba/tap/filter/<キュー名>
```

モノクロMFP :

```
cp /usr/lib/lpd/pio/predef/net_estbw ¥
```

```
/opt/toshiba/tap/filter/<キュー名>
```

手動でプリントキューを作成する (Linux)

- 1 下記コマンドを入力します。

```
ls /opt/toshiba/tap/interface
```

- 2 上記ディレクトリが存在しない場合は、下記コマンドを入力します。

```
mkdir /opt/toshiba/tap/interface
```

- 3 ルートアカウントにログインします。

- 4 UNIX/Linuxエディタを起動します。

- 5 以下のファイルを作成します。

```
/opt/toshiba/tap/interface/<キュー名>.conf
```

- 6 <キュー名>.confファイルに以下の行を追加します。

```
dest=<IPアドレス>
```

- 7 ファイルを保存します。

- 8 下記コマンドを入力します。

カラー MFP :

```
cp /opt/toshiba/tap/model/net_estcolor ¥  
/opt/toshiba/tap/interface/<キュー名>
```

モノクロMFP :

```
cp /opt/toshiba/tap/model/net_estbw ¥  
/opt/toshiba/tap/interface/<キュー名>
```

- 9 下記コマンドを入力します。

```
/opt/toshiba/tap/bin/modPrintcap ¥  
-a <キュー名> <IPアドレス>
```

- 10 下記コマンドを入力します。

```
ls /opt/toshiba/tap/bin/flag_<キュー名>
```

補足

手順10のファイルが存在しない場合は、手順1~9が正しく行われていますので手順11を行う必要はありません。そのまま手順12へ進んでください。

- 11 上記ファイルが存在する場合は、下記コマンドを入力します。

```
/opt/toshiba/tap/bin/printconf_import ¥  
-a <キュー名> <IPアドレス> ¥  
rm /opt/toshiba/tap/bin/flag_<キュー名>
```

- 12 lpdを再起動します。

■ デフォルト設定の変更

以下の手順でプリントキューのデフォルト設定を変更することができます。

1 保存されているキュー名と同名のインターフェイスファイルの内容を確認します。

- インターフェイスファイルはそれぞれ以下のディレクトリに保存されています。
 - Solaris : 「/etc/lp/interfaces」
 - HP-UX : 「/etc/lp/interface」
 - IBM AIX : 「/opt/toshiba/tap/filter」
 - Linux : 「/opt/toshiba/tap/interface」
- すべてのデフォルト設定の値は、このファイルに記述されています。このファイルでは大文字・小文字を区別して入力する必要があります。
また、/bin/sh変数フォーマットに準じて記述する必要があります。

2 構成ファイルを手動で変更するには、パラメータと値を記述した行を追加します。

- 構成ファイルはそれぞれ以下のディレクトリに保存されています。
 - Solaris : 「/etc/lp/interfaces」
 - HP-UX : 「/etc/lp/interface」
 - IBM AIX : 「/opt/toshiba/tap/filter」
 - Linux : 「/opt/toshiba/tap/interface」

たとえば、デフォルトの用紙向きを変更する場合は、以下の行を追加します。

```
orient= "LANDSCAPE"
```

■ プリントキューの削除

プリントキューの削除は`estcolorm/estbwrn`ファイルを使って削除するか、手動で削除するかの2通りの方法があります。

📖 P.117 「`estcolorm/estbwrn`を使ってプリントキューを削除する」

📖 P.117 「手動でプリントキューを削除する」

□ `estcolorm/estbwrn`を使ってプリントキューを削除する

`estcolorm/estbwrn`を使って作成したキューを削除したい場合は、以下の手順に従ってキューを削除できます。

1 ルートアカウントにログインします。

2 下記コマンドを入力します。

カラー MFP :

```
estcolorm <キュー名>
```

モノクロMFP :

```
estbwrn <キュー名>
```

補足

- このコマンドでは、システムの`lpadmin`コマンドを使ってプリントキューと構成ファイルを削除します。
- Linuxでは、削除後`lpd`を再起動する必要があります。

□ 手動でプリントキューを削除する

手動でプリントキューを削除することもできます。

手動によるプリントキューの削除手順はOSによって異なります。

📖 P.117 「ルートアカウントにログインします。」

📖 P.118 「ルートアカウントにログインします。」

📖 P.118 「ルートアカウントにログインします。」

📖 P.119 「ルートアカウントにログインします。」

注意

手動によりプリントキューを削除する場合、シェルはBourne Shell (`sh`) を使用してください。

プリントキューを削除する (Solaris)

1 ルートアカウントにログインします。

2 下記コマンドを入力します。

```
lpadmin -x <キュー名>
```

3 下記コマンドを入力します。

```
rm /etc/lp/interfaces/<キュー名>.conf
```

プリントキューを削除する (HP-UX)

1 ルートアカウントにログインします。

2 下記コマンドを入力します。

```
ps -ef | grep lpsched | grep -iv grep > /dev/null 2>&1
```

3 下記コマンドを入力します。

```
echo $?
```

4 「0」が画面に表示された場合は、スケジューラをいったん終了します。下記コマンドを入力します。

```
/usr/sbin/lpshut > /dev/null 2>&1
```

5 下記コマンドを入力します。

```
/usr/sbin/lpadmin -x<キュー名>
```

6 下記コマンドを入力します。

```
rm /etc/lp/interface/<キュー名>.conf
```

7 手順4でスケジューラを終了した場合は、スケジューラを起動します。下記コマンドを入力します。

```
/usr/sbin/lpsched > /dev/null 2>&1
```

プリントキューを削除する (IBM AIX)

1 ルートアカウントにログインします。

2 下記コマンドを入力します。

```
rm /opt/toshiba/tap/filter/<キュー名>
```

3 下記コマンドを入力します。

```
rm /opt/toshiba/tap/filter/<キュー名>.conf
```

4 下記コマンドを入力します。

```
rmquedev -q<キュー名> -ddev_<キュー名>
```

5 下記コマンドを入力します。

```
rmque -q<キュー名>
```

プリントキューを削除する (Linux)

- 1 ルートアカウントにログインします。
- 2 下記コマンドを入力します。
`rm /opt/toshiba/tap/interface/<キュー名>`
- 3 下記コマンドを入力します。
`rm /opt/toshiba/tap/interface/<キュー名>.conf`
- 4 下記コマンドを入力します。
`/opt/toshiba/tap/bin/modPrintcap -d <キュー名>`
- 5 下記コマンドを入力します。
`ls /opt/toshiba/tap/bin/flag_<キュー名>`
- 6 上記ファイルが存在している場合は、下記コマンドを入力します。
`/opt/toshiba/tap/bin/printconf_import -d <キュー名> ¥`
`rm /opt/toshiba/tap/bin/flag_<キュー名>`
- 7 `lpd`を再起動します。

CUPSの設定

CUPSを使用してUNIX/Linuxワークステーションに印刷システムをセットアップする場合は、LPR印刷またはIPP印刷を設定することができます。

注意

CUPSを使用して印刷する場合は、印刷する用紙サイズを選択することができません。その場合はフィルタを使って印刷してください。

■ CUPSについて

本機のCUPSプリンタドライバのインストール方法について説明します。ここでは、CUPS v1.1.15の環境の場合を例に説明しています。異なるバージョンをお使いの場合は、説明と画面が異なる場合があります。

CUPS環境では、実際にはプリンタドライバではなくPPDファイルを使用して印刷をセットアップします。

導入方法

このドライバは、XPPやKPrinterなどのインターフェイスで使用するよう設計されています。このドライバを、Linux環境と同じようにOS X環境で使用することもできますが、OS X環境での使用は推奨していません。

■ CUPSによるプリンタの設定

LPR印刷またはIPP印刷をCUPSに設定することができます。

□ CUPSのインストール (LPR印刷)

CUPSを設定するには、PPDファイルをお使いのUNIX/Linuxワークステーションにコピーして、プリンタをインストールし、PPDの設定を行います。プリンタのインストールおよびPPDの設定は、ブラウザを使って操作します。

PPDファイルはルートディレクトリにコピーして展開します。PPDファイルの展開後にCUPS daemonをリスタートします。

- 1 インストールディスクをディスクドライブに挿入します。
- 2 ルートアカウントにログインします。
- 3 コマンドラインからインストールディスクのドライブに移動して、以下のコマンドを入力し、ルートディレクトリにtarファイルをコピーします。

カラー MFP :

```
cp TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.tar /
```

モノクロMFP :

```
cp TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.tar /
```

tarファイルは、インストールディスクの以下のフォルダに収録されています。

- カラー MFP

- 「Admin/Color_Unix_Linux/CUPS/Usa/2-sided_default」フォルダ
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
- 「Admin/Color_Unix_Linux/CUPS/Usa/normal」フォルダ
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

- モノクロMFP

- 「Admin/BW_Unix_Linux/CUPS/Usa/2-sided_default」フォルダ
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
- 「Admin/BW_Unix_Linux/CUPS/Usa/normal」フォルダ
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

- 4 以下のコマンドを入力し、ルートディレクトリに移動します。

```
cd /
```

- 5 以下のコマンドを入力し、tarファイルを展開します。

カラー MFP :

```
tar xvf TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.tar
```

モノクロMFP :

```
tar xvf TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.tar
```

コマンドを実行すると、PPDファイルとFilterファイルが自動的に正しい場所にインストールされます。

- Linux環境以外をお使いの場合、またはCUPSシステムを標準インストールして使用していない場合は、PPDファイルとFilterファイルを正しい場所に移動し、PPDファイルを編集する必要がありますので、次の手順に進みます。
- Linux環境をお使いの場合で、CUPSシステムを標準インストールして使用している場合は手順11に進みます。

6 以下のコマンドを入力し、PPDファイルとFilterファイルを正しい場所に移動します。

カラー MFP :

```
cd /usr/share/cups/model/Toshiba
mv TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.gz PPDファイルの移動先ディレクトリ
cd /usr/lib/cups/filter/Toshiba
mv estXXXX_Authentication Filterファイルの移動先ディレクトリ
```

モノクロMFP :

```
cd /usr/share/cups/model/Toshiba
mv TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.gz PPDファイルの移動先ディレクトリ
cd /usr/lib/cups/filter/Toshiba
mv estXXXX_Authentication Filterファイルの移動先ディレクトリ
```

* 「XXXX」は機種名になります。

補足

PPDファイルとFilterファイルの正しい場所についてはシステム管理者に問い合わせてください。

7 以下のコマンドを入力し、PPDファイルの移動先ディレクトリに移動します。

```
cd
PPDファイルの移動先ディレクトリ
```

8 以下のコマンドを入力し、PPDファイルを解凍します。

カラー MFP :

```
gunzip TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.gz
```

モノクロMFP :

```
gunzip TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.gz
```

9 エディタなどを使って、TOSHIBA_ColorMFP_CUPS / TOSHIBA_MonoMFP_CUPSファイルの以下の記述（60行目）の下線部分を正しいFilterファイルの格納先ディレクトリに修正します。

```
*cupsFilter: "application/vnd.cups-postscript 0 /usr/lib/cups/filter/Toshiba/estXXXX_Authentication"
```

* 「XXXX」は機種名になります。

10 以下のコマンドを入力し、PPDファイルを圧縮します。

カラー MFP :

```
gzip TOSHIBA_ColorMFP_CUPS
```

モノクロMFP :

```
gzip TOSHIBA_MonoMFP_CUPS
```

11 以下のコマンドを入力します

```
service lpd stop
```

Red Hat Linuxをお使いの場合は、次の手順に進みます。Red Hat Linux以外をお使いの場合は、手順17に進みます。

12 Red Hat Linuxをお使いの場合は、以下のコマンドを入力します。

```
/usr/bin/redhat-switch-printer
[redhat-switch-printer] ダイアログボックスが表示されます。
```

13 [CUPS] を選択し、[OK] をクリックします。

[情報] ダイアログボックスが表示されます。

14 [OK] をクリックします。

15 以下のコマンドを入力します。

```
service cups start
```

注意

すでにCUPSサービスが起動している場合は、「service cups stop」コマンドを入力してCUPSサービスを停止してから、上記コマンドを入力してCUPSサービスの起動を行ってください。

16 以下のコマンドを入力します。

```
/usr/bin/cupsconfig
```

[Common UNIX Printing System] ページが表示されます。手順18に進みます。

17 ブラウザを起動し、「http://localhost:631/」 をアドレス欄に入力してCUPSにアクセスします。

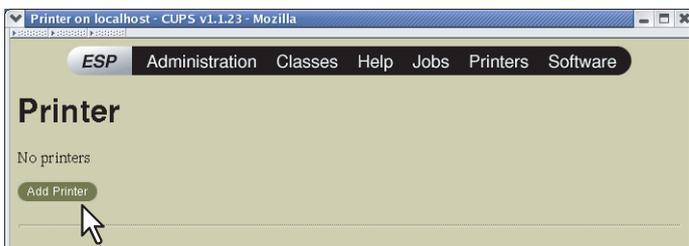
[Common UNIX Printing System] ページが表示されます。

18 [Manage Printers] リンクをクリックします。



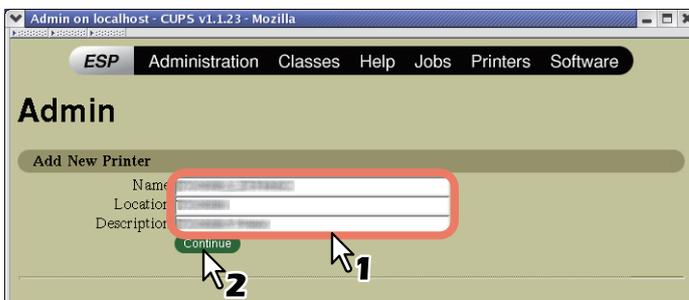
[Printer] ページが表示されます。

19 [Add Printer] をクリックします。



[Admin] ページが表示されます。

20 プリンタ名、設置場所、詳細説明を入力し、[Continue] をクリックします。

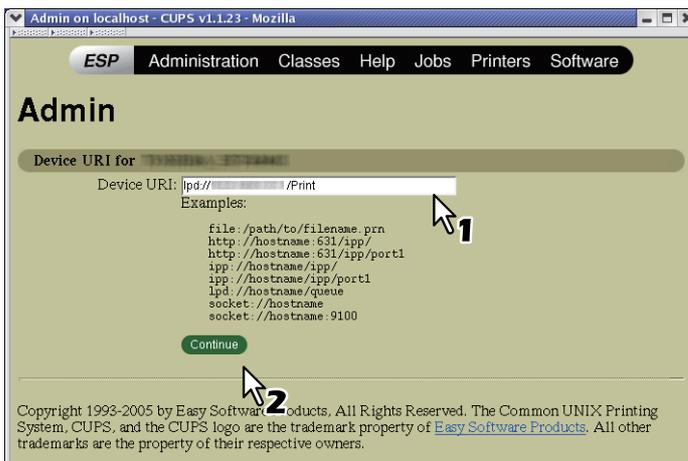


すでに追加されているプリンタと同名のプリンタ名を入力した場合は、既存のプリンタ設定を上書きします。

21 「Device」 ドロップダウンメニューで 「LPD/LPR Host or Printer」 を選択し、[Continue] をクリックします。



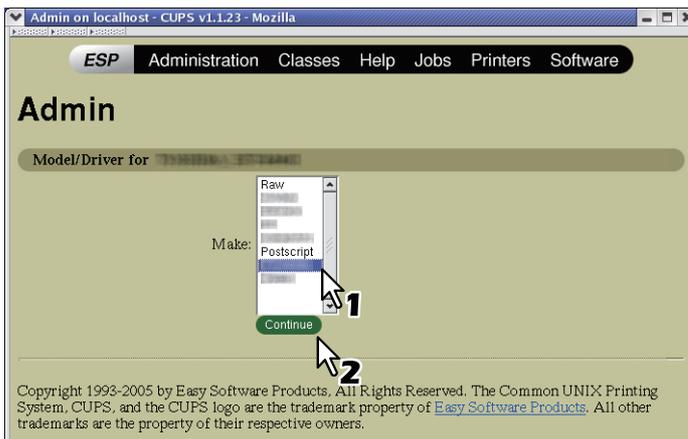
22 「Device URI」 ボックスに 「lpd://<IP address>/Print」 と入力し、[Continue] をクリックします。



注意

デバイスURIに指定するアドレスの「Print」の「P」は、必ず大文字で入力してください。

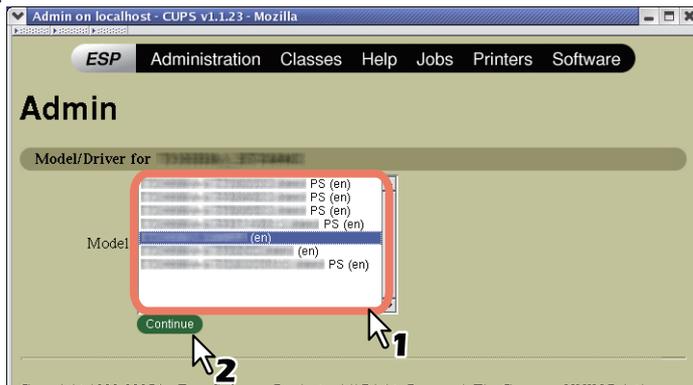
23 「Make」 ボックスで [TOSHIBA] を選択し、[Continue] をクリックします。



注意

「Make」 ボックスに [TOSHIBA] が表示されていない場合は、CUPSを再起動してください。

24 [Model] ボックスでPPDを選択し、[Continue] をクリックします。



25 プリンタの追加が正常に完了したメッセージが表示されたら、プリンタ名リンクをクリックします。



26 以下の手順へ進んで、印刷オプションの設定を行ってください。

📖 P.130 「印刷オプションの設定」

□ CUPSのインストール (IPP印刷)

Linux OSにIPP印刷を設定する場合は、以下の手順で行います。

本機でIPP SSL/TLSが有効になっている場合

本機でIPP SSL/TLSが有効になっている場合は、Linux OSで以下の設定を行ってください。

- OpenSSLをインストールする
- CUPSを「`--enable-ssl`」オプションで設定する
- HTTPSシンボリックを「`/usr/lib/cups/backend`」ディレクトリに作成する
 1. 「アプリケーション：ユーティリティ」フォルダにある「ターミナル」を起動し、ルート権限でログインします。
 - ルート権限でログインするには「`su`」または「`sudo -s`」でログインします。
 2. 以下のコマンドを入力します。

```
cd /usr/lib/cups/backend
```
 3. 以下のコメントを入力します。

```
ln -s ipp https
```
 4. CUPSを再起動します。
- IPP SSL証明書を「`/etc/cups`」ディレクトリに作成する
 1. 以下のコマンドを入力します。

```
cd /etc/cups  
mkdir ssl
```
 2. 以下のコマンドを入力します。

```
openssl req -new -x509  
-keyout /etc/cups/ssl/server.key  
-out /etc/cups/ssl/server.crt -days 365 -nodes
```

注意

- 上記コマンドは1行のコマンドとして改行を含めずに入力する必要があります。
- 以下の項目を入力するように要求されます。
`country/state/province/locality/organization/organizational unit/common name`およびe-mail address
- 3. 以下のコマンドを入力します。

```
chmod 600 /etc/cups/ssl/server.*
```
- 4. 「`/etc/cups`」ディレクトリにある「`cupsd.conf`」ファイルに以下の行を追加します。

```
SSLPort 443  
ServerCertificate /etc/cups/ssl/server.crt  
ServerKey /etc/cups/ssl/server.key
```
- 5. 以下のコマンドを入力し、CUPSを再起動します。

```
Service cups restart
```

- 1 インストールディスクをディスクドライブに挿入します。
- 2 ルートアカウントにログインします。
- 3 コマンドラインからインストールディスクのドライブに移動して、以下のコマンドを入力し、ルートディレクトリにtarファイルをコピーします。

カラー MFP :

```
cp TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.tar /
```

モノクロMFP :

```
cp TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.tar /
```

tarファイルは、インストールディスクの以下のフォルダに収録されています。

- カラー MFP
 - 「Admin/Color_Unix_Linux/CUPS/Usa/2-sided_default」フォルダ
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
 - 「Admin/Color_Unix_Linux/CUPS/Usa/normal」フォルダ
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。
- モノクロMFP
 - 「Admin/BW_Unix_Linux/CUPS/Usa/2-sided_default」フォルダ
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
 - 「Admin/BW_Unix_Linux/CUPS/Usa/normal」フォルダ
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

- 4 以下のコマンドを入力し、ルートディレクトリに移動します。

```
cd /
```

- 5 以下のコマンドを入力し、tarファイルを展開します。

カラー MFP :

```
tar xvf TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.tar
```

モノクロMFP :

```
tar xvf TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.tar
```

コマンドを実行すると、PPDファイルとFilterファイルが自動的に正しい場所にインストールされます。

- Linux環境以外をお使いの場合、またはCUPSシステムを標準インストールして使用していない場合は、PPDファイルとFilterファイルを正しい場所に移動し、PPDファイルを編集する必要がありますので、次の手順に進みます。
- Linux環境をお使いの場合で、CUPSシステムを標準インストールして使用している場合は手順11に進みます。

6 以下のコマンドを入力し、PPDファイルとFilterファイルを正しい場所に移動します。

カラー MFP :

```
cd /usr/share/cups/model/Toshiba
mv TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.gz PPDファイルの移動先ディレクトリ
cd /usr/lib/cups/filter/
mv estXXXX_Authentication Filterファイルの移動先ディレクトリ
```

モノクロMFP :

```
cd /usr/share/cups/model/Toshiba
mv TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.gz PPDファイルの移動先ディレクトリ
cd /usr/lib/cups/filter/
mv estXXXX_Authentication Filterファイルの移動先ディレクトリ
```

* 「XXXX」は機種名になります。

補 足

PPDファイルとFilterファイルの正しい場所についてはシステム管理者に問い合わせてください。

7 以下のコマンドを入力し、PPDファイルの移動先ディレクトリに移動します。

```
cd PPDファイルの移動先ディレクトリ
```

8 以下のコマンドを入力し、PPDファイルを解凍します。

カラー MFP :

```
gunzip TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.gz
```

モノクロMFP :

```
gunzip TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.gz
```

9 エディタなどを使って、TOSHIBA_ColorMFP_CUPS / TOSHIBA_MonoMFP_CUPSファイルの以下の記述（60行目）の下線部分を正しいFilterファイルの格納先ディレクトリに修正します。

```
*cupsFilter: "application/vnd.cups-postscript 0 /usr/lib/cups/filter/Toshiba/estXXXX_Authentication"
```

* 「XXXX」は機種名になります。

10 以下のコマンドを入力し、PPDファイルを圧縮します。

カラー MFP :

```
gzip TOSHIBA_ColorMFP_CUPS
```

モノクロMFP :

```
gzip TOSHIBA_MonoMFP_CUPS
```

11 以下のコマンドを入力します。

```
service lpd stop
```

- Red Hat Linuxをお使いの場合は、次の手順に進みます。
- Red Hat Linux以外をお使いの場合は、手順15に進みます。

注 意

lpdがすでに終了している場合は「Failed」メッセージが表示されます。

12 Red Hat Linuxをお使いの場合は、以下のコマンドを入力します。

```
/usr/bin/redhat-switch-printer
```

[redhat-switch-printer] ダイアログボックスが表示されます。

13 [CUPS] を選択し、[OK] をクリックします。

[情報] ダイアログボックスが表示されます。

14 [OK] をクリックします。

15 以下のコマンドを入力します。

```
service cups start
```

16 ブラウザを起動し、「http://localhost:631/」をアドレス欄に入力してCUPSにアクセスします。 [Common UNIX Printing System] ページが表示されます。

注意

IPP SSL/TLSが有効の場合は「https://local host:443/」をアドレス欄に入力してCUPSにアクセスします。

補足

Red Hat Linuxをお使いの場合は、以下のコマンドを入力して、「Common UNIX Printing System」ページにアクセスします。

```
/usr/bin/cupsconfig
```

17 [Manage Printers] リンクをクリックします。

[Printer] ページが表示されます。

18 [Add Printer] をクリックします。

19 新しいHTTPプリンタを追加します。

各設定は、以下のように設定してください。

Name: <任意名>

Location: <オプション>

Description: <オプション>

Device: Internet Printing Protocol (http)

Device URL: http://<IPアドレス>:631/Print

Model/Driver: TOSHIBA

注意

IPP SSL/TLSが有効の場合は、以下のように設定してください。

- **Device:** Internet Printing Protocol (https)
- **Device URL:** https://<IPアドレス>:443/Print

20 プリンタの追加が正常に完了したメッセージが表示されることを確認します。

21 引き続き以下のセクションに進み、印刷オプションの設定を行います。

📖 P.130 「印刷オプションの設定」

□ 印刷オプションの設定

CUPSを使用した印刷ジョブに適用される印刷オプションの設定を行います。

1 スタートページの [Manage Printers] リンクをクリックします。



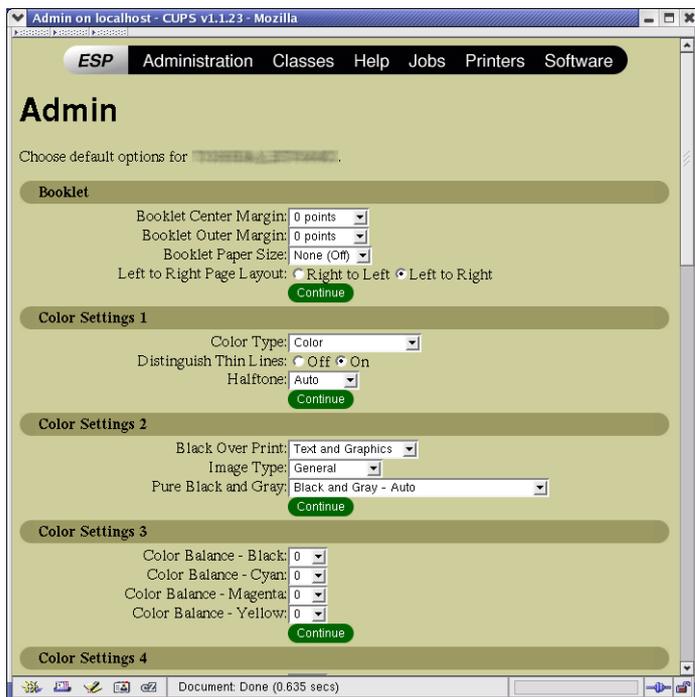
[Printer] ページが表示されます。

2 本機を選択し、[Configure Printer] をクリックします。



3 表示されたページで、印刷オプションの設定を行います。

- 画面は英文で表示されます。
- アンダーラインの付いたオプションはデフォルト値を示しています。



Booklet (マガジンソート)

項目	選択肢	説明
Booklet Center Margin マガジンソート中央余白	0~36 (3ポイント単位)	見開き印刷されるページの中央の余白を選択します。
Booklet Outer Margin マガジンソート外側余白	0~72 (6ポイント単位)	ページの上下左右の余白を選択します。
Booklet Paper Size マガジンソート用紙サイズ	<u>None (Off)</u> Letter A4 Legal Statement Ledger Folio A3 A5 B4 B5 Computer 13" LG 8.5" SQ 8K 16K	マガジンソート印刷に使用する用紙サイズを選択します。各用紙の片面に2ページずつ印刷され、中折りされます。出力サイズは、用紙サイズの半分になります。
Left to Right Page Layout 左開き	Right to Left <u>Left to Right</u>	左から右に読むように印刷を行う場合にチェックします。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

Color Settings 1 (カラー設定1)

項目	選択肢	説明
Color Type カラータイプ	Auto <u>Color</u> Mono Black and Red Black and Green Black and Blue Black and Cyan Black and Magenta Black and Yellow Black and White	印刷ジョブをカラーで印刷するか、モノクロで印刷するか、2色印刷するかを選択します。
Distinguish Thin Lines 細線をはっきりと印刷する	Off, <u>On</u>	細線をはっきりと印刷するかを選択します。
Halftone ハーフトーン	<u>Auto</u> Detail Smooth	印刷時のハーフトーンの処理（自動、詳細（高密度）またはスムーズ（諧調をなめらかに））を選択します。
Resolution 解像度	<u>600 dpi</u> 1200 dpi 600 x 1200 dpi	印刷時の解像度を選択します。 注意 <ul style="list-style-type: none"> • [600 x 1200 dpi] はe-STUDIO2010ACで印刷する場合のみ有効となります。 • e-STUDIO2010ACでは [1200 dpi] で印刷することはできません。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

Color Settings 2 (カラー設定2：カラー MFP)

項目	選択肢	説明
Black Overprint ブラックオーバープリント	Off Text <u>Text and Graphics</u>	黒色のテキスト、線画をカラー背景上にオーバープリントする場合に <u>Text and Graphics</u> をします。プリンタはまずフルカラー背景部分をすべて出力してから、カラー背景上に黒色のテキスト、線画を出力します。テキストと背景間のすき間やカラーの版ズレを回避できます。
Image Type 原稿種類	<u>General</u> Photo Presentation Line Art	ジョブタイプの選択に応じて画像をどのように印刷するかを設定します。
PostScript Overprint PostScript オーバープリント	<u>Off</u> , On	アプリケーション上でオーバープリントの設定をしたオブジェクトをオーバープリント印刷するかを選択します。 注意 Color Settings 1 (カラー設定1) のColor Type (カラータイプ) で [Color] または [Auto] を選択した場合のみ、設定できます。

項目	選択肢	説明
オートトラッピング	Off, On	隣接する色の接触部だけを重ねて印刷し、版ズレにより用紙の下地が見えてしまうことを防ぎます。 注意 この機能は、e-STUDIO5015AC Seriesおよびe-STUDIO7516AC Seriesをお使いの場合のみ有効です。
Pure Black and Gray 黒とグレーの印字方法	Off Black - Auto Black - Text Black - Text & Graphic Black - Text, Graphic & Image <u>Black & Gray - Auto</u> Black & Gray - Text Black & Gray - Text & Graphic Black & Gray - Text, Graphic & Image	黒とグレーの部分をKトナーでどのように印字するかを選択します。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

Color Settings 3 (カラー設定3: カラー MFP)

項目	選択肢	説明
Color Balance - Black カラーバランス - 黒	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	黒トナーの印字濃度を設定します。
Color Balance - Cyan カラーバランス - シアン	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	シアントナーの印字濃度を設定します。
Color Balance - Magenta カラーバランス - マゼンタ	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	マゼンタトナーの印字濃度を設定します。
Color Balance - Yellow カラーバランス - 黄	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	黄トナーの印字濃度を設定します。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

Color Settings 4 (カラー設定4：カラー MFP)

項目	選択肢	説明
Background Adjustment 背景調整	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	下地濃度を設定します。
Brightness 明るさ	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	明るさを設定します。
Contrast コントラスト	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	コントラストを設定します。
Saturation 彩度	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	彩度を設定します。
Sharpness シャープネス	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	シャープネスを設定します。
Use Sharpness Filter シャープネスフィルタを使用する	<u>Off</u> , On	このオプションをオンにすると、Sharpness (シャープネス) を設定することができます。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

Finishing (出カトレイ)

項目	選択肢	説明
Destination 排紙先	<u>Printer's Default</u> Exit Tray Upper Exit Tray Side Exit Tray Tray 1 Tray 2 Job Separator Upper Job Separator Lower	排出先を選択します。 注意 選択できる排紙先は、お使いの機種や装着されているオプションにより異なります。
Folding 中折り	<u>Off</u> , On	中折り印刷を行うかを選択します。
Hole Punch ホールパンチ	Off Long Edge Punch without rotation Short Edge Punch without rotation Long Edge Punch with 180 degree rotation Short Edge Punch with 180 degree rotation	印刷文書にホールパンチ処理（綴じ用の穴開け）をするかを設定します。

項目	選択肢	説明
Stapling ステイプル	Off Upper Left (Portrait)/ Upper Right (Landscape) Middle Left (Portrait)/ Middle Top (Landscape) Lower Left (Portrait)/ Upper Left (Landscape) Upper Right (Portrait)/ Lower Right (Landscape) Middle Right (Portrait)/ Middle Bottom (Landscape) Lower Right (Portrait)/ Lower Left (Landscape) Middle Top (Portrait)/ Middle Right (Landscape) Middle Bottom (Portrait) /Middle Left (Landscape) Saddle Stitch (Portrait)/ Saddle Stitch (Landscape)	部ごとに用紙をステイプル留めして排紙するかを設定します。 注意 「Saddle Stitch (Portrait)/Saddle Stitch (Landscape)」は、サドルステッチフィニッシャが装着されている場合のみ指定できます。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

General (一般設定)

項目	選択肢	説明
Collate 丁合	Yes, No	丁合を行うかを選択します。
Duplex 両面印刷、とじしろ	1-Sided	片面印刷
	<u>2-Sided, No Tumble</u> <u>(Long-Edge Binding)</u>	両面印刷 (長手綴じ)
	2-Sided, Tumble (Short-Edge Binding)	両面印刷 (短手綴じ)
Media Size 用紙サイズ	A3, A4, A5, A6, B4, B5, Ledger, Legal, Letter, Statement, Folio, Computer, 13" LG, 8.5" SQ, 12×18", 305×457 mm, 8K, 16K, 320×450 mm, 320×460 mm, 13×19", 330×483 mm, J Post Card, Envelope Com10, Envelope Monarch, Envelope DL, Envelope CHO3, Envelope YOU4, Envelope-C5, Envelope-KAKU2, Envelope-KAKU3	用紙サイズを選択します。 注意 選択できる用紙サイズは、お使いの機種により異なります。
Media Source 給紙元	Auto (Default) Drawer 1 Drawer 2 LCF External LCF Drawer 3 Drawer 4 Bypass Tray	給紙元を選択します。 注意 External LCFは、e-STUDIO7516AC Series、 e-STUDIO8518A Seriesのみ選択できます。
Media Type 用紙タイプ	Printer's Default, Plain, Plain (Back), Plain, Thick, Thick (Back), Thick 1, Thick 1 (Back), Thick 2, Thick 2 (Back), Thick 3, Thick 3 (Back), Transparency, Recycled, Recycled (Back), Special 1, Special 1 (Back), Special 2, Special 2 (Back), Tab, Thin, Thin (Back), Envelope, USER TYPE 1, USER TYPE 2, USER TYPE 3, USER TYPE 4, USER TYPE 5, USER TYPE 6, USER TYPE 7, USER TYPE 8, USER TYPE 9, USER TYPE 10	用紙タイプを選択します。 注意 選択できる用紙タイプは、お使いの機種により異なります。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

Options Installed (オプション設定)

項目	選択肢	説明
Model Selection 機種名	TOSHIBA e-STUDIO5015AC Series TOSHIBA e-STUDIO5018A Series TOSHIBA e-STUDIO7516AC Series TOSHIBA e-STUDIO8518A Series	
Drawers カセット	Drawer 1 Drawer 1 & LCF Drawer 1 & Drawer 2 Drawer 1, 2 & LCF Drawer 1, 2 & Drawer 3 Drawer 1, 2 & Drawer 3, 4	オプションの給紙カセットの組み合わせを選択します。
Finisher フィニッシャ	Not Installed Inner Finisher Saddle Stitch Finisher Saddle Stitch Finisher and Hole Punch Job Separator	オプションのフィニッシャ類の装着を設定します。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

Printing Modes (印刷種別)

項目	選択肢	説明
Department Code 部門コード	Disabled (無効) Enabled (有効)	印刷の際に部門コードを使用するかを選択します。 本機が部門コードで管理されている場合に、このオプションを有効にします。
Do not Print Blank Pages 白紙は印字しない	Off, On	白紙ページを印刷するか選択します。
Print Mode 印刷モード	Normal Hold Proof Private - Password	印刷モードを選択します。
Toner Save トナー節約	Off, On	トナーを節約して印刷するかを選択します。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

Printing Modes DC (部門コード)

項目	選択肢	説明
Department Code(DC) - Digit 1 to Digit 5 部門コード 1桁目~5桁目	0 to 9	上記Printing ModesのDepartment Codeを有効にした場合は、5桁の部門コードを指定します。 使用する部門コードについては、管理者にお問い合わせください。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

Private Document Password (プライベート印刷パスワード)

項目	選択肢	説明
Password - Digit 1 to Digit 5 パスワード 1桁目~5桁目	<u>0</u> to 9	Print Modeで「Private - Password」を選択した場合に、5桁のパスワードを指定します。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

Banners (バナー)

項目	選択肢	説明
Starting Banner 書類の前に	<u>none</u>	文書の前にバナーページを挿入して印刷するかを選択します。挿入する場合は、以下から選択します。
	classified	機密扱い
	confidential	極秘
	secret	機密
	standard	標準
	topsecret	最高機密
	unclassified	非機密扱い
Ending Banner 書類の後に	<u>none</u>	文書の後にバナーページを挿入して印刷するかを選択します。挿入する場合は、以下から選択します。
	classified	機密扱い
	confidential	極秘
	secret	機密
	standard	標準
	topsecret	最高機密
	unclassified	非機密扱い
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

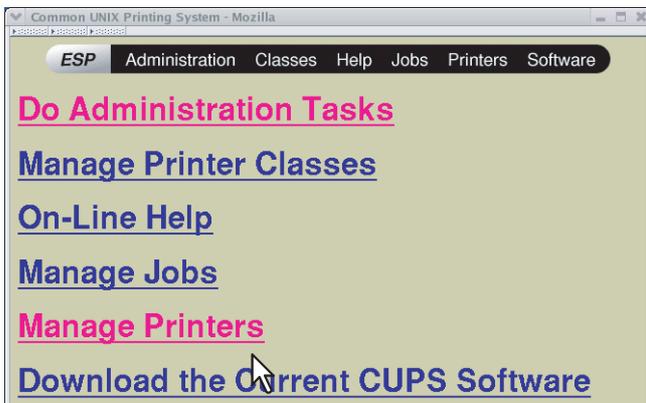
PS Binary Protocol

項目	選択肢	説明
PS Binary Protocol PSバイナリプロトコル	<u>None</u> , tbcP	PostScriptを使用して印刷データをバイナリ処理し、TBCPプロトコルを使って印刷を行うかを選択します。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

□ プリンタの変更

追加した後にプリンタの設置場所や詳細説明の内容を変更したい場合は、以下の手順で行います。

1 スタートページの [Manage Printers] リンクをクリックします。

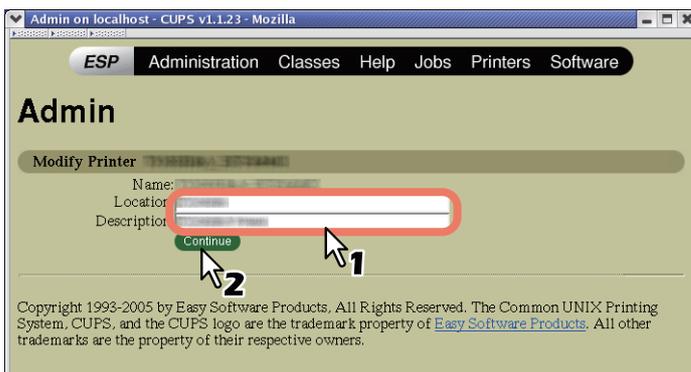


[Printer] ページが表示されます。

2 [Modify Printer] をクリックします。



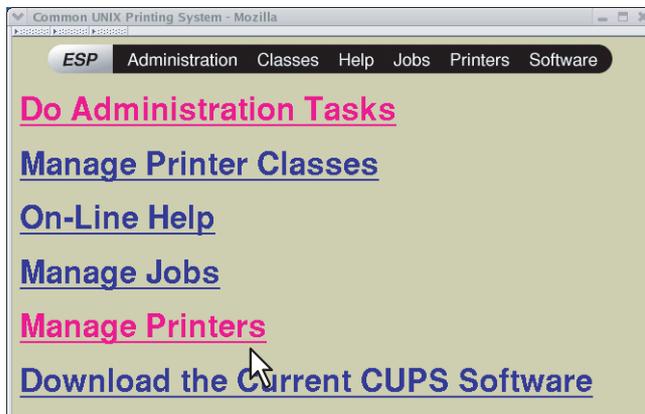
3 設置場所および詳細説明の内容を変更し、[Continue] をクリックします。



□ プリンタのアンインストール

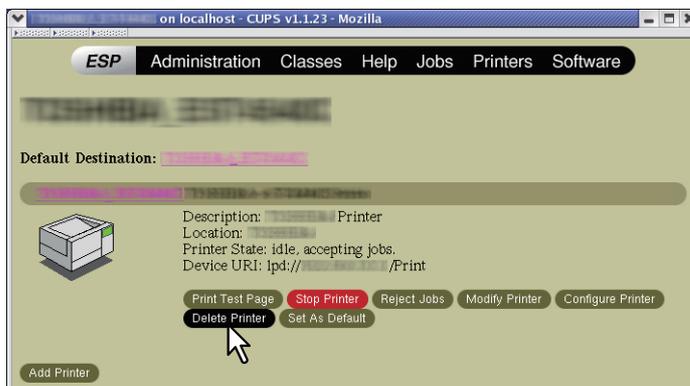
追加したプリンタを削除する場合は、以下の手順で行います。

1 スタートページの [Manage Printers] リンクをクリックします。



[Printer] ページが表示されます。

2 [Delete Printer] をクリックします。



プリンタが削除されます。

3 「/usr/share/cups/model/Toshiba」 ディレクトリにコピーしたPPDファイルを削除します。

スキャンドライバ&ユーティリティのインストール (Windows)

スキャンドライバ&ユーティリティのインストール手順について説明しています。

インストールする前に	142
スキャンドライバ&ユーティリティの種類.....	142
必要条件	142
スキャンドライバ&ユーティリティのインストール	143
インストール手順.....	143
WIAドライバをインストールする	144
アンインストールする	147

インストールする前に

この章では、本機からネットワークスキャン機能を使用するために必要なソフトウェアのインストール方法について説明します。インストールを始める前に、この章をよくお読みください。

■ スキャンドライバ&ユーティリティの種類

スキャン機能を使用するには、本機のクライアントソフトウェアである下記ユーティリティをお使いのコンピュータにインストールします。

- **TWAINドライバ**
ファイリングボックスに保管された文書をTWAIN対応アプリケーションに画像として取り込むことができます。
- **ファイルダウンローダ**
ファイリングボックスに保管された文書をお使いのコンピュータの内蔵ストレージにファイルとして取り込むことができます。
- **Remote Scanドライバ**
お使いのWindowsコンピュータからリモート操作でスキャンを行い、スキャンした画像をTWAIN対応アプリケーションに取り込むことができます。
- **WIAドライバ**
お使いのWindowsコンピュータからリモート操作でスキャンを行い、スキャンした画像をWIA対応アプリケーションに取り込むことができます。

■ 必要条件

Windowsコンピュータにスキャンドライバ&ユーティリティをインストールするには、以下の環境が必要です。

- **ディスプレイ解像度**
1024×768ドット以上
- **ディスプレイ色**
High Color（16ビット）以上を推奨
- **CPU**
OSが要求する推奨環境以上
- **OS**
Windows 7 Service Pack1以降
Windows Server 2008 Service Pack 2以降
- **推奨メモリ**
A4/LTサイズの600 dpiカラー文書/600 dpiブラック文書の取り込み：256 MB

スキャンドライバ&ユーティリティがすでにインストールされている場合

すでに他のインストールディスクからスキャンドライバ&ユーティリティがインストールされている場合は、それらをアンインストールして、本機のインストールディスクから再度インストールしてください。アンインストールする際に、設定情報を削除するかを確認するメッセージが表示されるので、[いいえ]をクリックすると、再度インストールしたときに設定を引き継ぐことができます。

スキャンドライバ&ユーティリティのインストール

お使いのコンピュータにスキャンドライバやスキャンユーティリティをインストールします。

■ インストール手順

お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。ただし、WIAドライバをWindows 7以降/Windows Server 2012以降へインストールする場合は、別の手順で操作する必要がありますので下記項目を参照してください。

📖 P.144 「WIAドライバをインストールする」

注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

Software Installerが自動的に起動しないときには、インストールディスクの「e-STUDIO」フォルダをエクスプローラで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、Software Installerを起動してください。

2 [使用許諾契約の全条項に同意します。] を選択し、[次へ] をクリックします。



3 [スキャンユーティリティ] をクリックします。



4 インストールするソフトウェアを確認し、[インストール] をクリックします。

5 インストールが完了したら、[終了] をクリックします。

メインメニューが表示されます。

注意

再起動を要求する画面が表示されることがあります。その場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックします。

6 [Exit] をクリックします。

インストーラの終了を確認するメッセージが表示されますので、[はい] をクリックしてください。

■ WIAドライバをインストールする

WIAドライバをWindows 7以降/Windows Server 2012以降へインストールします。
お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

注意

- WIAドライバのインストールを開始するには、お使いのコンピュータにスキャンユーティリティがインストールされている必要があります。
スキャンユーティリティのインストール方法については、以下のセクションを参照してください。
📖 P.143 「インストール手順」
- Windows Server 2008またはWindows Server 2012をお使いの場合は、WIAドライバをインストールする前に以下の設定を行ってください。
 - Windows Server 2008の場合
[管理ツール] の [サーバーマネージャー] から [デスクトップエクスペリエンス] をインストールしてください。
[管理ツール] の [サービス] から [Windows Image Acquisition (WIA)] を選択し、スタートアップの種類を [自動] に設定してください。
[管理ツール] の [サービス] から [PnP-X IP Bus Enumerator] を選択し、スタートアップの種類を [自動] に設定してください。
 - Windows Server 2012の場合
[管理ツール] の [サーバーマネージャー] から [デスクトップエクスペリエンス] をインストールしてください。
- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

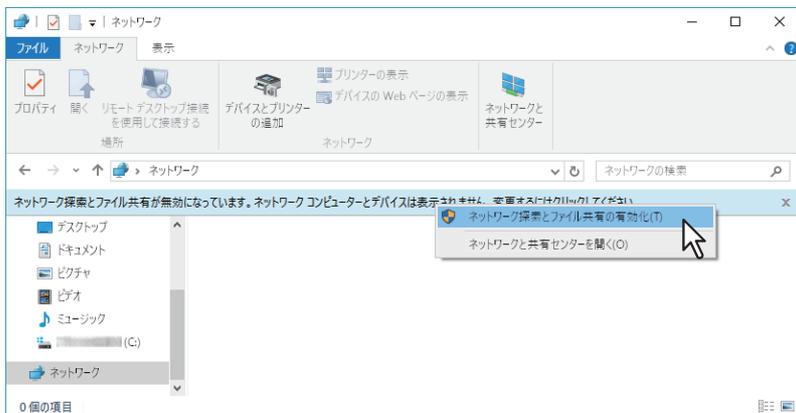
1 [ネットワーク] 画面を表示します。

[スタート] > [エクスプローラー] > [ネットワーク] を選択します。

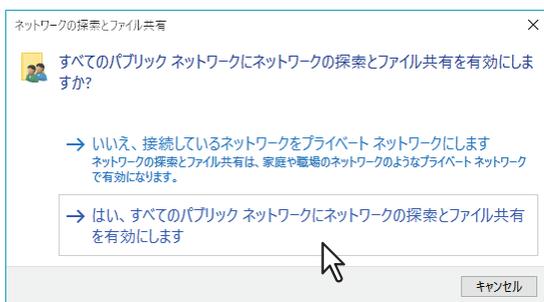
補足

- Windows 8.1 / Windows Server 2012をお使いの場合は、スタートチャーム > [すべてのアプリ] (右クリックすると画面右下に表示されます) > [コンピュータ] > [ネットワーク] を選択します。
- Windows 7をお使いの場合は、[スタート] > [コンピュータ] > [ネットワーク] を選択します。
- Windows Server 2008をお使いの場合は、[スタート] > [ネットワーク] を選択します。

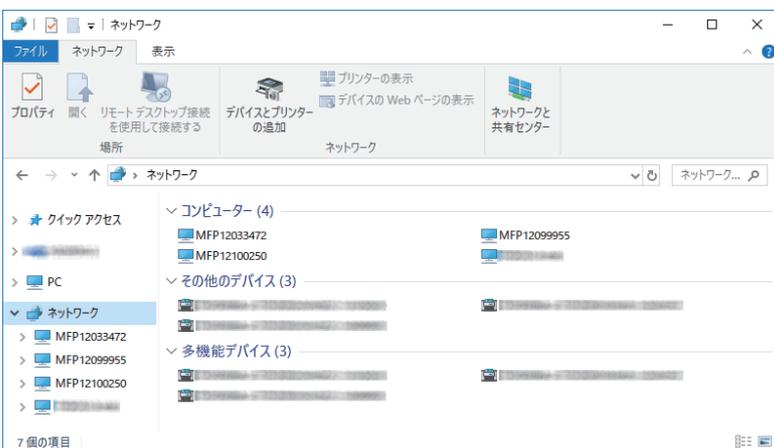
2 [ネットワーク探索とファイル共有が無効になっています。ネットワークコンピューターとデバイスは表示されません。変更するにはクリックしてください] をクリックし [ネットワーク探索とファイル共有の有効化] を選択します。



3 [はい、すべてのパブリックネットワークにネットワークの探索とファイル共有を有効にします] をクリックします。



[ネットワーク] 画面に、接続されているコンピュータと多機能デバイスのアイコンが表示されます。



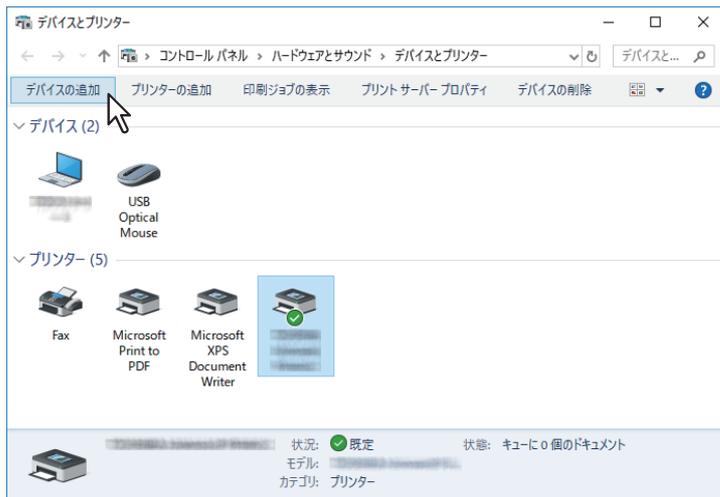
4 プリンタフォルダを開きます。

[スタート] をクリックし、[設定] > [デバイス] > [デバイスとプリンター] を選択します。

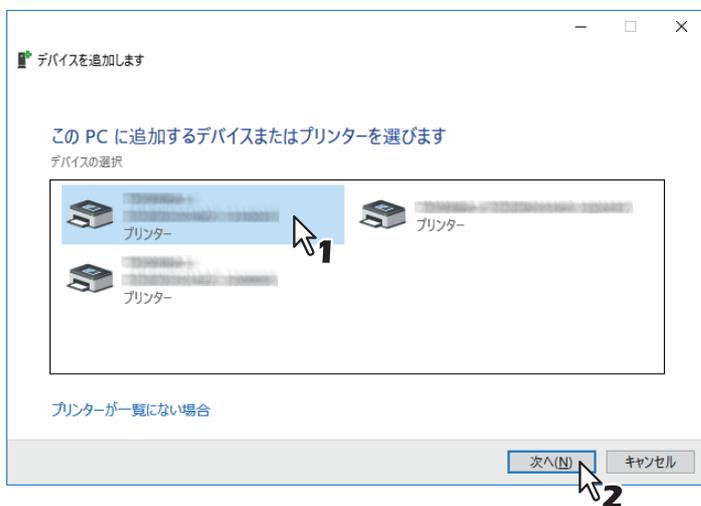
補足

- Windows 8.1 / Windows Server 2012をお使いの場合は、画面左下で右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows 7をお使いの場合は、[スタート] > [デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows Server 2008をお使いの場合は、[スタート] > [コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。

5 [デバイスの追加] をクリックします。



6 本機の多機能デバイスのアイコンを選択し、[次へ] をクリックします。



- Windows 7以降/Windows Server 2012以降をお使いの場合は、インストールが開始されます。
- Windows Server 2008をお使いの場合は、[PnP Device Association] がタスクバーに表示されます。[PnP Device Association] をクリックすると、インストールが開始されます。

7 インストールが完了します。

アンインストールする

スキャンドライバ&ユーティリティを削除する場合は、コントロールパネルのプログラムをアンインストールするメニューで削除したいソフトウェアを選択して行います。アンインストールの手順については、以下を参照してください。

☞ P.162 「クライアントソフトウェアの削除」

WIAドライバのアンインストール

- Windows 7 / Windows Server 2008をお使いの場合
インストール時の手順と同様に [ネットワーク] フォルダを開きます。本機を選択して右クリックし、[アンインストール] をクリックしてください。アンインストールが実行されます。
- Windows 8.1以降 / Windows Server 2012以降をお使いの場合
[デバイスとプリンター] フォルダを開き、本機を選択して右クリックし、表示されるメニューから [デバイスの削除] を選択してください。

TOSHIBA Office Scan Add-Inのアンインストール

TOSHIBA Office Scan Add-Inをアンインストールする場合は、コントロールパネルのプログラムをアンインストールするメニューで削除したいソフトウェアを選択して行います。アンインストールを行う際は、以下の項目を参照してください。

☞ P.162 「クライアントソフトウェアの削除」

ネットワークファクスユーティリティのインストール (Windows)

N/W-FaxドライバおよびAddressBook Viewerのインストール方法について説明します。

インストールする前に	150
ネットワークファクスユーティリティの種類	150
必要条件	150
ネットワークファクスユーティリティのインストール	151
Web Serviceプリントによるインストール	152
ネットワークファクスユーティリティのアンインストール	153
N/W-Faxドライバのアンインストール	153
AddressBook Viewerのアンインストール	153

インストールする前に

この章では、本機からファクス送信を実行したり、オンラインアドレス帳を使用するために必要なソフトウェアのインストール方法について説明します。インストールを始める前に、この章をよくお読みください。

■ ネットワークファクスユーティリティの種類

ネットワークファクス機能を使用するには、本機のクライアントソフトウェアである下記ユーティリティをお使いのコンピュータにインストールします。

N/W-Faxドライバ

N/W-Faxドライバでは、宛先リストをセットアップし、お使いのコンピュータから複数の宛先またはグループへ電子文書を送信することができます。また、さまざまなファクスプロパティを設定することができます。プロパティは、送信者や宛先の情報に関する属性を示します。属性には、ダイヤリングオプション、送信者の情報、解像度やページレイアウトなど、ファクスジョブを処理するときに必要なパラメータが設定されています。

その他の特長として、ファクスを送信する日時を指定できる時刻指定機能があります。また、カスタマイズした送信状ページを送信時に添付するオプションもあります。このページには、送信者や宛先のファクス情報および詳細メッセージを含めることができます。送信状ページに印刷する送信者や宛先の情報は、簡単に管理することができます。

AddressBook Viewer

AddressBook Viewerを使用すると、連絡先のファクス番号やEメールアドレスを簡単に管理することができます。また本機アドレス帳をアップロードして使用することもできます。AddressBook Viewerで管理している連絡先は、ネットワークファクスで文書をファクス送信またはインターネットファクス送信する際に使用することができます。

■ 必要条件

WindowsコンピュータにN/W-FaxドライバおよびAddressBook Viewerをインストールするには、以下の環境が必要です。

- ディスプレイ解像度
1024×768ドット以上
- ディスプレイ色
High Color（16ビット）以上を推奨
- CPU
OSが要求する動作周波数以上
- メモリ
OSと同等の必要メモリ容量
- OS
Windows 7 Service Pack 1以降
Windows Server 2008 Service Pack 2以降

N/W-FaxドライバおよびAddressBook Viewerがすでにインストールされている場合

すでに他のインストールディスクからN/W-FaxドライバおよびAddressBook Viewerがインストールされている場合は、それらをアンインストールして、本機のインストールディスクから再度インストールしてください。

また、AddressBook Viewerをアンインストールする際に、設定情報を削除するかを確認するメッセージが表示されるので、[いいえ]をクリックすると、再度インストールしたときに設定を引き継ぐことができます。

ネットワークファクスユーティリティのインストール

お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

Software Installerが自動的に起動しないときには、インストールディスクの「e-STUDIO」フォルダをエクスプローラで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、Software Installerを起動してください。

2 [使用許諾契約の全条項に同意します。] を選択し、[次へ] をクリックします。



3 [N/W-Faxドライバ] をクリックします。



4 インストールするソフトウェアを確認し、[インストール] をクリックします。

注意

目的の東芝複合機を検出するためにSNMP設定を確認/変更する場合は、以下のセクションの手順4を参照してください。

📖 P.26 「おすすめインストール手順」

以降の手順は、プリンタドライバのインストールを行うときと同様ですので、ここでは説明を省略しています。接続環境に応じて以下の項目を参照してください。

📖 P.39 「Raw TCP/LPR印刷」

📖 P.46 「SMB印刷」

Web Serviceプリントによるインストール

Windows 7以降/Windows Server 2008以降へWSD (Web Services on Devices) プロトコルを使用してN/W-Faxドライバをインストールします。インストールの手順は、プリンタドライバのインストールを行うときと同様ですので、ここでは説明を省略しています。インストールを行う際は、以下の項目を参照してください。

📖 P.77 「Web Serviceプリント」

ネットワークファクスユーティリティのアンインストール

N/W-FaxドライバおよびAddressBook Viewerをアンインストールする場合は、以下の手順で行います。

■ N/W-Faxドライバのアンインストール

N/W-Faxドライバをアンインストールします。アンインストールの手順は、プリンタドライバのアンインストールを行うときと同様ですので、ここでは説明を省略しています。アンインストールを行う際は、以下の項目を参照してください。

📖 P.85 「プリンタドライバのアンインストール」

■ AddressBook Viewerのアンインストール

AddressBook Viewerをアンインストールする場合は、コントロールパネルのプログラムをアンインストールするメニューで削除したいソフトウェアを選択して行います。アンインストールを行う際は、以下の項目を参照してください。

📖 P.162 「クライアントソフトウェアの削除」

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityのインストール (Windows)

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityのインストール方法について説明します。

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityをインストールする前に	156
必要条件	156
ファイリングボックスBackup/Restore Utilityのインストール.....	157
アンインストールする	159

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityをインストールする前に

この章では、ファイリングボックスBackup/Restore Utilityを使用するために必要なソフトウェアのインストール方法について説明します。インストールを始める前に、この章をよくお読みください。

■ 必要条件

WindowsコンピュータにファイリングボックスBackup/Restore Utilityをインストールするには、以下の環境が必要です。

- **ディスプレイ解像度**
1024×768ドット以上
- **ディスプレイ色**
High Color（16ビット）以上を推奨
- **CPU**
OSが要求する推奨環境以上
- **メモリ**
OSと同等の必要メモリ容量
- **OS**
Windows 7 Service Pack 1以降
Windows Server 2008 Service Pack 2以降
- **必要なソフトウェア**
Internet Explorer 9.0以上
Microsoft Edge
Firefox 38以上
Chrome 45以上

注意

- ファイリングボックスBackup/Restore Utilityは、上記OSの64ビット版をサポートしていません。
- ファイリングボックスBackup/Restore Utilityを使ってファイリングボックスデータをバックアップまたはリストアするには、本機のFTPサーバー設定が有効になっている必要があります。

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityのインストール

お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

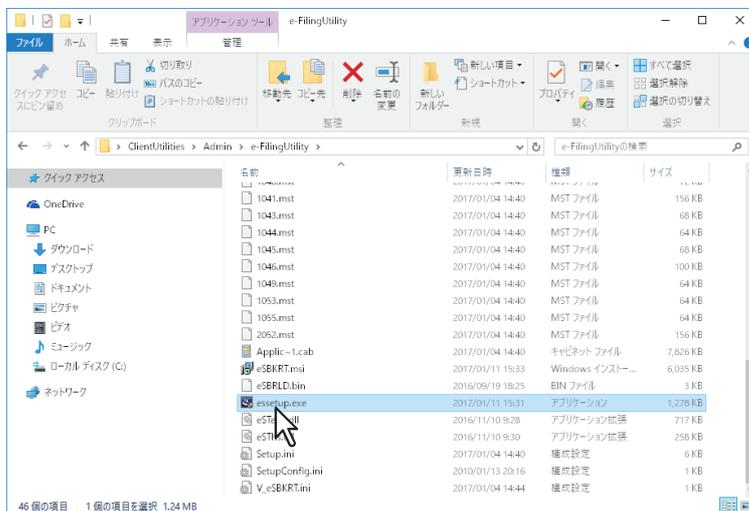
なお、Windows 7以降/Windows Server 2008以降の場合、以下の手順によりユーザアカウントを一時的に変更してインストールを実行することができます。

- インストールディスクの「Admin¥e-FilingUtility」フォルダを開き、「essetup.exe」をダブルクリックします。
- [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されますので、管理者のパスワードを入力した後、[はい] ([OK]) をクリックします。

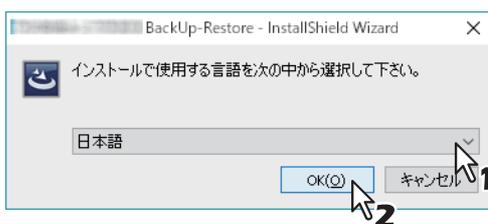
1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

2 インストールディスクの「Admin¥e-FilingUtility」フォルダを開き、「essetup.exe」をダブルクリックします。

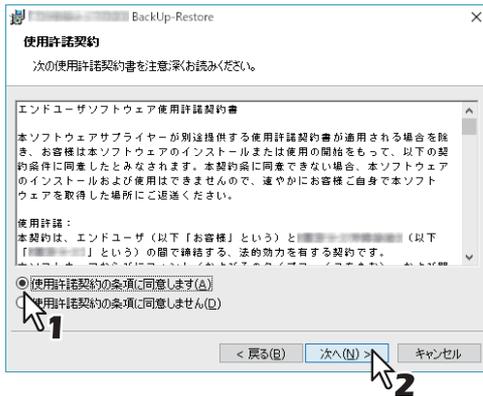


3 使用する言語を選択し、[OK] をクリックします。



4 [次へ] をクリックします。

5 [使用許諾契約の全条項に同意します。] を選択し、[次へ] をクリックします。



6 [次へ] をクリックします。

7 [インストール] をクリックします。

8 [完了] をクリックします。

インストールを完了します。

注意

再起動を要求する画面が表示されることがあります。その場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックします。

アンインストールする

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityを削除する場合は、コントロールパネルのプログラムをアンインストールするメニューで削除したいソフトウェアを選択して行います。アンインストールの手順については、以下を参照してください。

📖 P.162 「クライアントソフトウェアの削除」

インストールのメンテナンス

このセクションでは、クライアントソフトウェアの削除および修復方法について説明しています。

クライアントソフトウェアの削除	162
クライアントソフトウェアの修復	164

クライアントソフトウェアの削除

クライアントソフトウェアを削除します。

注意

- N/W-Faxドライバはセットアッププログラムによる削除はできません。これらを削除したい場合は、以下の手順を参照してください。
P.85 「プリンタドライバのアンインストール」
- クライアントソフトウェアを削除するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

1 [プログラムのアンインストール] フォルダを開きます。

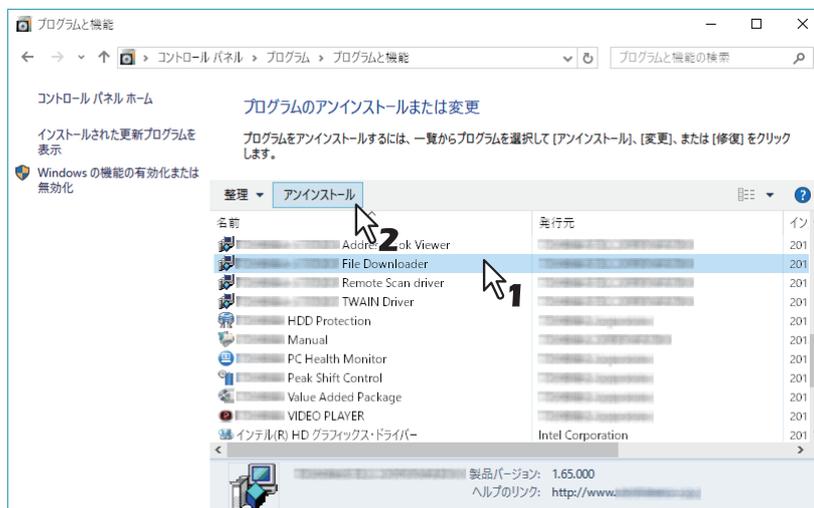
[スタート] をクリックし、すべてのアプリの表示一覧から [Windowsシステムツール] > [コントロールパネル] > [プログラムのアンインストール] を選択します。

補足

- Windows 10のバージョンによっては、[スタート] をクリックした後に [すべてのアプリ] を選択して、すべてのアプリ表示一覧から [Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [プログラムのアンインストール] を選択します。
- Windows 8.1 / Windows Server 2012をお使いの場合は、設定チャームから [コントロールパネル] > [プログラムのアンインストール] を選択します。
- Windows 7 / Windows Server 2008をお使いの場合は、[スタート] > [コントロールパネル] > [プログラムのアンインストール] を選択します。

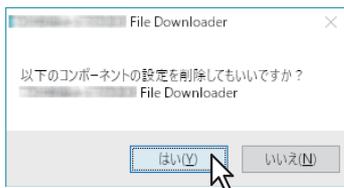


2 一覧から削除したいソフトウェアを選択し、[アンインストール] をクリックします。



3 [はい] をクリックします。

4 設定ファイルを削除する場合は、[はい] をクリックします。



ファイルの削除を開始します。

注意

[いいえ] をクリックした場合は、設定情報は削除されず残り、次回のインストール時に引き継がれます。

クライアントソフトウェアの修復

クライアントソフトウェアが正常に使用できない場合は、クライアントソフトウェアの修復を行ってください。

注意

クライアントソフトウェアを修復するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

2 修復したいソフトウェアのフォルダを開き、「essetup.exe」をダブルクリックします。

- TWAINドライバ（32ビット版のコンピュータをお使いの場合）
[インストールディスク]：¥ Client ¥ TWAIN ¥ 32bit ¥
- TWAINドライバ（64ビット版のコンピュータをお使いの場合）
[インストールディスク]：¥ Client ¥ TWAIN ¥ 64bit ¥
- ファイルダウンローダ
[インストールディスク]：¥ Client ¥ FD ¥
- Remote Scanドライバ（32ビット版のコンピュータをお使いの場合）
[インストールディスク]：¥ Client ¥ RS ¥ 32bit ¥
- Remote Scanドライバ（64ビット版のコンピュータをお使いの場合）
[インストールディスク]：¥ Client ¥ RS ¥ 64bit ¥
- AddressBook Viewer（32ビット版のコンピュータをお使いの場合）
[インストールディスク]：¥ Client ¥ ADRBK ¥ 32bit ¥
- AddressBook Viewer（64ビット版のコンピュータをお使いの場合）
[インストールディスク]：¥ Client ¥ ADRBK ¥ 64bit ¥
- TOSHIBA Office Scan Add-In
[インストールディスク]：¥ Admin ¥ Add-In ¥

3 [次へ] をクリックします。

4 [修復] を選択し、[次へ] をクリックします。



5 [インストール] をクリックします。

ファイルの修復を開始します。

6 [完了] をクリックしてウィザードを終了します。

10

インストールに関する注意事項と 関連メッセージ (Windows)

このセクションでは、インストールに関する注意事項と、表示される可能性のあるメッセージについて説明しています。

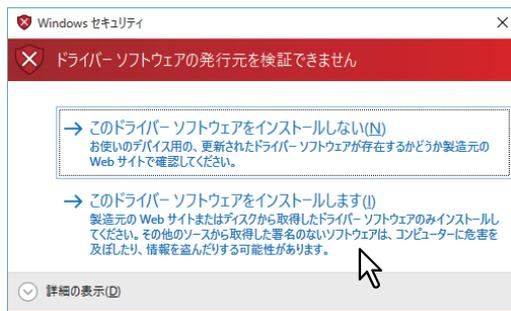
インストール前の注意事項	166
インストール中に表示される可能性のあるメッセージ	167
インストール後の注意事項	168

インストール前の注意事項

- Universal Printer2ドライバとその他のクライアントソフトウェアをインストールする場合は、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログオンした場合にも [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、[続行] などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。
- 管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更してインストールを実行することができます。
- Windows 7以降/Windows Server 2008以降の場合、以下の手順によりユーザアカウントを一時的に変更してインストーラからのインストールを続行することができます。
 - インストールディスクの「e-STUDIO」フォルダを開き、「Setup.exe」をダブルクリックします。
 - [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されますので、管理者のパスワードを入力した後、[はい] ([OK]) をクリックします。
- Windows 7以降/Windows Server 2008以降の場合、以下の手順によりユーザアカウントを一時的に変更してTopAccessからのインストールを実行することができます。
 - プリンタドライバのファイル名リンクをクリックします。
 - [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されますので、管理者のパスワードを入力した後、[はい] ([OK]) をクリックします。
- Microsoft Office 2013以降がインストールされているコンピュータに、「Remote Scan driver」、「TWAIN driver」、「WIA driver」のいずれかまたは全てをインストールすると、自動的に「TOSHIBA Office Scan Add-In」がインストールされます。
- Windows Server 2008にWeb Serviceプリントのプリンタドライバをインストールすると、Web Serviceスキャンに必要なドライバも同時にインストールされます。

インストール中に表示される可能性のあるメッセージ

以下のメッセージが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてインストールを続けてください。



インストール後の注意事項

- アンインストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
ただし、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更してアンインストールを実行することができます。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログオンした場合にも [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、[続行] などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。
- インストールしたプリンタドライバを使って印刷を行う前に、本機に装着されている各オプション機器のオプション構成をセットアップしてください。また、必要に応じて部門コードをセットアップしてください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

索引

A		
AddressBook Viewer	16, 150	
L		
LPR印刷	35	
M		
Mac OS Bonjour印刷		
Mac OS X	101	
Mac OS IPP印刷	99	
Mac OS LPR印刷	96	
N		
N/W-Faxドライバ	150	
NetWareプリントサーバー	22	
Novell iPrint	22	
Novell iPrint印刷	35	
P		
PostScriptプリンタ記述ファイル	92	
PS3プリンタドライバ	34	
R		
Remote Scanドライバ	16, 142	
T		
TWAINドライバ	16, 142	
U		
Universal Printer 2ドライバ	34	
Universal PS3プリンタドライバ (PostScript)	34	
Universal XPSプリンタドライバ	34	
UNIX/Linuxプリントキュー		
デフォルト設定の変更	116	
プリントキューの削除	117	
プリントキューの作成	111	
USB印刷	67	
W		
Web Serviceプリント	35	
WIAドライバ	16, 142	
あ		
アンインストール	85	
い		
インストール		
Mac OS X	93	
UNIX/Linuxフィルタ	110	
インターネット印刷	35	
ひ		
必要条件		
CPU	150, 156	
Mac OS	92	
OS	150, 156	
UNIX/Linux	109	
Windows	34	
ディスプレイ解像度	150, 156	
ディスプレイ色	150, 156	
メモリ	150, 156	
ふ		
ファイルダウンローダ	16, 142	
プリンタドライバ	16	

FC-2010AC
FC-2515AC/3515AC/4515AC/5015AC
DP-2518A/3518A/4518A/5018A
FC-5516AC/6516AC/7516AC
DP-6518A/8518A
OMJ170071A0

東芝デジタル複合機

インストールガイド

e-STUDIO2010AC

e-STUDIO2515AC/3515AC/4515AC/5015AC

e-STUDIO2518A/3518A/4518A/5018A

e-STUDIO5516AC/6516AC/7516AC

e-STUDIO6518A/8518A

東芝テック株式会社

